

## 【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長 殿
【提出日】	2026年6月29日提出
【発行者名】	大和アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 佐野 径
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
【事務連絡者氏名】	川根 浩志 連絡場所 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
【電話番号】	03-5555-3431
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型） ダイワ・グローバル債券ファンド（年2回決算型）
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券の金額】	各ファンドについて10兆円を上限とし、合計で20兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当ありません。

## 第一部【証券情報】

### (1)【ファンドの名称】

ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)

ダイワ・グローバル債券ファンド(年2回決算型)

(注1)以下「当ファンド」という場合、上記を総称して、またはそれぞれを指していうものとします。

(注2)上記を、それぞれ「毎月分配型」、「年2回決算型」という場合があります。

### (2)【内国投資信託受益証券の形態等】

追加型証券投資信託(契約型)の受益権です。

信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供された信用格付はありません。また、提供され、もしくは閲覧に供される予定の信用格付もありません。

ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律(以下「社振法」といいます。)の規定の適用を受け、受益権の帰属は、後述の「(11)振替機関に関する事項」に記載の振替機関および当該振替機関の下位の口座管理機関(社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。)の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります(以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。)。委託会社は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。また、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

なお、受益者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行なわないものとします。

### (3)【発行(売出)価額の総額】

各ファンドについて10兆円を上限とし、合計で20兆円を上限とします。

### (4)【発行(売出)価格】

1万口当たり取得申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

基準価額は、販売会社または下記にお問合わせ下さい。

大和アセットマネジメント株式会社

電話番号(コールセンター) 0120-106212(営業日の9:00~17:00)

ホームページ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

### (5)【申込手数料】

販売会社におけるお買付時の申込手数料の料率の上限は、2.2%(税抜2.0%)となっています。

具体的な手数料の料率等については、販売会社にお問合わせ下さい。

申込手数料には、消費税および地方消費税(以下「消費税等」といいます。)が課されます。

「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。

<スイッチング(乗換え)について>

- ・「ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)」の受益者が、保有する受益権を換金した手取金をもって「ダイワ・グローバル債券ファンド(年2回決算型)」の受益権の取得申込みを行なうこと、および「ダイワ・グローバル債券ファンド(年2回決算型)」の受益者が、保有する受益権を換金した手取金をもって「ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)」の受益権の取得申込みを行なうことをいいます。
- ・スイッチング(乗換え)の申込みの際には、換金の申込みを行なうファンドと、取得の申込みを行なうファンドをご指示下さい。
- ・スイッチング(乗換え)にかかる申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等に相当する金額は、スイッチング(乗換え)の金額から差引かせていただきます。



(6) 【申込単位】

販売会社にお問合わせ下さい。

(7) 【申込期間】

2026年6月30日から2026年12月28日まで(継続申込期間)

(終了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。)

(8) 【申込取扱場所】

下記にお問合わせ下さい。

大和アセットマネジメント株式会社

電話番号(コールセンター) 0120-106212(営業日の9:00~17:00)

ホームページ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

(9) 【払込期日】

受益権の取得申込者は、販売会社が定める期日(くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。)までに、取得申込代金(取得申込金額、申込手数料および申込手数料に対する消費税等に相当する金額の合計額をいいます。以下同じ。)を販売会社において支払うものとします。

販売会社は、各取得申込受付日における取得申込金額の総額に相当する金額を、追加信託が行なわれる日に、委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払込みます。

(10) 【払込取扱場所】

受益権の取得申込者は、取得申込代金を、申込取扱場所において支払うものとします。申込取扱場所については、前(8)をご参照下さい。

(11) 【振替機関に関する事項】

振替機関は下記のとおりです。

株式会社 証券保管振替機構

(12)【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【ファンド情報】

### 第1【ファンドの状況】

#### 1【ファンドの性格】

##### (1)【ファンドの目的及び基本的性格】

当ファンドは、外貨建公社債に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

一般社団法人資産運用業協会による商品分類・属性区分は、次のとおりです。

#### 商品分類表〈各ファンド共通〉

単位型投信・追加型投信	投資対象地域	投資対象資産（収益の源泉）
単位型投信	国内	株式
追加型投信	海外	債券
	内外	不動産投信
		その他資産 ( )
		資産複合

(注) 当ファンドが該当する商品分類を網掛け表示しています。

#### 属性区分表〈ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)〉

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株式 一般 大型株 中小型株	年1回	グローバル (除く日本)		
債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 ( )	年2回	日本		
	年4回	北米	ファミリー ファンド	あり ( )
	年6回 (隔月)	欧州		
	年12回 (毎月)	アジア		
不動産投信		オセアニア		
その他資産 (投資信託証券) (債券一般 高格付債)		中南米	ファンド・オブ・ ファンズ	なし
	日々	アフリカ		
資産複合 ( )	その他 ( )	中近東 (中東)		
資産配分固定型 資産配分変更型		エマージング		

(注) 当ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。

## 属性区分表〈ダイワ・グローバル債券ファンド(年2回決算型)〉

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株式 一般 大型株 中小型株	年1回	グローバル (除く日本)		
	年2回	日本		
債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 ( )	年4回	北米	ファミリー ファンド	あり ( )
	年6回 (隔月)	欧州		
	年6回 (隔月)	アジア		
	年6回 (隔月)	オセアニア		
不動産投信	年12回 (毎月)	中南米	ファンド・オブ・ ファンズ	なし
その他資産 (投資信託証券) (債券 一般 高格付債)	日々	アフリカ		
資産複合 ( )	その他 ( )	中近東 (中東)		
資産配分固定型 資産配分変更型		エマージング		

(注) 当ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

## (注1) 商品分類の定義

単位型・追加型	単位型	当初、募集された資金が一つの単位として信託され、その後の追加設定は一切行なわれないファンド
	追加型	一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行なわれ従来の信託財産とともに運用されるファンド
投資対象地域	国内	目論見書または投資信託約款（以下「目論見書等」といいます。）において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	海外	目論見書等において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	内外	目論見書等において、国内および海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるもの
投資対象資産	株式	目論見書等において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるもの
	債券	目論見書等において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるもの
	不動産投信（リート）	目論見書等において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるもの
	その他資産	目論見書等において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式、債券、不動産投信（リート）以外の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	資産複合	目論見書等において、株式、債券、不動産投信（リート）およびその他資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるもの

独立区分	MMF（マネー・マネージメント・ファンド）	「MMF等の運営に関する規則」に定めるMMF
	MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	「MMF等の運営に関する規則」に定めるMRF
	ETF	投資信託及び投資法人に関する法律施行令（平成12年政令480号）第12条第1号および第2号に規定する証券投資信託ならびに租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第9条の4の2に規定する上場証券投資信託
補足分類	インデックス型	目論見書等において、各種指数に連動する運用成果をめざす旨の記載があるもの
	特殊型	目論見書等において、投資者に対して注意を喚起することが必要と思われる特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるもの

## (注2) 属性区分の定義

投資対象 資産	株式	一般	大型株、中小型株属性にあてはまらないすべてのもの
		大型株	目論見書等において、主として大型株に投資する旨の記載があるもの
		中小型株	目論見書等において、主として中小型株に投資する旨の記載があるもの
	債券	一般	公債、社債、その他債券属性にあてはまらないすべてのもの
		公債	目論見書等において、日本国または各国の政府の発行する国債（地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債を含みます。）に主として投資する旨の記載があるもの
		社債	目論見書等において、企業等が発行する社債に主として投資する旨の記載があるもの
		その他債券	目論見書等において、公債または社債以外の債券に主として投資する旨の記載があるもの
		格付等クレジットによる属性	目論見書等において、特にクレジットに対して明確な記載があるもの
	不動産投信	目論見書等において、主として不動産投信（リート）に投資する旨の記載があるもの	
	その他資産	目論見書等において、主として株式、債券、不動産投信（リート）以外に投資する旨の記載があるもの	
	資産複合	目論見書等において、複数資産を投資対象とする旨の記載があるもの	
	資産複合 資産配分固定型	目論見書等において、複数資産を投資対象とし、組入比率については固定的とする旨の記載があるもの	
	資産複合 資産配分変更型	目論見書等において、複数資産を投資対象とし、組入比率については、機動的な変更を行なう旨の記載があるものもしくは固定的とする旨の記載がないもの	
	決算頻度	年1回	目論見書等において、年1回決算する旨の記載があるもの
年2回		目論見書等において、年2回決算する旨の記載があるもの	
年4回		目論見書等において、年4回決算する旨の記載があるもの	
年6回（隔月）		目論見書等において、年6回決算する旨の記載があるもの	
年12回（毎月）		目論見書等において、年12回（毎月）決算する旨の記載があるもの	
日々		目論見書等において、日々決算する旨の記載があるもの	
その他		上記属性にあてはまらないすべてのもの	

投資対象地域	グローバル	目論見書等において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	日本	目論見書等において、組入資産による投資収益が日本の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	北米	目論見書等において、組入資産による投資収益が北米地域の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	欧州	目論見書等において、組入資産による投資収益が欧州地域の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	アジア	目論見書等において、組入資産による投資収益が日本を除くアジア地域の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	オセアニア	目論見書等において、組入資産による投資収益がオセアニア地域の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	中南米	目論見書等において、組入資産による投資収益が中南米地域の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	アフリカ	目論見書等において、組入資産による投資収益がアフリカ地域の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	中近東（中東）	目論見書等において、組入資産による投資収益が中近東地域の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	エマージング	目論見書等において、組入資産による投資収益がエマージング地域（新興成長国（地域））の資産を源泉とする旨の記載があるもの
投資形態	ファミリーファンド	目論見書等において、親投資信託（ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除きます。）を投資対象として投資するもの
	ファンド・オブ・ファンズ	「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズ
為替ヘッジ	あり	目論見書等において、為替のフルヘッジまたは一部の資産に為替のヘッジを行なう旨の記載があるもの
	なし	目論見書等において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行なう旨の記載がないもの
対象インデックス	日経225	目論見書等において、日経225に連動する運用成果をめざす旨の記載があるもの
	TOPIX	目論見書等において、TOPIXに連動する運用成果をめざす旨の記載があるもの
	その他の指数	目論見書等において、上記以外の指数に連動する運用成果をめざす旨の記載があるもの
特殊型	ブル・ベア型	目論見書等において、派生商品をヘッジ目的以外に用い、積極的に投資を行なうとともに各種指数・資産等への連動もしくは逆連動（一定倍の連動もしくは逆連動を含みます。）をめざす旨の記載があるもの
	条件付運用型	目論見書等において、仕組債への投資またはその他特殊な仕組みを用いることにより、目標とする投資成果（基準価額、償還価額、収益分配金等）や信託終了日等が、明示的な指標等の値により定められる一定の条件によって決定される旨の記載があるもの
	ロング・ショート型 / 絶対収益追求型	目論見書等において、ロング・ショート戦略により収益の追求をめざす旨もしくは特定の市場に左右されにくい収益の追求をめざす旨の記載があるもの
	その他型	目論見書等において、特殊型のうち上記に掲げる属性のいずれにも該当しない特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるもの

商品分類・属性区分の定義について、くわしくは、一般社団法人資産運用業協会のホームページ  
(アドレス<https://www.imaj.or.jp/>)をご参照下さい。

< 信託金の限度額 >

- ・委託会社は、受託会社と合意のうえ、ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)について2兆円、ダイワ・グローバル債券ファンド(年2回決算型)について5,000億円を限度として信託金を追加することができます。
- ・委託会社は、受託会社と合意のうえ、限度額を変更することができます。

< ファンドの目的・特色 >

## ファンドの目的

外貨建ての公社債に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。

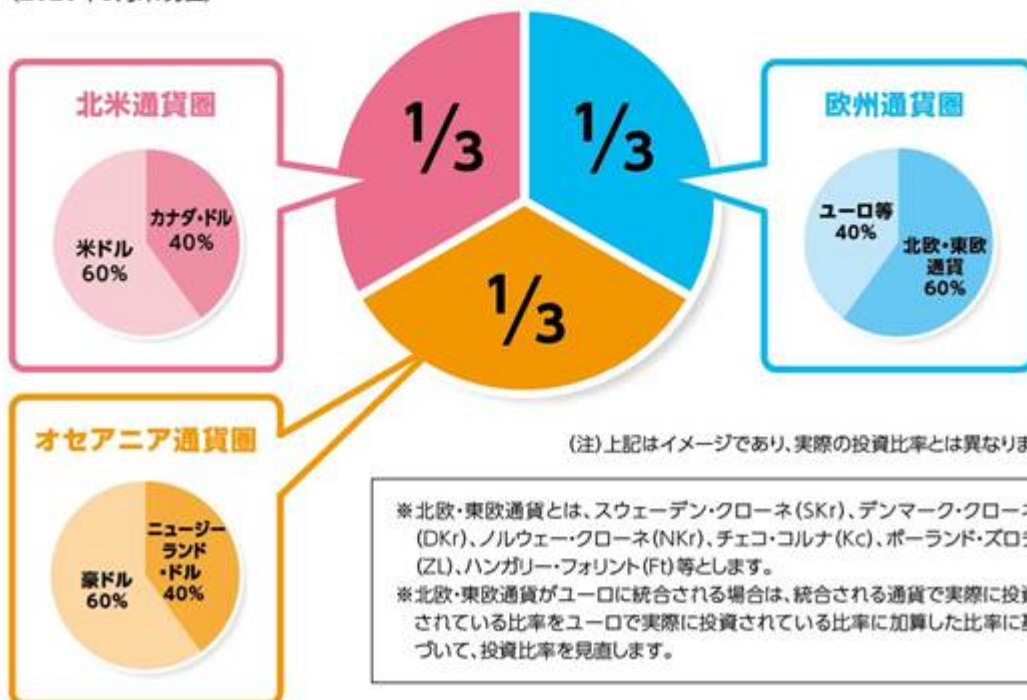
## ファンドの特色

**1** 北米、欧州、オセアニアの3つの通貨圏に通貨を分散し、外貨建ての公社債に投資します。

- 3つの通貨圏に均等に投資します。
- 各通貨圏内では、投資対象通貨を6対4の比率で配分します。投資対象通貨の配分比率は半年ごとに見直しを行います。
  - ・北米通貨圏…米ドル、カナダ・ドル
  - ・欧州通貨圏…ユーロ等、北欧・東欧通貨
  - ・オセアニア通貨圏…豪ドル、ニュージーランド・ドル

### 投資イメージと各通貨圏内の通貨配分比率

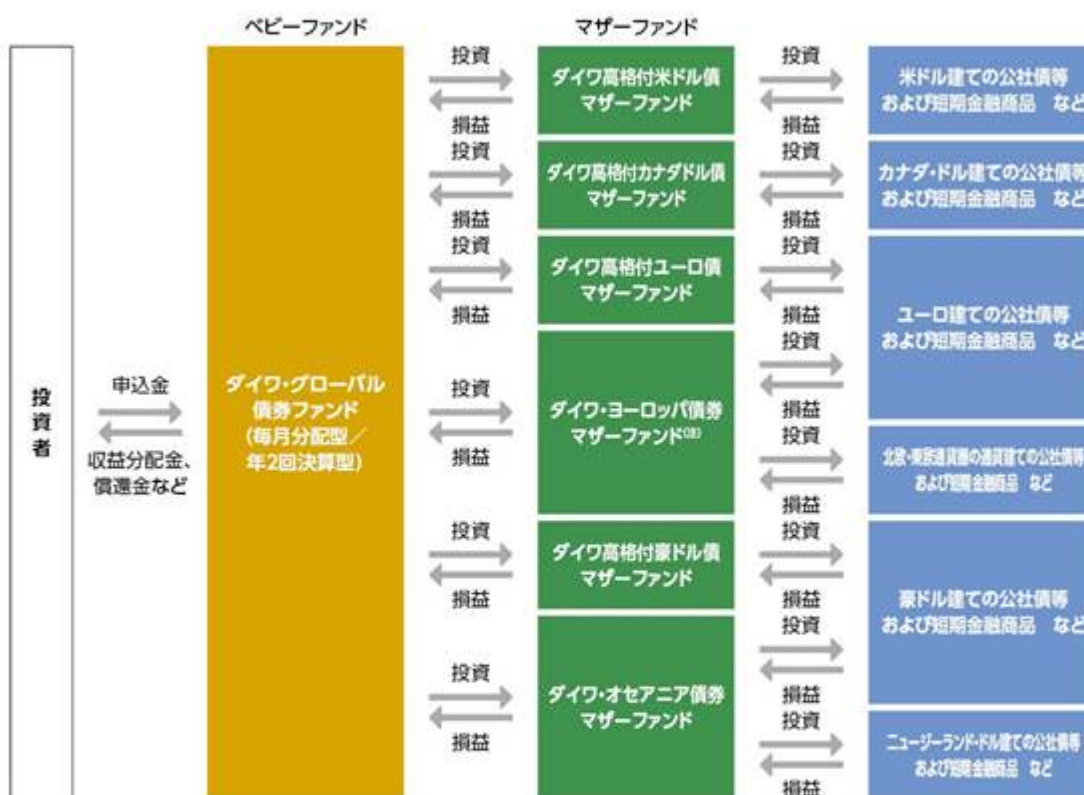
(2026年3月末現在)



## ファンドの仕組み

- 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。

ファミリーファンド方式とは、投資者のみなさまからお預かりした資金をまとめてベビーファンド(当ファンド)とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。



(注)ヨーロッパ各国の金利水準が大きく変わる等、市場環境等によっては、ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンドを通じて、「ユーロ」および「北欧・東欧通貨」以外のヨーロッパの通貨に投資することがあります。

※以下、各マザーファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

ダイワ高格付米ドル債マザーファンド：米ドル債マザー  
 ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド：カナダドル債マザー  
 ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド：ユーロ債マザー  
 ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド：ヨーロッパ債券マザー  
 ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド：豪ドル債マザー  
 ダイワ・オセアニア債券マザーファンド：オセアニア債券マザー

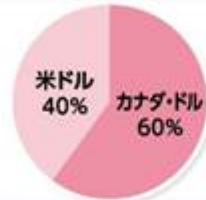
- 各通貨圏内では、投資対象となるマザーファンドのポートフォリオの最終利回り(以下「利回り」といいます。)を参考とし、投資対象通貨を6対4の比率で配分します。

### 北米通貨圏

#### ケース 1

「カナダドル債マザー」の利回り $\geq$ 「米ドル債マザー」の利回りの場合、米ドル対カナダ・ドルを4対6の比率で配分します。

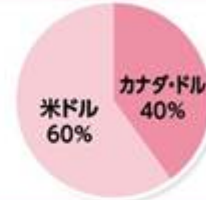
※マザーファンドの組入比率  
「カナダドル債マザー」 60%程度  
「米ドル債マザー」 40%程度



#### ケース 2

「米ドル債マザー」の利回り $>$ 「カナダドル債マザー」の利回りの場合、米ドル対カナダ・ドルを6対4の比率で配分します。

※マザーファンドの組入比率  
「米ドル債マザー」 60%程度  
「カナダドル債マザー」 40%程度



### 欧州通貨圏

#### ケース 1

「ヨーロッパ債券マザー」の利回り $\geq$ 「ユーロ債マザー」の利回りの場合、ユーロ等対北欧・東欧通貨を4対6の比率で配分します。

※マザーファンドの組入比率  
「ヨーロッパ債券マザー」 100%  
「ユーロ債マザー」 0%



「ヨーロッパ債券マザー」は通貨の組入比率が、ユーロ等40%程度、北欧・東欧通貨60%程度のため、「ヨーロッパ債券マザー」のみの組入れとなります。

#### ケース 2

「ユーロ債マザー」の利回り $>$ 「ヨーロッパ債券マザー」の利回りの場合、ユーロ等対北欧・東欧通貨を6対4の比率で配分します。

※マザーファンドの組入比率  
「ユーロ債マザー」 33.3%程度  
「ヨーロッパ債券マザー」 66.7%程度



### オセアニア通貨圏

#### ケース 1

「オセアニア債券マザー」の利回り $\geq$ 「豪ドル債マザー」の利回りの場合、豪ドル対ニュージーランド・ドルを4対6の比率で配分します。

※マザーファンドの組入比率  
「オセアニア債券マザー」 100%  
「豪ドル債マザー」 0%



「オセアニア債券マザー」は通貨の組入比率が、豪ドル40%程度、ニュージーランド・ドル60%程度のため、「オセアニア債券マザー」のみの組入れとなります。

#### ケース 2

「豪ドル債マザー」の利回り $>$ 「オセアニア債券マザー」の利回りの場合、豪ドル対ニュージーランド・ドルを6対4の比率で配分します。

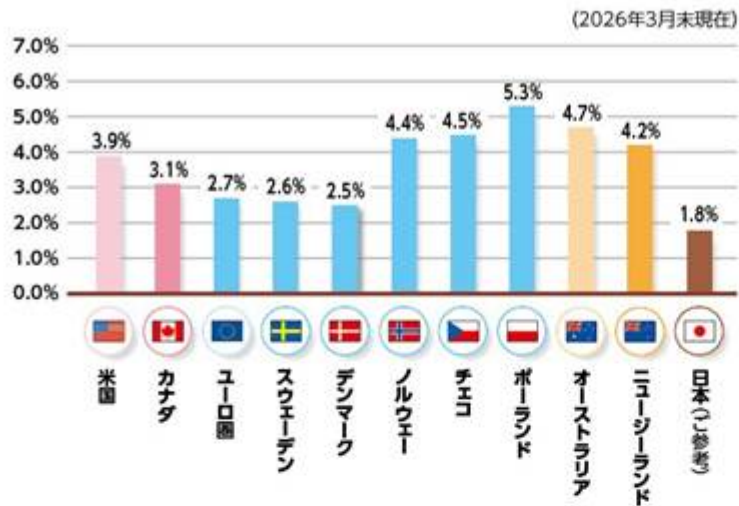
※マザーファンドの組入比率  
「豪ドル債マザー」 33.3%程度  
「オセアニア債券マザー」 66.7%程度



(注)各通貨圏内の配分は、半年ごとに見直しを行ないます。

※上記はイメージであり、実際の投資比率とは異なります。

## 各国の国債利回り(主に残存期間5年程度の国債利回り)



※日本は投資対象国ではありませんが、参考までに表示しています。  
 ※外貨建資産には為替変動リスクがあります。表示の利回りは税引前です。  
 ※当ファンドが左記の利回りで運用されることを示唆するものではありません。  
 ※左記は、過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。  
 ※ユーロ圏はドイツ国債の利回りを使用しています。  
 ※デンマークは、ブルームバーグバリューを使用しています。ブルームバーグバリューとはブルームバーグが、実際の市場データをもとにした定量分析等を適用して算出する理論値です。

(出所)ブルームバーグ

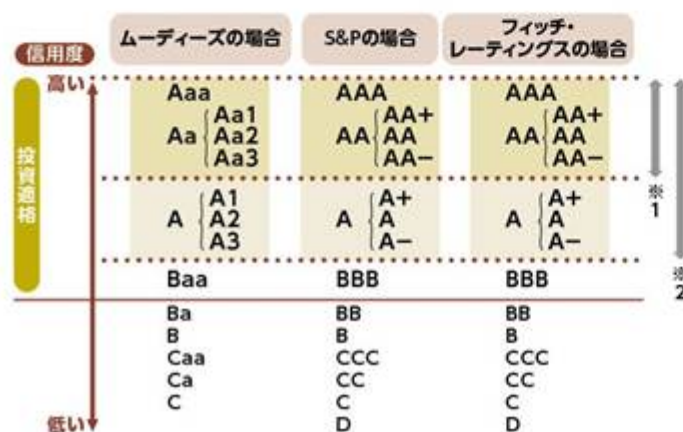
## 2

投資する公社債等の格付けは、取得時において**AA格相当以上**<sup>※1</sup>とすることを基本とします。

ただし、ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンドおよびダイワ・オセアニア債券マザーファンドを通じて投資する国家機関等の公社債等<sup>(注)</sup>については、取得時において**A格相当以上**<sup>※2</sup>とすることを基本とします。

(注)「国家機関等の公社債等」とは、国家機関(政府・州等を含みます。)、国際機関等、もしくはそれらに準ずると判断される機関およびそれらの代理機関等が発行・保証する公社債等をいいます。

## 債券の格付けについて



※1ムーディーズでAa3以上またはS&PでAA-以上(ダイワ高格付豪ドル債マザーファンドを通じて投資する公社債等の格付けは、ムーディーズでAa3以上またはS&PでAA-以上もしくはフィッチでAA-以上)

※2ムーディーズでA3以上またはS&PでA-以上

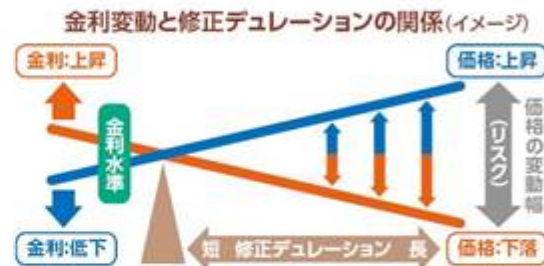
債券の格付けとは、償還時までの債券の元本、利息の支払いの確実性に関する将来の見通しを示すもので、ムーディーズ(Moody's)、S&Pグローバル・レーティング(S&P)、フィッチ・レーティングス(Fitch)といった格付会社が各債券の格付けを行っています。付与された格付けは、随時見直しが行なわれ、発行体の財務状況の変化などによって格上げや格下げが行なわれることがあります。

- 各マザーファンドにおいて、公社債等のポートフォリオの修正デュレーションは、下記の範囲とすることを基本とします。

ダイワ高格付米ドル債マザーファンド	3(年)程度から5(年)程度の範囲
ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド	
ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	
ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド	
ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド	3(年)程度から7(年)程度の範囲
ダイワ・オセアニア債券マザーファンド	

## 修正デュレーションについて

- 修正デュレーションとは、「金利が変動したときに債券価格がどのくらい変化するか」を示す指標です。
- 修正デュレーションが長いほど、金利が変動したときの債券価格の変動（ブレ幅）が大きくなります。



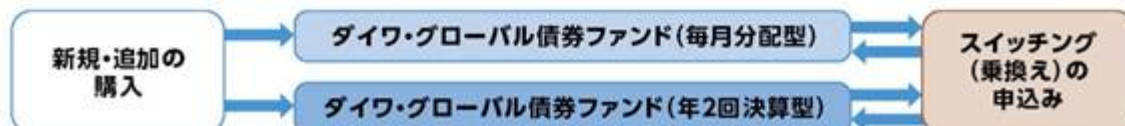
- マザーファンドの受益証券の組入比率の合計は、通常の状態では信託財産の純資産総額の90%程度以上に維持することを基本とします。

大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、ファンドの特色1.および2.の運用が行なわれないことがあります。

3

ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)とダイワ・グローバル債券ファンド(年2回決算型)の2つのファンドがあります。

- 各ファンド間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。



2つのファンドの運用方針は同一ですが、それぞれ別のファンドとして運用を行なうため、運用実績は異なる場合があります。

## 4

2つのファンドは、それぞれ毎月または年2回決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

## 毎月分配型

毎月5日(休業日の場合翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

## ●分配方針

- ①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ②原則として、配当等収益等を中心に安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。なお、売買益等について、基準価額の水準および今後の安定分配を継続するための分配原資の水準を考慮して分配することがあります。

## 収益分配のイメージ



## 年2回決算型

毎年4月5日および10月5日(休業日の場合翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

## ●分配方針

- ①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ②原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

## 収益分配のイメージ



- 上記はイメージ図であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
- 分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- ファンドの基準価額は変動します。投資元本、利回りが保証されているものではありません。

## 主な投資制限

- 株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限ります。株式および株式を組入可能な投資信託証券(マザーファンドの受益証券を除きます。)への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
- 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。

## 収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払されると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



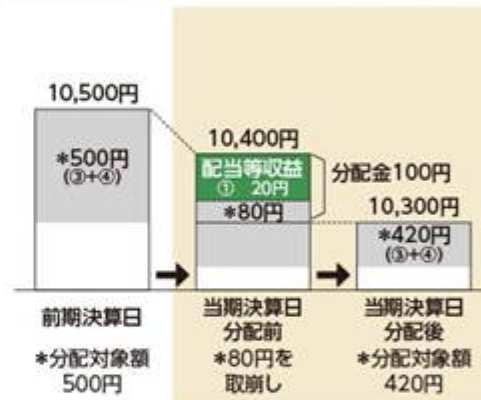
分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

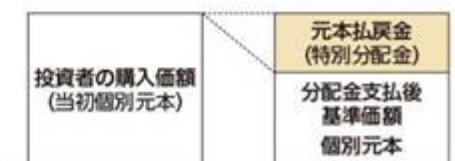
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金……………個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)……………個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。

また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

(注)普通分配金に対する課税については、「4 手数料等及び税金(5)課税上の取扱い」をご参照下さい。

[参考] 各マザーファンドの投資態度

ダイワ高格付米ドル債マザーファンド

ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド

主として米ドル建ての公社債、A B S、M B Sなど(以下「公社債等」といいます。)およびコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	主としてユーロ建ての公社債、A B S、M B Sなど(以下「公社債等」といいます。)およびコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
米ドル建ての公社債等への投資にあたっては、以下の観点からポートフォリオを構築し、運用を行ないます。	ユーロ建ての公社債等への投資にあたっては、以下の観点からポートフォリオを構築し、運用を行ないます。
イ．各銘柄の格付けは、取得時においてA A格相当以上(S & PでA A - 以上またはムーディーズでA a 3以上)とすることを基本とします。	
ロ．取得後、格付けの低下によってA A格相当以上でなくなった場合、委託会社の判断により当該銘柄を保有することもできますが、その範囲は、信託財産の純資産総額の10%程度を上限とします。	
ハ．政府およびその代理機関が発行・保証する公社債等を除き、一発行体当たりの投資比率は、信託財産の純資産総額の10%程度を上限とします。	
ニ．ポートフォリオの修正デュレーションは、3(年)程度から5(年)程度の範囲とすることを基本とします。	
ホ．金利リスク調整のため、米国債先物取引等を利用することがあります。	ホ．金利リスク調整のため、ユーロ建ての国債先物取引等を利用することがあります。
為替については、米ドル建資産の投資比率を100%に近づけることを基本とします。	為替については、ユーロ建資産の投資比率を100%に近づけることを基本とします。
有価証券取引、為替・短期資金取引の相手方の選定は、委託会社の社内規則に則って行ないます。	
大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。	

ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド
主として豪ドル建ての公社債、A B S、M B Sなど(以下「公社債等」といいます。)およびコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	主としてカナダ・ドル建ての公社債(各種の債権や資産を担保・裏付けとして発行された証券を含みます。以下「公社債等」といいます。)およびコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

<p>豪ドル建ての公社債等への投資にあたっては、以下の観点からポートフォリオを構築し、運用を行ないます。</p>	<p>公社債等への投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p>
<p>イ．各銘柄の格付けは、取得時においてA A格相当以上（S &amp; PでA A - 以上またはムーディーズでA a 3 以上もしくはフィッチでA A - 以上）とすることを基本とします。</p>	<p>イ．投資対象の格付けは、取得時においてA A格相当以上（ムーディーズでA a 3 以上またはS &amp; PでA A - 以上）とすることを基本とします。</p>
<p>ロ．取得後、格付けの低下によってA A格相当以上でなくなった場合、委託会社の判断により当該銘柄を保有することもできますが、その範囲は、信託財産の純資産総額の10%程度を上限とします。</p>	<p>ロ．取得後、格付けの低下によってA A格相当以上でなくなった場合、委託会社の判断により当該銘柄を保有することもできますが、その範囲は、合計で信託財産の純資産総額の10%程度を上限とします。</p>
<p>ハ．政府・州およびそれらの代理機関、国際機関等が発行・保証する公社債等を除き、一発行体当たりの投資比率は、信託財産の純資産総額の10%程度を上限とします。</p>	<p>ハ．国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関等、もしくはそれらに準ずると判断される機関およびそれらの代理機関等が発行・保証する公社債等を除き、一発行体当たりの投資比率は、信託財産の純資産総額の10%程度を上限とします。</p>
<p>ニ．ポートフォリオの修正デュレーションは、3（年）程度から5（年）程度の範囲とすることを基本とします。</p>	<p>ニ．ポートフォリオの修正デュレーションは、3(年)程度から5(年)程度の範囲を基本とします。</p>
<p>ホ．金利リスク調整のため、豪ドル建ての国債先物取引等を利用することがあります。</p>	<p>ホ．金利リスク調整のため、カナダ・ドル建ての国債先物取引等を利用することがあります。</p>
<p>為替については、豪ドル建資産の投資比率を信託財産の純資産総額の100%に近づけることを基本とします。</p>	<p>為替については、カナダ・ドル建資産の投資比率を信託財産の純資産総額の100%に近づけることを基本とします。</p>
<p>有価証券取引、為替・短期資金取引の相手方の選定は、委託会社の社内規則に則って行ないます。</p>	
<p>大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。</p>	
<p>ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド</p>	<p>ダイワ・オセアニア債券マザーファンド</p>

<p>主としてヨーロッパの通貨建ての公社債（各種の債権や資産を担保・裏付けとして発行された証券を含みます。以下「公社債等」といいます。）およびコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p>	<p>主としてオセアニアの通貨建ての公社債（各種の債権や資産を担保・裏付けとして発行された証券を含みます。以下「公社債等」といいます。）およびコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p>
<p>公社債等への投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p>	
<p>イ．各通貨圏別の投資比率については、北欧・東欧通貨圏の通貨（注1）を信託財産の純資産総額の60%程度、ユーロ等（注2）を信託財産の純資産総額の40%程度とすることを基本とします（ただし、北欧・東欧通貨圏の対象通貨がユーロに統合される場合は、統合される通貨で実際に投資されている比率をユーロで実際に投資されている比率に加算した比率に基づいて各通貨圏別の配分比率を見直します。）。</p> <p>注1：当ファンドにおける北欧・東欧通貨圏の通貨とは、主として、スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、チェコ、ポーランドおよびハンガリー等の通貨を指しますが、この他、委託会社が北欧・東欧通貨圏の通貨に相当すると判断したヨーロッパの通貨を含みます。</p> <p>注2：ヨーロッパ各国の金利水準が大きく変わる等、市場環境等によっては、ユーロに投資する比率の制約の範囲内で、ユーロ・北欧・東欧通貨圏以外のヨーロッパの通貨に投資することがあります。</p>	<p>イ．各通貨別の投資比率については、ニュージーランド・ドルを信託財産の純資産総額の60%程度、オーストラリア・ドルを信託財産の純資産総額の40%程度とすることを基本とします。</p>
<p>ロ．投資対象の格付けは、取得時においてA A格相当以上とすることを基本とします。</p>	
<p>ハ．ただし、国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関等、もしくはそれらに準ずると判断される機関およびそれらの代理機関等が発行・保証する公社債等（以下「国家機関等の公社債等」といいます。）については、取得時においてA格相当以上とすることを基本とします。</p>	
<p>ニ．国家機関等の公社債等を除き、一発行体当たりの投資比率は、信託財産の純資産総額の10%程度を上限とします。</p>	
<p>ホ．ポートフォリオの修正デュレーションは、3(年)程度から7(年)程度の範囲を基本とします。</p>	
<p>ヘ．金利リスク調整のため、ヨーロッパの通貨建ての国債先物取引等を利用することがあります。</p>	<p>ヘ．金利リスク調整のため、オセアニアの通貨建ての国債先物取引等を利用することがあります。</p>
<p>為替については、ヨーロッパの通貨建資産の投資比率を信託財産の純資産総額の100%に近づけることを基本とします。</p>	<p>為替については、オセアニアの通貨建資産の投資比率を信託財産の純資産総額の100%に近づけることを基本とします。</p>
<p>有価証券取引、為替・短期資金取引の相手方の選定および格付けの定義は、委託会社の社内規則に則って行ないます。</p>	
<p>大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。</p>	

## (2)【ファンドの沿革】

### <ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)>

2003年10月23日 信託契約締結、当初設定、運用開始

2006年 6月30日 信託期間を無期限に変更（当初は2013年11月5日まで）

### <ダイワ・グローバル債券ファンド（年2回決算型）>

2008年10月31日 信託契約締結、当初自己設定、運用開始

## (3) 【ファンドの仕組み】

受益者	お申込者	
収益分配金（注）、償還金など お申込金（ 3）		
お取扱窓口	販売会社	<p>受益権の募集・販売の取扱い等に関する委託会社との契約（ 1）に基づき、次の業務を行いません。</p> <p>受益権の募集の取扱い 一部解約請求に関する事務 収益分配金、償還金、一部解約金の支払いに関する事務 など</p>
1	収益分配金、償還金など お申込金（ 3）	
委託会社	大和アセットマネジメント株式会社	<p>当ファンドにかかる証券投資信託契約（以下「信託契約」といいます。）（ 2）の委託者であり、次の業務を行いません。</p> <p>受益権の募集・発行 信託財産の運用指図 信託財産の計算 運用報告書の作成 など</p>
運用指図 2	損益 信託金（ 3）	
受託会社	<p>三井住友信託銀行株式会社</p> <p>再信託受託会社：株式会社日本カストディ銀行</p>	<p>信託契約（ 2）の受託者であり、次の業務を行いません。なお、信託事務の一部につき株式会社日本カストディ銀行に委託することができます。また、外国における資産の保管は、その業務を行なうに十分な能力を有すると認められる外国の金融機関が行なう場合があります。</p> <p>委託会社の指図に基づく信託財産の管理・処分 信託財産の計算 など</p>
損益 投資		
投資対象	<p>内外の公社債等および短期金融商品 など （ファミリーファンド方式で運用を行いません。）</p>	

（注）「分配金再投資コース」の場合、収益分配金は自動的に再投資されます。

- 1：受益権の募集の取扱い、一部解約請求に関する事務、収益分配金、償還金、一部解約金の支払いに関する事務の内容等が規定されています。
- 2：「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づいて、あらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容に基づき締結されます。証券投資信託の運営に関する事項（運用方針、委託会社および受託会社の業務、受益者の権利、信託報酬、信託期間等）が規定されています。
- 3：販売会社は、各取得申込受付日における取得申込金額の総額に相当する金額を、追加信託が行なわれる日に、委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払込みます。

委託会社および受託会社は、それぞれの業務に対する報酬を信託財産から収受します。また、販売会社には、委託会社から業務に対する代行手数料が支払われます。

#### < 委託会社の概況（2026年3月末日現在） >

・ 資本金の額 414億2,454万1,896円

#### ・ 沿革

1959年12月12日	大和証券投資信託委託株式会社として設立
1960年 2月17日	「証券投資信託法」に基づく証券投資信託の委託会社の免許取得
1960年 4月 1日	営業開始
1985年11月 8日	投資助言・情報提供業務に関する兼業承認を受ける。
1995年 5月31日	「有価証券に係る投資顧問業の規制等に関する法律」に基づき投資顧問業の登録を受ける。
1995年 9月14日	「有価証券に係る投資顧問業の規制等に関する法律」に基づく投資一任契約にかかる業務の認可を受ける。
2007年 9月30日	「金融商品取引法」の施行に伴い、同法第29条の登録を受けたものとみなされる。 (金融商品取引業者登録番号：関東財務局長（金商）第352号)
2020年 4月 1日	大和アセットマネジメント株式会社に商号変更
2024年10月 1日	株式会社かんぼ生命保険と資本業務提携
2025年 7月 1日	大和かんぼオルタナティブインベストメンツ株式会社（旧商号：三井物産オルタナティブインベストメンツ株式会社）を子会社化

#### ・ 大株主の状況

名 称	住 所	所有 株式数	比率
株式会社大和証券グループ本社	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号	株 2,608,525	% 80.00
株式会社かんぼ生命保険	東京都千代田区大手町二丁目3番1号	株 652,132	% 20.00

## 2【投資方針】

### (1)【投資方針】

< 各ファンド共通 >

主要投資対象

次に掲げるマザーファンド(以下、総称して「マザーファンド」といいます。)の受益証券を主要投資対象とします。

1. ダイワ高格付米ドル債マザーファンド(以下「Aファンド」といいます。)の受益証券
2. ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド(以下「Bファンド」といいます。)の受益証券
3. ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド(以下「Cファンド」といいます。)の受益証券
4. ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド(以下「Dファンド」といいます。)の受益証券
5. ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド(以下「Eファンド」といいます。)の受益証券
6. ダイワ・オセアニア債券マザーファンド(以下「Fファンド」といいます。)の受益証券

#### 投資態度

イ. 通貨を分散し、外貨建ての公社債に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

ロ. 米ドルおよびカナダ・ドルを北米通貨圏、ユーロ等および北欧・東欧通貨\*を欧州通貨圏、豪ドルおよびニュージーランド・ドルをオセアニア通貨圏とし、3通貨圏に均等に投資することをめざします。

\* 北欧・東欧通貨とは、スウェーデン・クローネ(SKr)、デンマーク・クローネ(DKr)、ノルウェー・クローネ(NKr)、チェコ・コルナ(Kc)、ポーランド・ズロチ(ZL)、ハンガリー・フォリント(Ft)等とします。

ハ. 各通貨圏の公社債への投資は以下のマザーファンドの受益証券を通じて行ないます。

- ・北米通貨圏への投資は、「Aファンド」および「Dファンド」の受益証券を通じて行ないます。
- ・欧州通貨圏への投資は、「Bファンド」および「Eファンド」の受益証券を通じて行ないます。
- ・オセアニア通貨圏への投資は、「Cファンド」および「Fファンド」の受益証券を通じて行ないます。

ニ. 各通貨圏内では、投資対象となるマザーファンドのポートフォリオの最終利回り(以下「利回り」といいます。)を参考とし、投資対象通貨を6対4の比率で配分することをめざします。

- ・北米通貨圏では、米ドル対カナダ・ドルを4対6とすることをめざしますが、「Aファンド」の利回りが「Dファンド」の利回りより高い場合、米ドル対カナダ・ドルを6対4とすることをめざします。
- ・欧州通貨圏では、ユーロ等対北欧・東欧通貨を4対6とすることをめざしますが、「Bファンド」の利回りが「Eファンド」の利回りより高い場合、ユーロ等対北欧・東欧通貨を6対4とすることをめざします。
- ・オセアニア通貨圏では、豪ドル対ニュージーランド・ドルを4対6とすることをめざしますが、「Cファンド」の利回りが「Fファンド」の利回りより高い場合、豪ドル対ニュージーランド・ドルを6対4とすることをめざします。
- ・各通貨圏内の配分は半年ごとに見直しを行ないます。

ホ. マザーファンド受益証券の組入比率の合計は、通常の状態では信託財産の純資産総額の90%程度以上に維持することを基本とします。

ヘ. 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

## (2)【投資対象】

<各ファンド共通>

当ファンドにおいて投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条に掲げるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．デリバティブ取引にかかる権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、後掲(5)、および に定めるものに限ります。）

ハ．約束手形

ニ．金銭債権のうち、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第22条第1項第6号に掲げるもの

2. 次に掲げる特定資産以外の資産

イ．為替手形

委託会社は、信託金を、大和アセットマネジメント株式会社を委託者とし、三井住友信託銀行株式会社を受託者として締結されたダイワ高格付米ドル債マザーファンド、ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド、ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド、ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド、ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンドおよびダイワ・オセアニア債券マザーファンド（以下、総称して「マザーファンド」といいます。）の受益証券ならびに次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1. 転換社債の転換、新株予約権（新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）の新株予約権に限ります。）の行使、社債権者割当または株主割当により取得した外国通貨表示の株券または新株引受権証券

2. 国債証券

3. 地方債証券

4. 特別の法律により法人の発行する債券

5. 社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）

6. コマーシャル・ペーパー

7. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前1.から前6.までの証券または証書の性質を有するもの

8. 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）

9. 投資証券、投資法人債券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）

10. 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）

11. 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）

12. 外国法人が発行する譲渡性預金証書

13. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）

14. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの

## 15. 外国の者に対する権利で前14.の有価証券の性質を有するもの

なお、前1.の証券または証書ならびに前7.および前11.の証券または証書のうち前1.の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、前2.から前5.までの証券ならびに前9.の証券のうち投資法人債券ならびに前7.および前11.の証券または証書のうち前2.から前5.までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、前8.の証券および前9.の証券（投資法人債券を除きます。）を以下「投資信託証券」といいます。

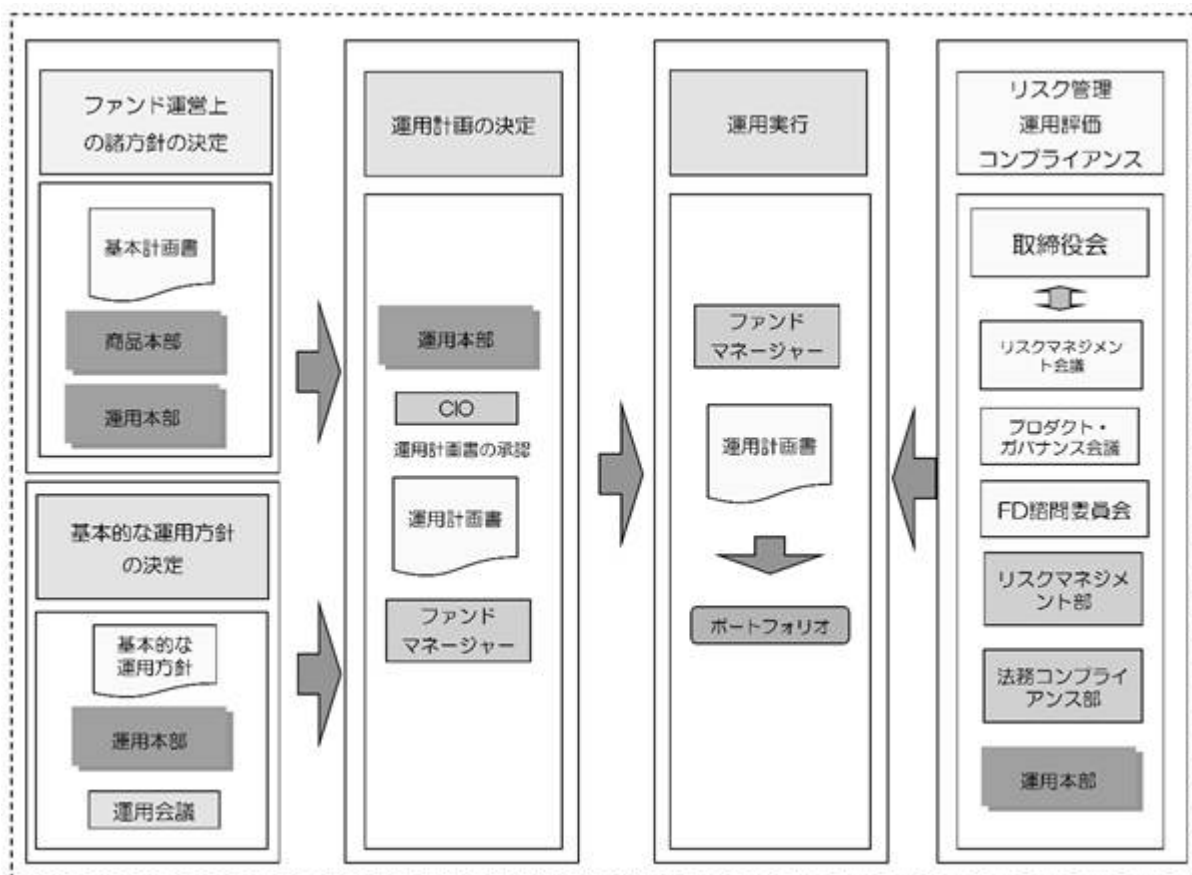
委託会社は、信託金を、前 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で前5.の権利の性質を有するもの

## (3) 【運用体制】

## 運用体制

ファンドの運用体制は、以下のとおりとなっています。



## 運用方針の決定にかかる過程

運用方針は次の過程を経て決定しております。

## イ. 基本計画書の策定

ファンド運営上の諸方針を記載した基本計画書を商品本部長の決裁により決定します。

#### ロ．基本的な運用方針の承認

運用担当チームは、基本的な運用方針を作成し、運用会議にて承認を受けます。

#### ハ．運用計画書の作成・承認

ファンドマネージャーは、基本計画書に定められた各ファンドの諸方針と運用会議で承認された基本的な運用方針にしたがって運用計画書を作成し、CIOの承認を受けます。

#### 職務権限

ファンド運用の意思決定機能を担う運用本部において、各職位の主たる職務権限は、社内規則によって、次のように定められています。

#### イ．CIO（Chief Investment Officer）（1名）

運用最高責任者として、次の職務を遂行します。

- ・運用チームまたは運用チームの戦略毎の基本的な運用方針の承認
- ・運用チームリーダーまたは運用チームメンバーが策定する各信託財産等の運用計画書および変更運用計画書の承認
- ・その他信託財産等の運用に関する事項の決定

#### ロ．Deputy-CIO（0～5名程度）

CIOを補佐し、その指揮を受け、職務を遂行します。

#### ハ．インベストメント・オフィサー（0～5名程度）

CIOおよびDeputy-CIOを補佐し、その指揮を受け、職務を遂行します。

#### ニ．運用部長（各運用部に1名）

運用チームリーダーまたは運用チームメンバーが策定する運用計画書および変更運用計画書を承認します。

#### ホ．運用チームリーダー

次の職務を遂行します。

- ・運用チームまたは運用チームの戦略毎の基本的な運用方針の立案
- ・運用計画書および変更運用計画書の作成または運用チームメンバーへの作成の指示
- ・運用計画に基づく運用プロセス等の実行および運用チームメンバーへの実行の指示

#### ヘ．ファンドマネージャー

次の職務を遂行します。

- ・運用チームリーダーの指示に基づく運用計画書および変更運用計画書の作成
- ・運用計画に基づく運用プロセス等の実行

#### リスクマネジメント会議、プロダクト・ガバナンス会議およびFD諮問委員会

次のとおり各会議体等において必要な報告・審議等を行なっています。これら会議体等の事務局となる部署の人員は10～20名程度です。

#### イ．リスクマネジメント会議

経営会議の分科会として、ファンドの運用リスクの状況・運用リスク管理等の状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

#### ロ．プロダクト・ガバナンス会議

経営会議の分科会として、運用状況・商品性およびこれらの開示の適切性について検証結果の報告を行ない、対応方針を審議・決定したうえでその実行状況を確認します。加えて、その他当社が運用するプロダクトの品質の維持・向上に関する事項の審議・決定・報告を行ないません。

## 八．FD諮問委員会

取締役会の諮問委員会として、ファンド組成・運用に関わる会議体等に対する牽制に資する事項について、取締役会に意見を述べます。

### 受託会社に対する管理体制

受託会社に対しては、日々の純資産照合、月次の勘定残高照合などを行なっています。また、受託会社より内部統制の整備および運用状況の報告書を受け取っています。

上記の運用体制は2026年3月末日現在のものであり、変更となる場合があります。

## (4)【分配方針】

### <ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)>

分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。

原則として、配当等収益等を中心に安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。なお、売買益等について、基準価額の水準および今後の安定分配を継続するための分配原資の水準を考慮して分配することがあります。

留保益は、前(1)に基づいて運用します。

### <ダイワ・グローバル債券ファンド（年2回決算型）>

分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。

原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

留保益は、前(1)に基づいて運用します。

## (5)【投資制限】

### <各ファンド共通>

#### 株式（信託約款）

イ．株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権（新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）の新株予約権に限ります。）の行使等により取得したものに限り、

ロ．委託会社は、信託財産に属する株式および株式を組入可能な投資信託証券（マザーファンドの受益証券を除きます。）の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する株式および株式を組入可能な投資信託証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。

ハ．前ロ．において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額に、マザーファンドの信託財産の純資産総額に占める株式および株式を組入可能な投資信託証券の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

#### 投資信託証券（信託約款）

イ．委託会社は、信託財産に属する投資信託証券（マザーファンドの受益証券を除きます。）の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する投資信託証券の時価総額のうち信託財産に属するとみな

した額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。

ロ．前イ．において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額に、マザーファンドの信託財産の純資産総額に占める投資信託証券の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

#### 投資する株式の範囲(信託約款)

イ．委託会社が投資することを指図する株式は、金融商品取引所( )に上場されている株式の発行会社の発行するもの、金融商品取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するものとし、ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式については、この限りではありません。

( )金融商品取引所について

##### <ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)>

金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号口に規定する外国金融商品市場のうち、有価証券の売買または金融商品取引法第28条第8項第3号もしくは同項第5号の取引を行なう市場および当該市場を開設するものをいいます。以下同じ。

##### <ダイワ・グローバル債券ファンド(年2回決算型)>

金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号口に規定する外国金融商品市場をいい、単に「取引所」ということがあります。以下同じ。

ロ．前イ．の規定にかかわらず、上場予定または登録予定の株式で目論見書等において上場または登録されることが確認できるものについては、委託会社が投資することを指図することができるものとします。

#### 先物取引等(信託約款)

イ．委託会社は、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。)、有価証券指数等先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。 )および有価証券オプション取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。 )ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします(以下同じ。 )。

ロ．委託会社は、わが国の取引所における通貨にかかる先物取引ならびに外国の取引所における通貨にかかる先物取引およびオプション取引を行なうことの指図をすることができます。

ハ．委託会社は、わが国の取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所における金利にかかるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。

#### スワップ取引(信託約款)

イ．委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(以下「スワップ取引」といいます。 )を行なうことの指図をすることができます。

ロ．スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として、信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ．スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額とマザーファンドの信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額（以下本八．において「スワップ取引の想定元本の合計額」といいます。）が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の合計額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。

ニ．前八．においてマザーファンドの信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額のうち信託財産に属するとみなした額とは、マザーファンドの信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

ホ．スワップ取引の評価は、市場実勢金利等をもとに算出した価額で行なうものとします。

ヘ．委託会社は、スワップ取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

金利先渡取引および為替先渡取引（信託約款）

イ．委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうことの指図をすることができます。

ロ．金利先渡取引および為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として、信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ．金利先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額とマザーファンドの信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額（以下本八．において「金利先渡取引の想定元本の合計額」といいます。）が、信託財産にかかる保有金利商品（信託財産が1年以内に受取る組入有価証券の利払金および償還金等ならびに前(2) の1.から4.までに掲げる金融商品で運用されているものをいいます。）の時価総額とマザーファンドの信託財産にかかる保有金利商品の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額（以下本八．において「保有金利商品の時価総額の合計額」といいます。）を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有金利商品の時価総額の合計額が減少して、金利先渡取引の想定元本の合計額が保有金利商品の時価総額の合計額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する金利先渡取引の一部の解約を指図するものとします。

ニ．前八．においてマザーファンドの信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額のうち信託財産に属するとみなした額とは、マザーファンドの信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。また、マザーファンドの信託財産にかかる保有金利商品の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額とは、マザーファンドの信託財産にかかる保有金利商品の時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

ホ．為替先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる為替先渡取引の想定元本の総額とマザーファンドの信託財産にかかる為替先渡取引の想定元本の総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額（以下本ホ．において「為替先渡取引の想定元本の合計額」といいます。）が、信託財産にかかる保有外貨建資産の時価総額とマザーファンドの信託財産にかかる保有外貨建資産の

時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額（以下本ホ．において「保有外貨建資産の時価総額の合計額」といいます。）を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有外貨建資産の時価総額の合計額が減少して、為替先渡取引の想定元本の合計額が保有外貨建資産の時価総額の合計額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する為替先渡取引の一部の解約を指図するものとします。

ヘ．前ホ．においてマザーファンドの信託財産にかかる為替先渡取引の想定元本の総額のうち信託財産に属するとみなした額とは、マザーファンドの信託財産にかかる為替先渡取引の想定元本の総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。また、マザーファンドの信託財産にかかる保有外貨建資産の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額とは、マザーファンドの信託財産にかかる保有外貨建資産の時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

ト．金利先渡取引および為替先渡取引の評価は、市場実勢金利等をもとに算出した価額で行なうものとします。

チ．委託会社は、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

#### デリバティブ取引等（信託約款）

委託会社は、デリバティブ取引等について、一般社団法人資産運用業協会規則に定める合理的な方法により算出した額が、信託財産の純資産総額を超えることとなる投資の指図をしません。

#### 同一銘柄の転換社債等（信託約款）

イ．委託会社は、信託財産に属する同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する当該転換社債および転換社債型新株予約権付社債の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。

ロ．前イ．において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額に、マザーファンドの信託財産の純資産総額に占める当該転換社債および転換社債型新株予約権付社債の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

#### 有価証券の貸付け（信託約款）

イ．委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次の範囲内で貸付けることの指図をすることができます。

1．株式の貸付けは、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額の50%を超えないものとします。

2．公社債の貸付けは、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。

ロ．前イ．に定める限度額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。

ハ．委託会社は、有価証券の貸付けにあたって必要と認めるときは、担保の受入れの指図を行なうものとします。

#### 外貨建資産（信託約款）

外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。

特別の場合の外貨建有価証券への投資制限（信託約款）

外貨建有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

#### 外国為替予約取引（信託約款）

委託会社は、信託財産に属する外貨建資産とマザーファンドの信託財産に属する外貨建資産のうち信託財産に属するとみなした額（信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める外貨建資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。）との合計額について、当該外貨建資産の為替ヘッジのため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。

#### 信用リスク集中回避（信託約款）

一般社団法人資産運用業協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人資産運用業協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。

#### 資金の借入れ（信託約款）

イ．委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。）を目的として、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行なわないものとします。

ロ．一部解約に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から、信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間、または解約代金の入金日までの間、もしくは償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、解約代金および償還金の合計額を限度とします。ただし、資金借入額は、借入指図を行なう日における信託財産の純資産総額の10%を超えないこととします。

ハ．収益分配金の再投資にかかる借入期間は、信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。

ニ．借入金の利息は信託財産中から支弁します。

### < 参 考 > マザーファンドの概要

#### (1) 投資方針

##### 主要投資対象

#### イ．ダイワ高格付米ドル債マザーファンド

内外の公社債、ABS（アセットバック証券：各種の債権や商業用不動産などの資産を裏付けとして発行された証券）、MBS（モーゲージ担保证券：不動産担保融資の債権を裏付けとして発行された証券）および短期金融商品を主要投資対象とします。

#### ロ．ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド

内外の公社債、ABS（アセットバック証券：各種の債権や商業用不動産などの資産を裏付けとして発行された証券）、MBS（モーゲージ担保证券：不動産担保融資の債権を裏付けとして発行された証券）などおよび短期金融商品を主要投資対象とします。

#### ハ．ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

内外の公社債、ABS（アセットバック証券：各種の債権や商業用不動産などの資産を裏付けとして発行された証券）、MBS（モーゲージ担保証券：不動産担保融資の債権を裏付けとして発行された証券）および短期金融商品を主要投資対象とします。

#### ニ．ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

内外の公社債等および短期金融商品を主要投資対象とします。

#### ホ．ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド

内外の公社債等および短期金融商品を主要投資対象とします。

#### ヘ．ダイワ・オセアニア債券マザーファンド

内外の公社債等および短期金融商品を主要投資対象とします。

#### 投資態度

「1 ファンドの性格」「(1) ファンドの目的及び基本的性格」＜ファンドの目的・特色＞の「[参考] 各マザーファンドの投資態度」をご参照下さい。

#### (2) 投資対象＜各マザーファンド共通＞

当ファンドにおいて投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

1．次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条に掲げるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．デリバティブ取引にかかる権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、後掲(3)、および に定めるものに限りません。）

ハ．約束手形

ニ．金銭債権のうち、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第22条第1項第6号に掲げるもの

2．次に掲げる特定資産以外の資産

イ．為替手形

委託会社は、信託金を、次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1．転換社債の転換、新株予約権（新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）の新株予約権に限りません。）の行使、社債権者割当または株主割当により取得した外国通貨表示の株券または新株引受権証券

2．国債証券

3．地方債証券

4．特別の法律により法人の発行する債券

5．社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）

6．コマーシャル・ペーパー

7．外国または外国の者の発行する証券または証書で、前1.から前6.までの証券または証書の性質を有するもの

8. 投資信託または外国投資信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。)
9. 投資証券、投資法人債券または外国投資証券(金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。)
10. 外国貸付債権信託受益証券(金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。)
11. 預託証券(金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。)
12. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
13. 指定金銭信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。)
14. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
15. 外国の者に対する権利で前14.の有価証券の性質を有するもの

なお、前1.の証券または証書、前7.ならびに前11.の証券または証書のうち前1.の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、前2.から前5.までの証券および前7.ならびに前11.の証券または証書のうち前2.から前5.までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、前8.の証券および前9.の証券(投資法人債券を除きます。))を以下「投資信託証券」といいます。

委託会社は、信託金を、前に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。))により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託(金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。)
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で前5.の権利の性質を有するもの

### (3) 主な投資制限<各マザーファンド共通>

#### 株式

株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権(転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。))の行使等により取得したものに限り、

株式および株式を組入可能な投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

#### 投資信託証券

投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

#### 外貨建資産

外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

#### 先物取引等

イ. 委託会社は、わが国の金融商品取引所(金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号ロに規定する外国金融商品市場のうち、有価証券の売買または金融商品取引法第28条第8項第3号もしくは同項第5号の取引を行なう市場および当該市場を開設するものをいいます。以下「<参考>マザーファンドの概要」において同じ。))における有価証券先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。))、有価証券指数

等先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号口に掲げるものをいいます。)および有価証券オプション取引(金融商品取引法第28条第8項第3号八に掲げるものをいいます。)ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします(以下同じ。)

ロ. 委託会社は、わが国の取引所における通貨にかかる先物取引ならびに外国の取引所における通貨にかかる先物取引およびオプション取引を行なうことの指図をすることができます。

ハ. 委託会社は、わが国の取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。

#### スワップ取引

イ. 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(以下「スワップ取引」といいます。)を行なうことの指図をすることができます。

ロ. スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ. スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の合計額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の合計額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。

ニ. スワップ取引の評価は、市場実勢金利等をもとに算出した価額で行なうものとします。

ホ. 委託会社は、スワップ取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

#### 金利先渡取引および為替先渡取引

イ. 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうことの指図をすることができます。

ロ. 金利先渡取引および為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ. 金利先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の合計額が、信託財産にかかる保有金利商品の時価総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有金利商品の時価総額の合計額が減少して、金利先渡取引の想定元本の合計額が保有金利商品の時価総額の合計額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する金利先渡取引の一部の解約を指図するものとします。

ニ. 為替先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる為替先渡取引の想定元本の合計額が、信託財産にかかる保有外貨建資産の時価総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有外貨建資産の時価総額の合計額が減少して、為替先渡取引の想定元本の合計額が保有外貨建資産の時価総額の合計額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する為替先渡取引の一部の解約を指図するものとします。

ホ. 金利先渡取引および為替先渡取引の評価は、市場実勢金利等をもとに算出した価額で行なうものとします。

へ。委託会社は、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

### 3【投資リスク】

#### (1)価額変動リスク

当ファンドは、公社債など値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。委託会社の指図に基づく行為により信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。

投資信託は預貯金とは異なります。

投資者のみなさまにおかれましては、当ファンドの内容・リスクを十分ご理解のうえお申込み下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

基準価額の主な変動要因については、次のとおりです。

#### 公社債の価格変動(価格変動リスク・信用リスク)

公社債の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します(値動きの幅は、残存期間、発行体、公社債の種類等により異なります。)。また、公社債の価格は、発行体の信用状況によっても変動します。特に、発行体が財政難、経営不安等により、利息および償還金をあらかじめ決定された条件で支払うことができなくなった場合(債務不履行)、またはできなくなることが予想される場合には、大きく下落します(利息および償還金が支払われないこともあります。)。組入公社債の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

#### 外国証券への投資に伴うリスク

##### イ. 為替リスク

外貨建資産の円換算価値は、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、各国の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

当ファンドの主要投資対象である各マザーファンドにおいて、為替については、投資対象とする通貨建ての資産の投資比率を信託財産の純資産総額の100%に近づけることを基本とします。また、当ファンドにおいて、マザーファンドの受益証券の組入比率の合計は、通常の状態では信託財産の純資産総額の90%程度以上に維持することを基本とします。このため基準価額は、為替レートの変動の影響を直接受けます。

##### ロ. カントリー・リスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となる場合があります。

##### その他

イ. 解約申込みがあった場合には、解約資金を手当てするため組入証券を売却しなければならないことがあります。その際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

ロ．ファンド資産をコール・ローン、譲渡性預金証書等の短期金融資産で運用する場合、債務不履行により損失が発生することがあります（信用リスク）。この場合、基準価額が下落する要因となります。

#### (2)換金性等が制限される場合

通常と異なる状況において、お買付け・ご換金に制限を設けることがあります。

金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、お買付け、ご換金の申込みの受け付けを中止することがあります。

ご換金の申込みの受け付けが中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行なった当日のご換金の申込みを撤回することができます。ただし、受益者がそのご換金の申込みを撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日にご換金の申込みを受け付けたものとして取扱います。

#### (3)その他の留意点

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

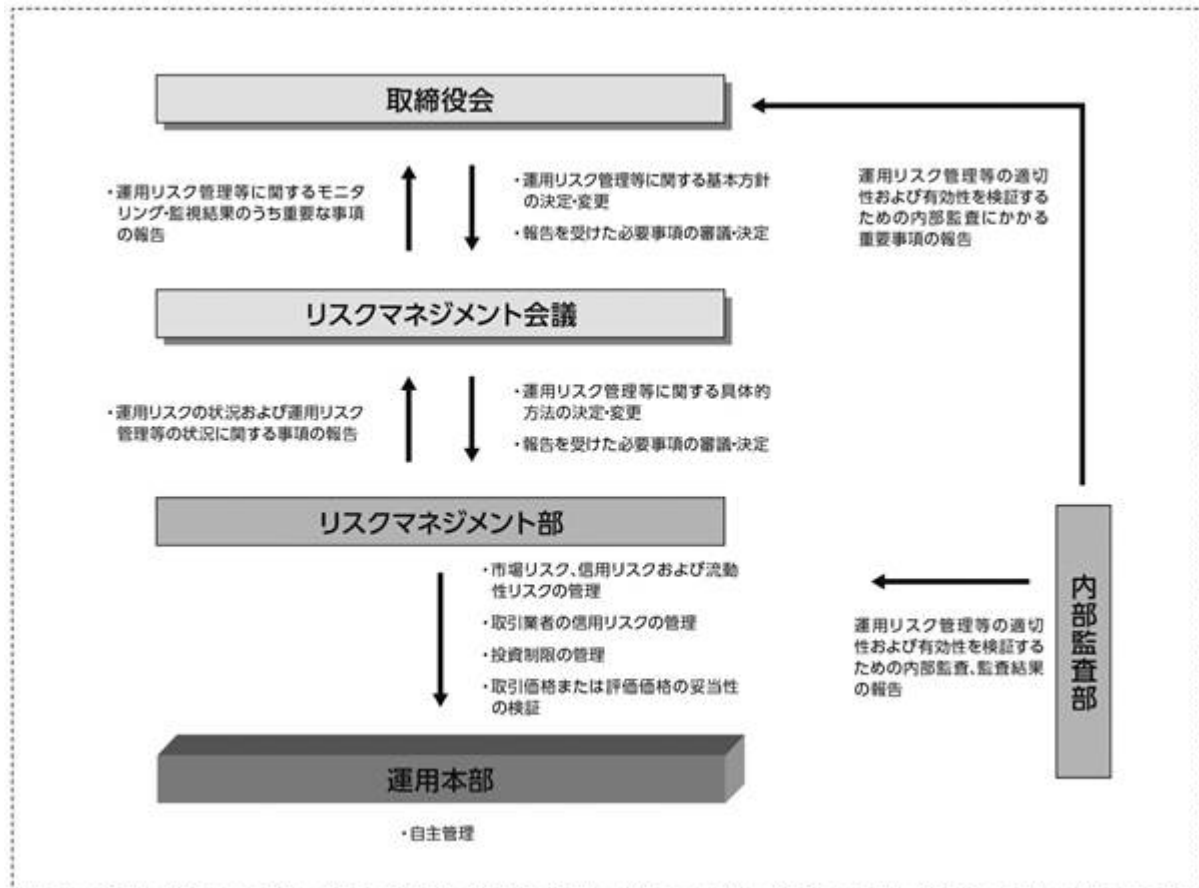
##### 流動性リスクに関する事項

- ・ 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。

これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

#### (4)リスク管理体制

運用リスク管理体制（ ）は、以下のとおりとなっています。



#### 流動性リスクに対する管理体制

- ・ 委託会社では、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行いません。
- ・ 取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

## 参考情報

下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

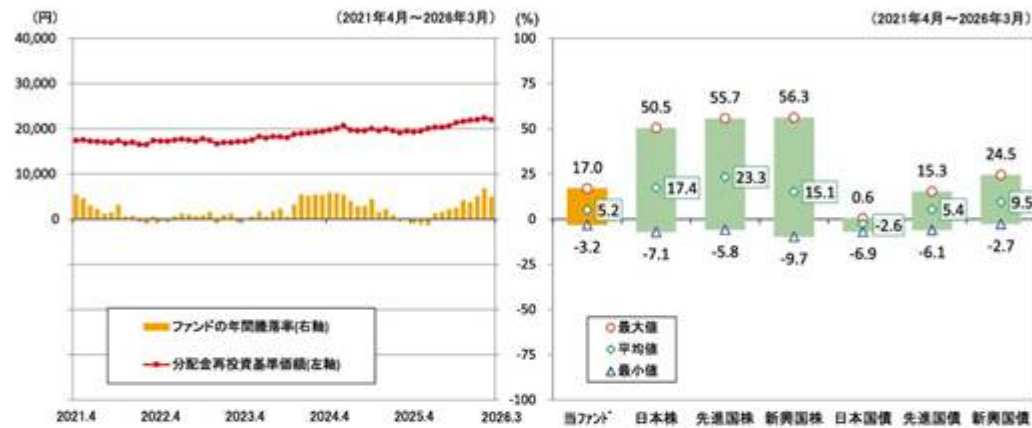
右のグラフは過去5年間ににおける年間騰落率(各月末における直近1年間の騰落率)の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

また左のグラフはファンドの過去5年間ににおける年間騰落率の推移を表示しています。

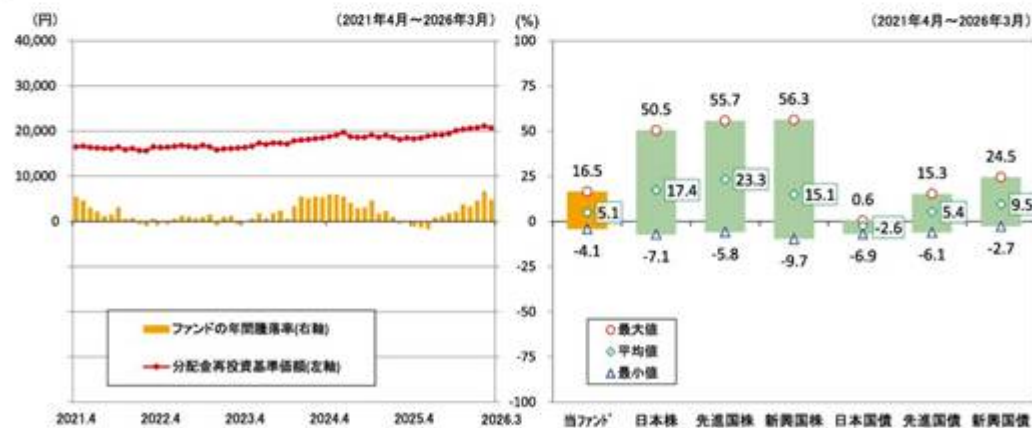
### ファンドの年間騰落率と分配金再投資基準価額の推移

### 他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

#### ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)



#### ダイワ・グローバル債券ファンド(年2回決算型)



※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

## 資産クラスの指数について

日本株 配当込みTOPIX	配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または指標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または指標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。
先進国株 MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. (MSCI)が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。(https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html)
新興国株 MSCIエマージング・マーケット・ インデックス(配当込み、円ベース)	
日本国債 NOMURA-BPI国債	NOMJRA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公算利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMJRA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は同社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
先進国債 FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債 JPモルガン ガバメント・ボンド・ インデックスー エマージング・ マーケット グローバル ダイバー シファイド(円ベース)	JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスー エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。 Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

## 4【手数料等及び税金】

## (1)【申込手数料】

販売会社におけるお買付時の申込手数料の料率の上限は、2.2%（税抜2.0%）となっています。

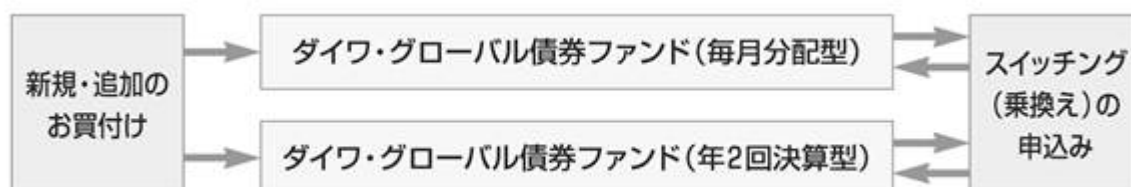
具体的な手数料の料率等については、販売会社にお問合わせ下さい。

申込手数料には、消費税および地方消費税（以下「消費税等」といいます。）が課されます。

「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。

## &lt;スイッチング（乗換え）について&gt;

- ・「ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)」の受益者が、保有する受益権を換金した手取金をもって「ダイワ・グローバル債券ファンド（年2回決算型）」の受益権の取得申込みを行なうこと、および「ダイワ・グローバル債券ファンド（年2回決算型）」の受益者が、保有する受益権を換金した手取金をもって「ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)」の受益権の取得申込みを行なうことをいいます。
- ・スイッチング（乗換え）の申込みの際には、換金の申込みを行なうファンドと、取得の申込みを行なうファンドをご指示下さい。
- ・スイッチング（乗換え）にかかる申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等に相当する金額は、スイッチング（乗換え）の金額から差引かせていただきます。



申込手数料は、お買付時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

## (2)【換金（解約）手数料】

換金手数料

ありません。

信託財産留保額

ありません。

### (3) 【信託報酬等】

信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年率1.375%（税抜1.25%）を乗じて得た額とします。信託報酬は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。信託報酬は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。

信託報酬にかかる消費税等に相当する金額を、信託報酬支弁のときに信託財産中から支弁します。

信託報酬の配分は、次のとおりです。

「ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型）」および「ダイワ・グローバル債券ファンド（年2回決算型）」の信託財産の純資産総額の合計額が	委託会社	販売会社	受託会社
300億円未満の場合	年率0.50% （税抜）	年率0.70% （税抜）	年率0.05% （税抜）
300億円以上1,000億円未満の場合	年率0.45% （税抜）	年率0.75% （税抜）	
1,000億円以上の場合	年率0.40% （税抜）	年率0.80% （税抜）	

上記の信託報酬の配分には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

前 の販売会社への配分は、販売会社の行なう業務に対する代行手数料であり、委託会社が一旦信託財産から収受した後、販売会社に支払われます。

信託報酬を対価とする役務の内容は、配分先に応じて、それぞれ以下のとおりです。

委託会社：ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価

販売会社：運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価

受託会社：運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価

### (4) 【その他の手数料等】

信託財産において資金借入れを行なった場合、当該借入金の利息は信託財産中より支弁します。

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息および信託財産にかかる監査報酬ならびに当該監査報酬にかかる消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。

信託財産に属する有価証券等に関連して発生した訴訟係争物たる権利その他の権利に基づいて益金が生じた場合、当該支払いに際して特別に必要となる費用（データ処理費用、郵送料等）は、受益者の負担とし、当該益金から支弁します。

信託財産で有価証券の売買を行なう際に発生する売買委託手数料、当該売買委託手数料にかかる消費税等に相当する金額、先物取引・オプション取引等に要する費用、信託財産に属する資産を外国で保管する場合の費用は、信託財産中より支弁します。

( ) 「その他の手数料等」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

#### < マザーファンドより支弁する手数料等 >

各マザーファンドの投資対象等に応じて、信託財産に関する租税、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を支弁します。

#### (5) 【課税上の取扱い】

課税上は株式投資信託として取扱われます。

個人の投資者に対する課税

##### イ．収益分配金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、配当所得として課税され、20%（所得税15%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。ただし、2037年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課され、税率は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）となります。

##### ロ．解約金および償還金に対する課税

一部解約時および償還時の差益（解約価額および償還価額から取得費用（申込手数料（税込）を含む）を控除した利益）については、譲渡所得とみなされ、20%（所得税15%および地方税5%）の税率により、申告分離課税が適用されます。ただし、2037年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課され、税率は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）となります。

##### ハ．損益通算について

一部解約時および償還時の損失については、確定申告により、上場株式等（特定公社債、公募公社債投資信託を含みます。）の譲渡益および償還差益と相殺することができ、申告分離課税を選択した上場株式等の配当所得および利子所得との損益通算も可能となります。また、翌年以後3年間、上場株式等の譲渡益・償還差益および配当等・利子から繰越控除することができます。一部解約時および償還時の差益については、他の上場株式等の譲渡損および償還差損との相殺が可能となります。

なお、特定口座にかかる課税上の取扱いにつきましては、販売会社にお問合わせ下さい。

少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」について

少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」は、少額上場株式等に関する非課税制度であり、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。

ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした商品を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。

公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISAの適用対象となります。

当ファンドは、NISAの対象ではありません。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。

## 法人の投資者に対する課税

法人の投資者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに一部解約時および償還時の個別元本超過額については配当所得として課税され、15%（所得税15%）の税率で源泉徴収（ ）され法人の受取額となります。地方税の源泉徴収はありません。収益分配金のうち所得税法上課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）には課税されません。ただし、2037年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課され、税率は15.315%（所得税15%および復興特別所得税0.315%）となります。なお、益金不算入制度の適用はありません。

源泉徴収された税金は法人税額から控除されます。

### <注1> 個別元本について

投資者ごとの信託時の受益権の価額等（申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等に相当する金額は含まれません。）が当該投資者の元本（個別元本）にあたります。

投資者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該投資者が追加信託を行なうつど当該投資者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。

投資者が元本払戻金（特別分配金）を受取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該投資者の個別元本となります。

個別元本について、詳しくは販売会社にお問合せ下さい。

### <注2> 収益分配金の課税について

追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（投資者ごとの元本の一部払戻しに相当する部分）の区分があります。

投資者が収益分配金を受取る際、イ．当該収益分配金落ち後の基準価額が当該投資者の個別元本と同額の場合または当該投資者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、ロ．当該収益分配金落ち後の基準価額が当該投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

- （ ）外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- （ ）上記は、2026年3月末日現在のもので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。
- （ ）課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## 5【運用状況】

## 【ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型）】

## (1) 【投資状況】（2026年3月31日現在）

## 投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	78,492,213,579	99.51
内 日本	78,492,213,579	99.51
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	382,846,702	0.49
純資産総額	78,875,060,281	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

## (2) 【投資資産】（2026年3月31日現在）

## 【投資有価証券の主要銘柄】

## イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 または 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	11,599,042,628	2.2915 26,579,206,184	2.2525 26,126,843,519	33.12
2	ダイワ・オセアニア債券マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	4,554,921,303	3.9215 17,862,123,892	3.7895 17,260,874,277	21.88
3	ダイワ高格付米ドル債マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	6,161,683,665	2.5679 15,822,587,490	2.5944 15,985,872,100	20.27
4	ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	3,765,443,500	2.8182 10,611,772,899	2.7889 10,501,445,377	13.31
5	ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	2,023,239,254	4.3586 8,818,490,617	4.2591 8,617,178,306	10.93

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

## ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
親投資信託受益証券	99.51%
合計	99.51%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

#### 八．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

#### 【投資不動産物件】

該当事項はありません。

#### 【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

#### (3) 【運用実績】

##### 【純資産の推移】

	純資産総額 (分配落) (円)	純資産総額 (分配付) (円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第25特定期間末 (2016年4月5日)	219,700,448,182	220,340,231,463	0.6868	0.6888
第26特定期間末 (2016年10月5日)	193,860,194,132	194,163,324,003	0.6395	0.6405
第27特定期間末 (2017年4月5日)	179,812,872,688	180,087,026,541	0.6559	0.6569
第28特定期間末 (2017年10月5日)	177,330,505,756	177,584,575,967	0.6980	0.6990
第29特定期間末 (2018年4月5日)	159,053,641,822	159,293,529,906	0.6630	0.6640
第30特定期間末 (2018年10月5日)	151,015,290,087	151,243,549,792	0.6616	0.6626
第31特定期間末 (2019年4月5日)	140,265,432,787	140,478,460,158	0.6584	0.6594
第32特定期間末 (2019年10月7日)	127,727,706,077	127,931,560,615	0.6266	0.6276
第33特定期間末 (2020年4月6日)	115,460,124,181	115,653,080,245	0.5984	0.5994
第34特定期間末 (2020年10月5日)	119,074,253,627	119,259,327,445	0.6434	0.6444

第35特定期間末 (2021年4月5日)	109,570,193,041	109,733,529,241	0.6708	0.6718
第36特定期間末 (2021年10月5日)	100,188,390,200	100,341,617,429	0.6539	0.6549
第37特定期間末 (2022年4月5日)	96,791,497,020	96,937,382,453	0.6635	0.6645
第38特定期間末 (2022年10月5日)	92,590,995,803	92,731,373,760	0.6596	0.6606
第39特定期間末 (2023年4月5日)	87,267,572,380	87,403,626,610	0.6414	0.6424
第40特定期間末 (2023年10月5日)	85,623,778,434	85,752,212,514	0.6667	0.6677
第41特定期間末 (2024年4月5日)	86,835,290,530	86,956,512,828	0.7163	0.7173
第42特定期間末 (2024年10月7日)	82,708,004,988	82,821,504,830	0.7287	0.7297
2025年3月末日	77,746,634,504	-	0.7096	-
第43特定期間末 (2025年4月7日)	75,510,484,049	75,619,961,412	0.6897	0.6907
4月末日	76,538,858,016	-	0.7013	-
5月末日	76,488,006,004	-	0.7073	-
6月末日	77,891,756,634	-	0.7258	-
7月末日	78,257,434,579	-	0.7347	-
8月末日	77,915,023,792	-	0.7335	-
9月末日	78,464,391,405	-	0.7437	-
第44特定期間末 (2025年10月6日)	78,996,202,287	79,101,593,829	0.7495	0.7505
10月末日	79,823,485,252	-	0.7680	-
11月末日	80,027,865,191	-	0.7772	-
12月末日	80,641,041,426	-	0.7848	-
2026年1月末日	80,604,516,772	-	0.7896	-
2月末日	81,439,268,471	-	0.8022	-
3月末日	78,875,060,281	-	0.7853	-

## 【分配の推移】

	1口当たり分配金(円)
第25特定期間	0.0120
第26特定期間	0.0080
第27特定期間	0.0060

第28特定期間	0.0060
第29特定期間	0.0060
第30特定期間	0.0060
第31特定期間	0.0060
第32特定期間	0.0060
第33特定期間	0.0060
第34特定期間	0.0060
第35特定期間	0.0060
第36特定期間	0.0060
第37特定期間	0.0060
第38特定期間	0.0060
第39特定期間	0.0060
第40特定期間	0.0060
第41特定期間	0.0060
第42特定期間	0.0060
第43特定期間	0.0060
第44特定期間	0.0060

## 【収益率の推移】

	収益率(%)
第25特定期間	3.7
第26特定期間	5.7
第27特定期間	3.5
第28特定期間	7.3
第29特定期間	4.2
第30特定期間	0.7
第31特定期間	0.4
第32特定期間	3.9
第33特定期間	3.5
第34特定期間	8.5
第35特定期間	5.2
第36特定期間	1.6
第37特定期間	2.4
第38特定期間	0.3
第39特定期間	1.8
第40特定期間	4.9
第41特定期間	8.3
第42特定期間	2.6

第43特定期間	4.5
第44特定期間	9.5

## (4) 【設定及び解約の実績】

	設定数量(口)	解約数量(口)
第25特定期間	1,599,948,758	20,131,242,632
第26特定期間	1,877,031,055	18,638,800,624
第27特定期間	712,902,376	29,688,920,190
第28特定期間	652,560,742	20,736,203,106
第29特定期間	1,306,714,501	15,488,841,189
第30特定期間	573,447,644	12,201,826,205
第31特定期間	559,385,746	15,791,719,788
第32特定期間	2,116,123,414	11,288,956,586
第33特定期間	531,985,673	11,430,460,202
第34特定期間	487,973,777	8,370,219,906
第35特定期間	475,884,469	22,213,501,855
第36特定期間	408,843,193	10,517,814,715
第37特定期間	435,978,577	7,777,774,274
第38特定期間	391,337,656	5,898,813,110
第39特定期間	403,869,672	4,727,597,088
第40特定期間	337,882,217	7,958,032,661
第41特定期間	268,371,707	7,480,153,677
第42特定期間	227,345,963	7,949,801,491
第43特定期間	230,450,945	4,252,930,536
第44特定期間	611,544,282	4,697,364,474

## (参考) マザーファンド

## ダイワ高格付米ドル債マザーファンド

## (1) 投資状況 (2026年3月31日現在)

## 投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
国債証券	6,189,677,937	32.49
内 アメリカ	6,189,677,937	32.49
地方債証券	3,898,064,206	20.46
内 アメリカ	3,898,064,206	20.46
特殊債券	6,576,950,760	34.52
内 アメリカ	6,576,950,760	34.52

社債券		1,837,554,399	9.64
	内 アメリカ	1,837,554,399	9.64
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)		550,930,222	2.89
純資産総額		19,053,177,524	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

## (2) 投資資産 (2026年3月31日現在)

### 投資有価証券の主要銘柄

#### イ. 主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 または 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	利率(%) 償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
1	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	アメリカ	国債証券	12,600,000	101.73 2,049,459,511	99.81 2,010,821,631	4.250000 2034/11/15	10.55
2	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	アメリカ	国債証券	11,850,000	99.46 1,884,423,061	98.38 1,863,923,727	3.500000 2030/04/30	9.78
3	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	アメリカ	国債証券	9,100,000	100.19 1,457,710,176	99.25 1,444,039,837	3.750000 2030/06/30	7.58
4	PROVINCE OF QUEBEC CANADA	アメリカ	地方債証 券	5,700,000	100.06 911,908,355	98.08 893,846,072	4.250000 2034/09/05	4.69
5	City of New York NY	アメリカ	地方債証 券	4,023,332.14	105.28 677,239,689	103.27 664,342,517	5.985000 2036/12/01	3.49
6	CORP ANDINA DE FOMENTO	アメリカ	特殊債券	4,000,000	103.70 663,195,030	102.76 657,228,308	5.000000 2030/01/22	3.45
7	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	アメリカ	国債証券	4,000,000	99.57 636,795,644	98.50 629,959,176	3.500000 2030/01/31	3.31
8	FANNIE MAE	アメリカ	特殊債券	3,955,227.12	98.71 624,210,567	96.75 611,841,572	4.500000 2053/06/01	3.21
9	FANNIE MAE	アメリカ	特殊債券	3,346,233.8	96.47 516,142,605	94.17 503,832,350	4.000000 2054/12/01	2.64
10	STATE OF CALIFORNIA	アメリカ	地方債証 券	3,000,000	104.37 500,600,268	102.97 493,914,086	4.875000 2030/09/01	2.59
11	OPEC FUND FOR INTERNATIONAL DEVELO	アメリカ	特殊債券	3,000,000	101.93 488,916,237	101.23 485,582,739	4.750000 2028/02/03	2.55
12	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD/NEW YORK	アメリカ	社債券	3,000,000	101.54 487,055,234	101.10 484,916,040	5.087000 2027/06/11	2.55
13	CITY OF NEW YORK NY	アメリカ	地方債証 券	3,000,000	101.64 487,530,078	99.61 477,802,978	4.969000 2037/10/01	2.51

14	ANZ NEW ZEALAND INT'L LTD/LONDON	アメリカ	社債券	3,000,000	99.19 475,764,508	99.35 476,551,118	1.250000 2026/06/22	2.50
15	BANK OF NEW ZEALAND	アメリカ	社債券	3,000,000	98.60 472,934,632	98.42 472,066,484	2.285000 2027/01/27	2.48
16	CORP ANDINA DE FOMENTO	アメリカ	特殊債券	2,800,000	98.62 441,522,049	98.57 441,271,358	2.250000 2027/02/08	2.32
17	FREDDIE MAC	アメリカ	特殊債券	3,142,701.48	89.60 450,209,829	87.81 441,225,931	3.000000 2052/03/01	2.32
18	STATE OF CALIFORNIA	アメリカ	地方債証券	2,500,000	105.42 421,379,728	102.74 410,675,762	5.150000 2034/09/01	2.16
19	SVENSKA HANDELSBANKEN AB	アメリカ	社債券	2,500,000	101.57 405,979,287	101.08 404,020,757	5.125000 2027/05/28	2.12
20	FANNIE MAE	アメリカ	特殊債券	3,026,348.4	79.88 386,520,795	78.20 378,382,395	2.000000 2051/03/01	1.99
21	GINNIE MAE II POOL 787374	アメリカ	特殊債券	2,215,635.4	102.28 362,319,446	101.51 359,595,374	5.500000 2054/04/20	1.89
22	ONTARIO PROVINCE	アメリカ	地方債証券	2,100,000	103.48 347,435,387	102.43 343,923,463	4.700000 2030/01/15	1.81
23	FANNIE MAE	アメリカ	特殊債券	2,373,302.23	89.47 339,526,097	87.70 332,806,152	3.000000 2051/09/01	1.75
24	ONTARIO TEACHERS FINANCE TRUST	アメリカ	特殊債券	2,300,000	91.41 336,158,571	90.29 332,021,676	2.000000 2031/04/16	1.74
25	FANNIE MAE	アメリカ	特殊債券	1,959,030.77	93.40 292,547,386	91.47 286,511,831	3.500000 2052/08/01	1.50
26	CITY OF NEW YORK NY	アメリカ	地方債証券	1,700,000	107.04 290,930,438	104.79 284,820,464	5.440000 2035/02/01	1.49
27	GINNIE MAE II POOL 787028	アメリカ	特殊債券	1,542,758.54	101.90 251,350,102	101.09 249,347,253	5.500000 2053/09/20	1.31
28	FANNIE MAE	アメリカ	特殊債券	1,340,918.94	102.38 219,509,947	101.10 216,763,662	5.500000 2054/06/01	1.14
29	FANNIE MAE	アメリカ	特殊債券	1,413,935.46	96.71 218,633,930	94.43 213,470,719	4.000000 2052/07/01	1.12
30	FANNIE MAE	アメリカ	特殊債券	1,237,940.82	102.63 203,147,117	101.27 200,445,482	5.500000 2054/08/01	1.05

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

#### □ . 投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
国債証券	32.49%
地方債証券	20.46%

特殊債券	34.52%
社債券	9.64%
合計	97.11%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

#### 八．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

#### 投資不動産物件

該当事項はありません。

#### その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

#### ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

#### (1) 投資状況（2026年3月31日現在）

##### 投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
国債証券	2,013,812,545	14.16
内 オーストラリア	2,013,812,545	14.16
地方債証券	801,821,935	5.64
内 オーストラリア	801,821,935	5.64
特殊債券	9,482,773,340	66.70
内 オーストラリア	9,482,773,340	66.70
社債券	1,678,663,237	11.81
内 オーストラリア	1,678,663,237	11.81
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	240,354,309	1.69
純資産総額	14,217,425,366	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

#### (2) 投資資産（2026年3月31日現在）

##### 投資有価証券の主要銘柄

##### イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 または 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	利率(%) 償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
1	CPPIB CAPITAL INC	オーストラリア	特殊債券	10,000,000	101.34 1,111,562,928	98.37 1,078,998,936	4.600000 2030/01/16	7.59
2	TREASURY CORP VICTORIA	オーストラリア	特殊債券	8,500,000	85.94 801,248,046	82.43 768,487,726	1.500000 2031/09/10	5.41
3	TREASURY CORP VICTORIA	オーストラリア	特殊債券	8,000,000	87.32 766,198,156	85.17 747,333,196	1.500000 2030/11/20	5.26
4	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	オーストラリア	国債証券	8,000,000	87.53 768,051,748	85.01 745,973,164	1.500000 2031/06/21	5.25
5	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	オーストラリア	特殊債券	6,000,000	101.58 668,484,244	98.13 645,800,227	4.450000 2030/01/16	4.54
6	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	オーストラリア	国債証券	7,000,000	84.16 646,185,204	81.36 624,695,601	1.000000 2031/11/21	4.39
7	QUEENSLAND TREASURY CORP.	オーストラリア	特殊債券	6,000,000	97.15 639,369,688	93.93 618,174,028	3.500000 2030/08/21	4.35
8	NEW SOUTH WALES TREASURY CORP.	オーストラリア	特殊債券	5,000,000	107.92 591,855,216	103.75 568,975,968	6.000000 2030/05/01	4.00
9	LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK	オーストラリア	特殊債券	5,000,000	100.93 553,527,540	98.08 537,903,624	4.300000 2029/02/14	3.78
10	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	オーストラリア	特殊債券	5,000,000	101.31 555,584,040	97.87 536,746,500	4.450000 2030/01/21	3.78
11	QUEENSLAND TREASURY CORP.	オーストラリア	特殊債券	5,000,000	97.45 534,443,220	94.71 519,417,060	3.250000 2029/08/21	3.65
12	TREASURY CORP VICTORIA	オーストラリア	特殊債券	5,000,000	94.29 517,135,716	91.86 503,771,208	2.500000 2029/10/22	3.54
13	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	オーストラリア	地方債証券	4,616,000	101.51 513,973,316	96.64 489,271,775	5.000000 2034/03/08	3.44
14	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	オーストラリア	国債証券	5,000,000	86.83 476,214,108	84.31 462,388,944	1.000000 2030/12/21	3.25
15	QUEENSLAND TREASURY CORP.	オーストラリア	特殊債券	4,000,000	83.27 365,322,144	79.06 346,887,129	2.000000 2033/08/22	2.44
16	INTL. FIN. CORP.	オーストラリア	特殊債券	3,000,000	102.18 336,239,395	97.85 321,978,801	4.500000 2030/05/20	2.26
17	NEW SOUTH WALES TREASURY CORP.	オーストラリア	特殊債券	3,000,000	96.60 317,875,672	92.98 305,971,005	3.000000 2030/02/20	2.15
18	QUEENSLAND TREASURY CORP.	オーストラリア	特殊債券	3,000,000	86.45 284,481,403	83.20 273,790,893	1.250000 2031/03/10	1.93

19	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	オーストラ リア	社債券	2,400,000	103.04 271,242,149	98.58 259,502,002	5.000000 2029/11/14	1.83
20	CREDIT AGRICOLE SA	オーストラ リア	社債券	2,190,000	103.08 247,606,943	99.33 238,609,081	5.411000 2029/01/18	1.68
21	COOPERATIEVE RABOBANK UA	オーストラ リア	社債券	2,000,000	104.53 229,301,395	100.82 221,165,332	5.708000 2028/11/21	1.56
22	AIRSERVICES AUSTRALIA	オーストラ リア	特殊債券	2,000,000	103.93 227,987,428	100.53 220,542,350	5.400000 2028/11/15	1.55
23	TORONTO-DOMINION BANK/THE	オーストラ リア	社債券	2,000,000	102.38 224,591,736	99.16 217,530,537	4.950000 2028/09/15	1.53
24	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	オーストラ リア	特殊債券	2,000,000	99.76 218,844,504	97.49 213,856,257	4.600000 2031/07/21	1.50
25	AUSTRALIAN CAPITAL TERRITORY	オーストラ リア	地方債証 券	2,000,000	98.31 215,655,009	96.14 210,897,091	3.000000 2028/04/18	1.48
26	SWEDISH EXPORT CREDIT	オーストラ リア	特殊債券	2,000,000	99.05 217,280,467	95.11 208,648,651	4.200000 2031/04/01	1.47
27	BNP PARIBAS SA	オーストラ リア	社債券	1,860,000	102.46 209,041,678	98.87 201,711,786	5.288000 2029/02/15	1.42
28	ASIAN DEVELOPMENT BANK	オーストラ リア	特殊債券	2,000,000	87.90 192,821,827	85.21 186,918,849	2.350000 2032/01/13	1.31
29	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	オーストラ リア	国債証券	2,000,000	86.64 190,071,052	82.40 180,754,833	1.750000 2032/11/21	1.27
30	BNG BANK NV	オーストラ リア	特殊債券	2,000,000	82.71 181,445,817	80.68 176,979,648	1.550000 2032/02/19	1.24

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

#### □．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
国債証券	14.16%
地方債証券	5.64%
特殊債券	66.70%
社債券	11.81%
合計	98.31%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

#### 八．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

### ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

#### (1) 投資状況（2026年3月31日現在）

##### 投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
国債証券	15,593,367,954	25.51
内 カナダ	15,593,367,954	25.51
地方債証券	24,742,790,188	40.49
内 カナダ	24,742,790,188	40.49
特殊債券	1,938,069,698	3.17
内 カナダ	1,938,069,698	3.17
社債券	17,658,108,468	28.89
内 カナダ	17,658,108,468	28.89
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	1,182,720,800	1.94
純資産総額	61,115,057,108	100.00

##### その他の資産の投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
為替予約取引(売建)	140,098,700	0.23
内 日本	140,098,700	0.23

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(注3) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

#### (2) 投資資産（2026年3月31日現在）

##### 投資有価証券の主要銘柄

##### イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 または 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	利率(%) 償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
1	NEW YORK LIFE GLOBAL FUNDING	カナダ	社債券	50,000,000	97.99 5,626,872,900	97.06 5,573,242,620	2.000000 2028/04/17	9.12

2	ONTARIO PROVINCE	カナダ	地方債証券	45,000,000	103.21 5,334,151,482	101.30 5,235,136,434	3.750000 2032/06/02	8.57
3	TORONTO-DOMINION BANK/THE	カナダ	社債券	40,000,000	102.35 4,701,825,216	101.46 4,660,850,304	4.516000 2027/01/29	7.63
4	CANADIAN GOVERNMENT BOND	カナダ	国債証券	41,000,000	94.45 4,447,498,255	93.03 4,380,685,491	2.000000 2032/06/01	7.17
5	ONTARIO PROVINCE	カナダ	地方債証券	37,000,000	100.73 4,280,353,228	99.80 4,240,666,821	2.900000 2028/06/02	6.94
6	Province of Quebec Canada	カナダ	地方債証券	35,000,000	95.42 3,835,673,226	94.35 3,792,384,288	1.900000 2030/09/01	6.21
7	PROVINCE OF ALBERTA CANADA	カナダ	地方債証券	28,000,000	92.96 2,989,211,702	91.81 2,952,265,377	1.650000 2031/06/01	4.83
8	METROPOLITAN LIFE GLOBAL FUNDING I	カナダ	社債券	25,000,000	100.50 2,885,383,710	98.51 2,828,394,360	3.394000 2030/04/09	4.63
9	ONTARIO PROVINCE	カナダ	地方債証券	20,000,000	101.88 2,340,140,616	99.95 2,295,812,376	3.650000 2033/06/02	3.76
10	CANADIAN GOVERNMENT BOND	カナダ	国債証券	20,000,000	99.29 2,280,676,464	97.19 2,232,374,760	3.000000 2034/06/01	3.65
11	CANADIAN GOVERNMENT BOND	カナダ	国債証券	20,000,000	98.19 2,255,273,856	96.33 2,212,714,152	2.750000 2033/06/01	3.62
12	CANADA HOUSING TRUST	カナダ	特殊債券	18,000,000	94.91 1,961,944,934	93.75 1,938,069,698	1.900000 2031/03/15	3.17
13	PROVINCE OF QUEBEC CANADA	カナダ	地方債証券	16,000,000	101.15 1,858,644,057	99.12 1,821,344,025	3.600000 2033/09/01	2.98
14	BANK OF MONTREAL	カナダ	社債券	15,000,000	100.17 1,725,545,646	99.98 1,722,410,514	2.700000 2026/12/09	2.82
15	BANK OF MONTREAL	カナダ	社債券	15,000,000	100.71 1,734,968,268	99.78 1,718,861,958	3.190000 2028/03/01	2.81
16	CANADIAN GOVERNMENT BOND	カナダ	国債証券	15,000,000	101.37 1,746,234,072	99.23 1,709,473,788	3.250000 2033/12/01	2.80
17	CANADIAN GOVERNMENT BOND	カナダ	国債証券	12,000,000	100.30 1,382,324,486	97.92 1,349,443,497	3.250000 2035/12/01	2.21
18	CANADIAN GOVERNMENT BOND	カナダ	国債証券	10,000,000	102.29 1,174,732,812	101.12 1,161,285,048	3.500000 2028/03/01	1.90
19	METROPOLITAN LIFE GLOBAL FUNDING I	カナダ	社債券	10,000,000	101.51 1,165,832,712	100.51 1,154,348,712	5.180000 2026/06/15	1.89
20	PROVINCE OF QUEBEC CANADA	カナダ	地方債証券	10,000,000	101.10 1,161,133,459	99.92 1,147,504,248	4.000000 2035/09/01	1.88
21	CANADIAN GOVERNMENT BOND	カナダ	国債証券	10,000,000	98.87 1,135,503,468	97.72 1,122,308,352	2.250000 2029/06/01	1.84

22	Province of Alberta Canada	カナダ	地方債証券	10,000,000	96.43 1,107,482,508	95.29 1,094,402,232	2.050000 2030/06/01	1.79
23	ONTARIO PROVINCE	カナダ	地方債証券	10,000,000	95.16 1,092,817,440	93.92 1,078,646,184	2.250000 2031/12/02	1.76
24	CANADIAN GOVERNMENT BOND	カナダ	国債証券	8,000,000	98.82 907,897,478	98.10 901,337,817	2.000000 2028/06/01	1.47
25	PROVINCE OF ALBERTA CANADA	カナダ	地方債証券	5,000,000	100.03 574,372,260	100.17 575,216,334	3.950000 2035/06/01	0.94
26	CANADIAN GOVERNMENT BOND	カナダ	国債証券	5,000,000	92.35 530,273,700	91.21 523,745,046	1.500000 2031/12/01	0.86
27	BRITISH COLUMBIA	カナダ	地方債証券	4,000,000	112.05 514,735,848	110.89 509,411,865	5.400000 2035/06/18	0.83

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

#### ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
国債証券	25.51%
地方債証券	40.49%
特殊債券	3.17%
社債券	28.89%
合計	98.06%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

#### ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

#### 投資不動産物件

該当事項はありません。

#### その他投資資産の主要なもの

(単位：円)

種類	地域	資産名	買建/ 売建	数量	簿価	時価	投資 比率
為替予約取引	日本	カナダ・ドル売/円買 2026年4月	売建	1,220,000	140,504,716	140,098,700	0.23%

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

(注3) 為替予約取引の数量については、現地通貨建契約金額です。

## ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド

## (1) 投資状況（2026年3月31日現在）

## 投資状況

投資資産の種類		時価(円)	投資比率(%)
国債証券		21,308,978,927	68.44
	内 ユーロ	9,413,264,777	30.23
	内 ノルウェー	1,562,700,912	5.02
	内 スウェーデン	1,571,482,360	5.05
	内 デンマーク	4,424,104,329	14.21
	内 ポーランド	3,019,498,731	9.70
特殊債券	内 チェコ	1,317,927,818	4.23
		5,759,059,624	18.50
	内 ノルウェー	2,705,027,736	8.69
社債券	内 スウェーデン	3,054,031,888	9.81
		3,129,500,253	10.05
	内 ユーロ	3,129,500,253	10.05
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)		939,638,945	3.02
純資産総額		31,137,177,749	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

## (2) 投資資産（2026年3月31日現在）

## 投資有価証券の主要銘柄

## イ. 主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 または 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	利率(%) 償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
1	SPANISH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債証券	17,000,000	93.64 2,919,729,467	92.76 2,892,509,589	1.250000 2030/10/31	9.29
2	FRENCH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債証券	16,000,000	87.21 2,559,405,849	86.66 2,543,177,732	- 2030/11/25	8.17
3	DANISH GOVERNMENT BOND	デンマーク	国債証券	95,000,000	93.93 2,189,929,968	93.32 2,175,639,099	0.500000 2029/11/15	6.99
4	POLAND GOVERNMENT BOND	ポーランド	国債証券	49,000,000	102.45 2,147,952,413	99.53 2,086,839,315	5.000000 2030/01/25	6.70
5	ALPHABET INC	ユーロ	社債券	9,000,000	98.10 1,619,326,890	96.28 1,589,284,332	3.000000 2033/05/06	5.10

6	SWEDISH GOVERNMENT BOND	スウェーデン	国債証券	100,000,000	94.46 1,580,466,370	93.93 1,571,482,360	0.750000 2029/11/12	5.05
7	KOMMUNALBANKEN	ノルウェー	特殊債券	100,000,000	96.07 1,579,456,560	95.33 1,567,274,520	2.000000 2027/11/29	5.03
8	Belgium Government Bond	ユーロ	国債証券	9,500,000	89.33 1,556,516,301	88.79 1,547,159,640	0.100000 2030/06/22	4.97
9	SPANISH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債証券	7,000,000	100.79 1,294,053,840	99.37 1,275,858,651	3.150000 2033/04/30	4.10
10	NORWEGIAN GOVERNMENT BOND	ノルウェー	国債証券	80,000,000	96.65 1,271,246,016	94.99 1,249,426,848	3.625000 2034/04/13	4.01
11	DANISH GOVERNMENT BOND	デンマーク	国債証券	50,000,000	97.48 1,196,116,410	96.59 1,185,159,300	2.250000 2033/11/15	3.81
12	DANISH GOVERNMENT BOND	デンマーク	国債証券	50,000,000	87.22 1,070,287,560	86.65 1,063,305,930	- 2031/11/15	3.41
13	EUROPEAN INVESTMENT BANK	スウェーデン	特殊債券	72,000,000	82.07 988,690,802	80.91 974,657,678	2.125000 2040/03/21	3.13
14	DNB BANK ASA	ユーロ	社債券	4,600,000	100.12 844,774,354	98.47 830,845,099	3.000000 2031/01/15	2.67
15	EUROPEAN INVESTMENT BANK	スウェーデン	特殊債券	50,000,000	99.35 831,062,750	98.13 820,924,370	2.590000 2030/06/03	2.64
16	CZECH REPUBLIC GOVERNMENT BOND	チェコ	国債証券	105,000,000	102.98 808,055,863	100.43 788,039,059	4.900000 2034/04/14	2.53
17	EUROPEAN INVESTMENT BANK	スウェーデン	特殊債券	45,000,000	100.84 759,173,940	99.55 749,499,817	2.933000 2030/04/04	2.41
18	WESTPAC BANKING CORP	ユーロ	社債券	3,800,000	103.37 720,452,454	101.78 709,370,821	3.799000 2030/01/17	2.28
19	POLAND GOVERNMENT BOND	ポーランド	国債証券	15,000,000	106.95 686,391,196	101.82 653,473,941	6.000000 2033/10/25	2.10
20	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	ノルウェー	特殊債券	40,000,000	100.70 662,249,232	98.74 649,327,392	4.250000 2029/01/30	2.09
21	SPANISH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債証券	3,000,000	107.57 591,926,429	105.85 582,418,455	5.150000 2028/10/31	1.87
22	SPANISH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債証券	3,000,000	98.85 543,951,875	97.49 536,419,227	3.200000 2035/10/31	1.72
23	CZECH REPUBLIC GOVERNMENT BOND	チェコ	国債証券	110,000,000	65.89 541,693,109	64.46 529,888,758	1.500000 2040/04/24	1.70
24	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	ノルウェー	特殊債券	30,000,000	100.40 495,197,460	99.03 488,425,824	4.250000 2028/09/29	1.57
25	EUROPEAN INVESTMENT BANK	スウェーデン	特殊債券	20,000,000	103.66 346,849,706	102.58 343,256,102	3.750000 2032/06/01	1.10

26	NORWEGIAN GOVERNMENT BOND	ノルウェー	国債証券	20,000,000	96.84 318,419,784	95.27 313,274,064	3.750000 2035/06/12	1.01
27	POLAND GOVERNMENT BOND	ポーランド	国債証券	7,000,000	98.91 296,262,998	93.21 279,185,474	5.000000 2035/10/25	0.90
28	EUROPEAN INVESTMENT BANK	スウェーデン	特殊債券	10,000,000	99.25 166,058,634	99.04 165,693,920	1.500000 2027/03/02	0.53
29	BELGIUM GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債証券	100,000	100.26 18,389,970	97.87 17,951,253	3.400000 2036/06/22	0.06
30	SPANISH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債証券	100,000	97.15 17,818,831	96.88 17,770,228	4.000000 2054/10/31	0.06

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

#### □ . 投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
国債証券	68.44%
特殊債券	18.50%
社債券	10.05%
合計	96.98%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

#### 八 . 投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

#### 投資不動産物件

該当事項はありません。

#### その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

#### ダイワ・オセアニア債券マザーファンド

#### (1) 投資状況（2026年3月31日現在）

##### 投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
国債証券	2,872,710,220	16.54
内 ニュージーランド	2,872,710,220	16.54
地方債証券	7,210,926,203	41.51

	内 オーストラリア	591,223,284	3.40
	内 ニュージーランド	6,619,702,919	38.11
特殊債券		3,793,902,921	21.84
	内 オーストラリア	3,793,902,921	21.84
社債券		3,020,574,806	17.39
	内 オーストラリア	2,372,002,767	13.66
	内 ニュージーランド	648,572,039	3.73
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)		472,722,438	2.72
純資産総額		17,370,836,588	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

## (2) 投資資産（2026年3月31日現在）

### 投資有価証券の主要銘柄

#### イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 または 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	利率(%) 償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
1	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	ニュージー ランド	地方債証 券	25,000,000	93.67 2,143,375,520	92.42 2,114,684,000	1.500000 2029/04/20	12.17
2	NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND	ニュージー ランド	国債証券	17,000,000	95.81 1,490,790,329	93.92 1,461,322,720	3.500000 2033/04/14	8.41
3	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	ニュージー ランド	地方債証 券	14,000,000	102.68 1,315,682,368	100.30 1,285,136,652	4.500000 2030/05/15	7.40
4	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	ニュージー ランド	地方債証 券	14,500,000	91.31 1,211,839,657	89.31 1,185,232,505	2.250000 2031/05/15	6.82
5	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	ニュージー ランド	地方債証 券	14,000,000	86.96 1,114,226,713	84.13 1,078,043,366	3.000000 2035/05/15	6.21
6	TREASURY CORP VICTORIA	オーストラ リア	特殊債券	9,000,000	84.11 830,335,730	82.43 813,692,887	1.500000 2031/09/10	4.68
7	NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND	ニュージー ランド	国債証券	9,000,000	100.80 830,294,150	98.52 811,563,667	4.500000 2035/05/15	4.67
8	TREASURY CORP VICTORIA	オーストラ リア	特殊債券	10,000,000	74.91 821,689,656	72.72 797,592,960	2.000000 2035/09/17	4.59
9	NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND	ニュージー ランド	国債証券	8,001,000	83.88 614,241,865	81.91 599,823,832	2.750000 2037/04/15	3.45
10	TREASURY CORP VICTORIA	オーストラ リア	特殊債券	6,667,000	82.22 601,230,011	80.17 586,254,287	2.250000 2033/09/15	3.37

11	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	ニュージー ランド	地方債証 券	7,000,000	94.16 603,239,436	91.40 585,602,617	3.500000 2033/04/14	3.37
12	NEW SOUTH WALES TREASURY CORP.	オーストラ リア	特殊債券	6,000,000	82.58 543,442,464	80.62 530,577,000	2.000000 2033/03/08	3.05
13	CREDIT AGRICOLE SA	オーストラ リア	社債券	4,310,000	101.26 478,700,718	99.33 469,591,388	5.411000 2029/01/18	2.70
14	AUSTRALIAN CAPITAL TERRITORY	オーストラ リア	地方債証 券	5,000,000	86.17 472,594,668	84.01 460,743,744	2.500000 2032/10/22	2.65
15	TORONTO-DOMINION BANK/THE	オーストラ リア	社債券	4,000,000	100.68 441,729,619	99.16 435,061,075	4.950000 2028/09/15	2.50
16	BNP PARIBAS SA	オーストラ リア	社債券	3,640,000	100.59 401,610,649	98.87 394,747,796	5.288000 2029/02/15	2.27
17	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	ニュージー ランド	地方債証 券	4,000,000	101.93 373,159,987	101.34 371,003,776	4.500000 2027/04/15	2.14
18	ANZ BANK NEW ZEALAND LTD	ニュージー ランド	社債券	4,000,000	102.22 374,217,958	100.36 367,419,852	4.630000 2030/02/20	2.12
19	AIRSERVICES AUSTRALIA	オーストラ リア	特殊債券	3,000,000	101.93 335,416,795	100.53 330,813,525	5.400000 2028/11/15	1.90
20	ASB BANK LTD	ニュージー ランド	社債券	3,000,000	103.30 283,636,953	102.40 281,152,185	5.524000 2027/06/21	1.62
21	Macquarie University	オーストラ リア	社債券	2,500,000	96.64 265,006,074	95.31 261,359,214	3.500000 2028/09/07	1.50
22	QUEENSLAND TREASURY CORP.	オーストラ リア	特殊債券	3,000,000	79.65 262,090,231	76.38 251,347,075	4.200000 2047/02/20	1.45
23	SVENSKA HANDELSBANKEN AB	オーストラ リア	社債券	2,100,000	100.64 231,802,099	99.34 228,807,835	5.000000 2028/03/02	1.32
24	COOPERATIEVE RABOBANK UA	オーストラ リア	社債券	2,000,000	102.54 224,949,292	100.82 221,165,332	5.708000 2028/11/21	1.27
25	SWEDISH EXPORT CREDIT	オーストラ リア	特殊債券	2,000,000	102.40 224,635,608	100.48 220,415,121	5.400000 2030/11/01	1.27
26	UNIVERSITY OF TASMANIA	オーストラ リア	社債券	1,870,000	93.02 190,787,559	90.84 186,318,395	3.970000 2032/03/24	1.07
27	MONASH UNIVERSITY	オーストラ リア	社債券	1,660,000	97.80 178,070,569	96.09 174,951,730	4.050000 2029/04/06	1.01
28	QUEENSLAND TREASURY CORP.	オーストラ リア	特殊債券	2,000,000	81.17 178,063,286	79.41 174,209,131	1.500000 2032/08/20	1.00
29	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	オーストラ リア	地方債証 券	1,231,000	98.74 133,314,877	96.64 130,479,539	5.000000 2034/03/08	0.75
30	QUEENSLAND TREASURY CORP.	オーストラ リア	特殊債券	1,000,000	82.83 90,854,524	81.14 89,000,932	1.500000 2032/03/02	0.51

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
国債証券	16.54%
地方債証券	41.51%
特殊債券	21.84%
社債券	17.39%
合計	97.28%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

(参考情報) 運用実績

## ●ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)

2026年3月31日現在

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

## 基準価額・純資産の推移

基準価額	7,853円
純資産総額	788億円

## 基準価額の騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-2.0%
3カ月間	0.4%
6カ月間	6.4%
1年間	12.5%
3年間	28.0%
5年間	27.9%
設定来	119.8%



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。  
※基準価額の計算において運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

## 分配の推移(10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 120円 設定来分配金合計額: 8,540円

決算期	第257期	第258期	第259期	第260期	第261期	第262期	第263期	第264期	第265期	第266期	第267期	第268期
	25年4月	25年5月	25年6月	25年7月	25年8月	25年9月	25年10月	25年11月	25年12月	26年1月	26年2月	26年3月
分配金	10円	10円	10円	10円	10円	10円	10円	10円	10円	10円	10円	10円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

## 主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

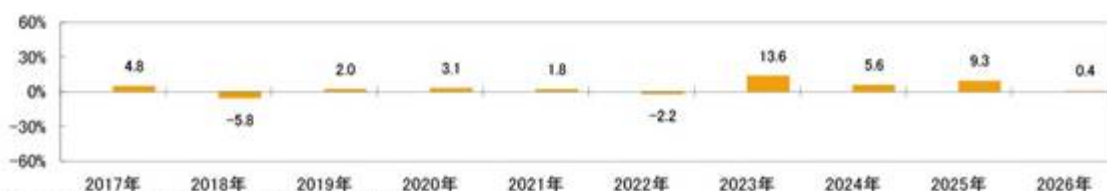
資産別構成	銘柄数	比率	通貨別構成	比率	債券ポートフォリオ特性値	組入上位10銘柄	償還日	比率
外国債券	162	96.9%	北米通貨圏	33.5%	直接利回り(%)	SPANISH GOVERNMENT BOND	2030/10/31	3.1%
			米ドル	20.2%	最終利回り(%)	FRENCH GOVERNMENT BOND	2030/11/25	2.7%
コール・ローン、その他		3.1%	カナダ・ドル	13.3%	修正デュレーション	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	2029/04/20	2.7%
合計	162	100.0%	欧州通貨圏	32.7%	残存年数	DANISH GOVERNMENT BOND	2029/11/15	2.3%
債券種別構成		比率	北欧・東欧通貨	19.1%	格付別構成	POLAND GOVERNMENT BOND	2030/01/25	2.2%
国債		37.8%	ユーロ	13.6%	AAA	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	2034/11/15	2.1%
州債等		24.2%			AA	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	2030/04/30	2.0%
事業債		14.3%	オセアニア通貨圏	32.7%	A	NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND	2033/04/14	1.8%
政府機関債		6.8%	豪ドル	19.7%	BBB	ALPHABET INC	2033/05/06	1.7%
その他		13.7%	ニュージーランド・ドル	13.0%	BB	SWEDISH GOVERNMENT BOND	2029/11/12	1.7%
合計		96.9%	合計(除く日本円)	98.9%	合計			22.3%

※格付別構成の比率は、債券ポートフォリオに対するものです。

※格付別構成については、当社所定の基準で採用した格付けを基準に算出しています。

## 年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

・2026年は3月31日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

## 【ダイワ・グローバル債券ファンド(年2回決算型)】

## (1) 【投資状況】(2026年3月31日現在)

## 投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
---------	-------	---------

親投資信託受益証券		496,993,211	99.33
	内 日本	496,993,211	99.33
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)		3,338,406	0.67
純資産総額		500,331,617	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

## (2) 【投資資産】（2026年3月31日現在）

### 【投資有価証券の主要銘柄】

#### イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 または 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	72,053,448	2.1566 155,393,072	2.2525 162,300,391	32.44
2	ダイワ・オセアニア債券マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	28,958,203	3.5958 104,128,725	3.7895 109,737,110	21.93
3	ダイワ高格付米ドル債マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	39,420,155	2.4141 95,165,578	2.5944 102,271,650	20.44
4	ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	23,879,524	2.6080 62,279,746	2.7889 66,597,604	13.31
5	ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	13,168,617	3.9762 52,362,152	4.2591 56,086,456	11.21

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

#### ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
親投資信託受益証券	99.33%
合計	99.33%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

#### ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

## 【投資不動産物件】

該当事項はありません。

## 【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

## (3) 【運用実績】

## 【純資産の推移】

	純資産総額 (分配落) (円)	純資産総額 (分配付) (円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第15計算期間末 (2016年4月5日)	862,541,774	863,114,758	1.5053	1.5063
第16計算期間末 (2016年10月5日)	796,239,156	796,800,960	1.4173	1.4183
第17計算期間末 (2017年4月5日)	725,875,924	726,371,185	1.4656	1.4666
第18計算期間末 (2017年10月5日)	767,729,942	768,218,194	1.5724	1.5734
第19計算期間末 (2018年4月5日)	765,141,893	765,649,916	1.5061	1.5071
第20計算期間末 (2018年10月5日)	639,465,388	639,887,359	1.5154	1.5164
第21計算期間末 (2019年4月5日)	636,231,889	636,650,195	1.5210	1.5220
第22計算期間末 (2019年10月7日)	567,043,949	567,432,372	1.4599	1.4609
第23計算期間末 (2020年4月6日)	487,517,556	487,864,039	1.4070	1.4080
第24計算期間末 (2020年10月5日)	460,687,228	460,989,076	1.5262	1.5272
第25計算期間末 (2021年4月5日)	483,919,749	484,221,390	1.6043	1.6053
第26計算期間末 (2021年10月5日)	444,751,852	445,033,896	1.5769	1.5779
第27計算期間末 (2022年4月5日)	424,328,442	424,591,385	1.6138	1.6148
第28計算期間末 (2022年10月5日)	394,813,321	395,057,396	1.6176	1.6186

第29計算期間末 (2023年4月5日)	380,402,626	380,642,070	1.5887	1.5897
第30計算期間末 (2023年10月5日)	489,593,459	489,887,193	1.6668	1.6678
第31計算期間末 (2024年4月5日)	851,784,477	852,255,702	1.8076	1.8086
第32計算期間末 (2024年10月7日)	498,453,712	498,722,568	1.8540	1.8550
2025年3月末日	439,614,755	-	1.8084	-
第33計算期間末 (2025年4月7日)	427,829,727	428,072,848	1.7597	1.7607
4月末日	439,754,281	-	1.7890	-
5月末日	441,847,152	-	1.8067	-
6月末日	1,125,339,619	-	1.8479	-
7月末日	1,140,238,221	-	1.8733	-
8月末日	1,138,513,642	-	1.8726	-
9月末日	1,166,278,540	-	1.9013	-
第34計算期間末 (2025年10月6日)	1,176,160,114	1,176,773,418	1.9177	1.9187
10月末日	498,434,307	-	1.9651	-
11月末日	493,219,642	-	1.9912	-
12月末日	494,745,330	-	2.0131	-
2026年1月末日	498,632,007	-	2.0281	-
2月末日	510,429,318	-	2.0632	-
3月末日	500,331,617	-	2.0222	-

## 【分配の推移】

	1口当たり分配金(円)
第15計算期間	0.0010
第16計算期間	0.0010
第17計算期間	0.0010
第18計算期間	0.0010
第19計算期間	0.0010
第20計算期間	0.0010
第21計算期間	0.0010
第22計算期間	0.0010
第23計算期間	0.0010
第24計算期間	0.0010
第25計算期間	0.0010

第26計算期間	0.0010
第27計算期間	0.0010
第28計算期間	0.0010
第29計算期間	0.0010
第30計算期間	0.0010
第31計算期間	0.0010
第32計算期間	0.0010
第33計算期間	0.0010
第34計算期間	0.0010

## 【収益率の推移】

	収益率(%)
第15計算期間	3.7
第16計算期間	5.8
第17計算期間	3.5
第18計算期間	7.4
第19計算期間	4.2
第20計算期間	0.7
第21計算期間	0.4
第22計算期間	4.0
第23計算期間	3.6
第24計算期間	8.5
第25計算期間	5.2
第26計算期間	1.6
第27計算期間	2.4
第28計算期間	0.3
第29計算期間	1.7
第30計算期間	5.0
第31計算期間	8.5
第32計算期間	2.6
第33計算期間	5.0
第34計算期間	9.0

## (4) 【設定及び解約の実績】

	設定数量(口)	解約数量(口)
第15計算期間	42,120,648	68,512,790
第16計算期間	53,800,829	64,980,806
第17計算期間	45,682,130	112,224,711

第18計算期間	41,668,773	48,677,770
第19計算期間	40,499,316	20,729,287
第20計算期間	17,174,245	103,226,181
第21計算期間	9,763,548	13,428,489
第22計算期間	4,532,568	34,415,153
第23計算期間	18,476,867	60,417,277
第24計算期間	3,332,300	47,967,235
第25計算期間	37,981,472	38,188,485
第26計算期間	3,730,870	23,327,760
第27計算期間	3,634,077	22,735,028
第28計算期間	1,270,487	20,138,562
第29計算期間	13,459,921	18,090,962
第30計算期間	71,768,082	17,477,645
第31計算期間	406,366,004	228,875,515
第32計算期間	516,443,646	718,812,631
第33計算期間	332,073,097	357,807,301
第34計算期間	412,942,076	42,759,442

（参考）マザーファンド

ダイワ高格付米ドル債マザーファンド

前記「ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型）」の記載と同じ。

—

ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

前記「ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型）」の記載と同じ。

—

ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

前記「ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型）」の記載と同じ。

—

ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド

前記「ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型）」の記載と同じ。

—

## ダイワ・オセアニア債券マザーファンド

前記「ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型）」の記載と同じ。

（参考情報）運用実績

## ●ダイワ・グローバル債券ファンド(年2回決算型)

2026年3月31日現在

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

## 基準価額・純資産の推移

基準価額	20,222円
純資産総額	5.0億円



## 基準価額の騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-2.0%
3カ月間	0.5%
6カ月間	6.4%
1年間	11.9%
3年間	27.1%
5年間	27.1%
設定来	107.0%

※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。  
※基準価額の計算において運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

## 分配の推移 (10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 20円 設定来分配金合計額: 340円

決算期	第23期	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
	20年4月	20年10月	21年4月	21年10月	22年4月	22年10月	23年4月	23年10月	24年4月	24年10月	25年4月	25年10月
分配金	10円	10円	10円	10円	10円	10円	10円	10円	10円	10円	10円	10円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

## 主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

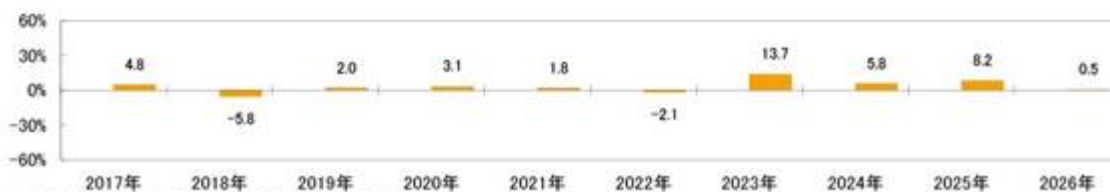
資産別構成	銘柄数	比率	通貨別構成	比率	債券ポートフォリオ特性値	組入上位10銘柄	償還日	比率
外国債券	162	96.7%	北米通貨圏	33.7%	直接利回り(%)	SPANISH GOVERNMENT BOND	2030/10/31	3.0%
			米ドル	20.4%	最終利回り(%)	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	2029/04/20	2.7%
コール・ローン、その他		3.3%	カナダ・ドル	13.3%	修正デュレーション	FRENCH GOVERNMENT BOND	2030/11/25	2.6%
合計	162	100.0%	欧州通貨圏	32.0%	残存年数	DANISH GOVERNMENT BOND	2029/11/15	2.3%
債券種別構成			北欧・東欧通貨	18.7%	格付別構成	POLAND GOVERNMENT BOND	2030/01/25	2.2%
国債		37.5%	ユーロ	13.4%	AAA	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	2034/11/15	2.2%
州債等		24.4%			AA	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	2030/04/30	2.0%
事業債		14.3%	オセアニア通貨圏	33.0%	A	NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND	2033/04/14	1.8%
政府機関債		6.8%	豪ドル	20.0%	BBB	ALPHABET INC	2033/05/06	1.7%
その他		13.8%	ニュージーランド・ドル	13.0%	BB	SWEDISH GOVERNMENT BOND	2029/11/12	1.6%
合計		96.7%	合計(除く日本円)	98.7%	合計			22.1%

※格付別構成の比率は、債券ポートフォリオに対するものです。

※格付別構成については、当社所定の基準で採用した格付けを基準に算出しています。

## 年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

・2026年は3月31日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

## 〈参考情報〉ファンドの総経費率

	総経費率(①+②)	運用管理費用の比率①	その他費用の比率②
ダイワ・グローバル債券 ファンド(毎月分配型)	1.41%	1.38%	0.03%
ダイワ・グローバル債券 ファンド(年2回決算型)	1.43%	1.39%	0.04%

※対象期間は2025年10月7日～2026年4月6日です。

※対象期間中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません)を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当り)を乗じた数で除した値(年率)です。

※詳細につきましては、対象期間の運用報告書(全体版)をご覧下さい。

## 第2【管理及び運営】

### 1【申込（販売）手続等】

受益権の取得申込者は、販売会社において取引口座を開設のうえ、取得の申込みを行なうものとします。

当ファンドには、収益分配金を税金を差引いた後無手数料で自動的に再投資する「分配金再投資コース」と、収益の分配が行なわれるごとに収益分配金を受益者に支払う「分配金支払いコース」があります。

「分配金再投資コース」を利用する場合、取得申込者は、販売会社と別に定める積立投資約款にしたがい契約（以下「別に定める契約」といいます。）を締結します。

販売会社は、受益権の取得申込者に対し、最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位をもって、取得の申込みに応じることができます。

ただし、販売会社は、シカゴ商品取引所における米国債先物取引、モンリオール取引所におけるカナダ国債先物取引、ロンドン証券取引所、シドニー先物取引所またはニュージーランド先物オプション取引所のいずれかの休業日と同じ日付の日を取得申込受付日とする受益権の取得申込みの受け付けは行ないません。

お買付価額（1万口当たり）は、お買付申込受付日の翌営業日の基準価額です。

お買付時の申込手数料については、販売会社が別に定めるものとします。申込手数料には、消費税等が課されます。なお、「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。

原則として、委託会社の各営業日の午後3時30分までに受付けた取得の申込み（当該申込みにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを）、当日の受付分として取扱います。この時刻を過ぎて行なわれる申込みは、翌営業日の取扱いとなります。なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

委託会社は、金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、受益権の取得申込みの受け付けを中止することができます。

取得申込者は販売会社に、取得申込みと同時にまたはあらかじめ、自己のために開設された当ファンドの受益権の振替を行なうための振替機関等の口座を示すものとし、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録が行なわれます。なお、販売会社は、当該取得申込みの代金の支払いと引換えに、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録を行なうことができます。委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行なうものとします。振替機関等は、委託会社から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行ないません。受託会社は、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権にかかる信託を設定した旨の通知を行ないません。

### 2【換金（解約）手続等】

原則として、委託会社の各営業日の午後3時30分までに受付けた換金の申込み（当該申込みにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを）、当日の受付分として取扱います。この時刻を過ぎて行なわ

れる申込みは、翌営業日の取扱いとなります。なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

なお、信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の解約請求には制限があります。

#### <一部解約>

受益者は、自己に帰属する受益権について、最低単位を1口単位として販売会社が定める単位をもって、委託会社に一部解約の実行を請求することができます。

ただし、販売会社は、シカゴ商品取引所における米国債先物取引、モントリオール取引所におけるカナダ国債先物取引、ロンドン証券取引所、シドニー先物取引所またはニュージーランド先物オプション取引所のいずれかの休業日と同じ日付の日を一部解約請求受付日とする一部解約の実行の請求の受付は行ないません。

受益者が一部解約の実行の請求をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行なうものとします。

解約価額は、一部解約の実行の請求受付日の翌営業日の基準価額とします。

解約価額は、原則として、委託会社の各営業日に計算されます。

解約価額(基準価額)は、販売会社または下記にお問合わせ下さい。

大和アセットマネジメント株式会社

電話番号(コールセンター) 0120-106212(営業日の9:00~17:00)

ホームページ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

「毎月分配型」または「年2回決算型」の受益者が当該ファンドの一部解約金の手取金をもって他のファンドの受益権の取得申込みをする場合において、当該他のファンドの受益権の取得申込みの受付が中止された場合、委託会社は、当該一部解約請求の申込みの受付を中止することができます(なお、他のファンドとは、受益者が「毎月分配型」の受益者である場合、「年2回決算型」を、また「年2回決算型」の受益者である場合、「毎月分配型」をいいます。)

委託会社は、金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、一部解約の実行の請求の受付を中止することができます。一部解約の実行の請求の受付が中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行なった当日の一部解約の実行の請求を撤回することができます。ただし、受益者がその一部解約の実行の請求を撤回しない場合には、当該振替受益権の解約価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に一部解約の実行の請求を受けたものとして、当該計算日の翌営業日の基準価額とします。

一部解約金は、販売会社の営業所等において、原則として一部解約の実行の請求受付日から起算して5営業日目から受益者に支払います。

委託会社は、一部解約金について、受益者への支払開始日までに、その全額を委託会社の指定する預金口座等に払込みます。委託会社は、委託会社の指定する預金口座等に一部解約金を払込んだ後は、受益者に対する支払いにつき、その責に任じません。

一部解約の実行の請求を行なう受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求にかかる信託契約の一部解約を委託会社が行なうのと引換えに、当該一部解約にかかる受益権の口数と同口数の抹消の申請を行なうものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行なわれます。

### 3【資産管理等の概要】

## (1)【資産の評価】

基準価額とは、信託財産の純資産総額を計算日における受益権口数で除した1万口当たりの価額をいいます。

純資産総額とは、信託財産に属する資産(受入担保金代用有価証券を除きます。)を法令および一般社団法人資産運用業協会規則にしたがって時価(注1、注2)により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額をいいます。

(注1)当ファンドの主要な投資対象資産の評価方法の概要

- ・マザーファンドの受益証券：計算日の基準価額で評価します。

(注2)マザーファンドの主要な投資対象資産の評価方法の概要

- ・公社債等：原則として、次のいずれかの価額で評価します。

1. 金融商品取引業者、銀行等の提示する価額(売気配相場を除く。)
2. 価格情報会社の提供する価額

なお、外貨建資産(外国通貨表示の有価証券(以下「外貨建有価証券」といいます。))、預金その他の資産をいいます。以下同じ。)の円換算については、原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算します。また、予約為替の評価は、原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によるものとします。

基準価額は、原則として、委託会社の各営業日に計算されます。

基準価額は、販売会社または下記にお問合わせ下さい。

大和アセットマネジメント株式会社

電話番号(コールセンター) 0120-106212(営業日の9:00~17:00)

ホームページ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

## (2)【保管】

該当事項はありません。

## (3)【信託期間】

無期限とします。ただし、(5)により信託契約を解約し、信託を終了させることがあります。

## (4)【計算期間】

<ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)>

毎月6日から翌月5日までとします。

上記にかかわらず、上記により各計算期間終了日に該当する日(以下「該当日」といいます。)が休業日の場合には、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日から次の計算期間が開始されるものとします。

<ダイワ・グローバル債券ファンド(年2回決算型)>

毎年4月6日から10月5日まで、および10月6日から翌年4月5日までとします。ただし、第1計算期間は、2008年10月31日から2009年4月5日までとします。

上記にかかわらず、上記により各計算期間終了日に該当する日(以下「該当日」といいます。)が休業日の場合には、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日から次の計算期間が開始されるものとします。

#### (5)【その他】

##### <ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)>

###### 信託の終了

1. 委託会社は、受益権の口数が30億口を下ることとなった場合もしくは信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届出ます。
2. 委託会社は、前1.の事項について、あらかじめ、解約しようとする旨を公告し、かつ、その旨を記載した書面を信託契約にかかる知られたる受益者に対して交付します。ただし、信託契約にかかるすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。
3. 前2.の公告および書面には、受益者で異議のある者は一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。なお、一定の期間は一月を下らないものとします。
4. 前3.の一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の2分の1を超えるとときは、前1.の信託契約の解約をしません。
5. 委託会社は、信託契約の解約をしないこととしたときは、解約しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を信託契約にかかる知られたる受益者に対して交付します。ただし、信託契約にかかるすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。
6. 前3.から前5.までの規定は、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、前3.の一定の期間が一月を下らずにその公告および書面の交付を行なうことが困難な場合には適用しません。
7. 委託会社は、監督官庁より信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し、信託を終了させます。
8. 委託会社が監督官庁より登録の取消しを受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託会社は、信託契約を解約し、信託を終了させます。ただし、監督官庁が信託契約に関する委託会社の業務を他の投資信託委託会社に引継ぐことを命じたときは、前4.に該当する場合を除き、当該投資信託委託会社と受託会社との間において存続します。
9. 受託会社が辞任した場合または裁判所が受託会社を解任した場合において、委託会社が新受託会社を選任できないときは、委託会社は信託契約を解約し、信託を終了させます。

###### 信託約款の変更

1. 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託約款を変更することができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を監督官庁に届出ます。
2. 委託会社は、前1.の変更事項のうち、その内容が重大なものについて、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を信託約款にかかる知られたる受益者に対して交付します。ただし、信託約款にかかるすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。

3. 前2.の公告および書面には、受益者で異議のある者は一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。なお、一定の期間は一月を下らないものとします。
4. 前3.の一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の2分の1を超えるとときは、前1.の信託約款の変更をしません。
5. 委託会社は、当該信託約款の変更をしないこととしたときは、変更しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を信託約款にかかる知られたる受益者に対して交付します。ただし、信託約款にかかるすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行ないません。
6. 委託会社は、監督官庁の命令に基づいて信託約款を変更しようとするときは、前1.から前5.までの規定にしたがいます。

#### 反対者の買取請求権

前 の1.から6.までの規定にしたがい信託契約の解約を行なう場合または前 の規定にしたがい信託約款の変更を行なう場合において、前 の3.または前 の3.の一定の期間内に委託会社に対して異議を述べた受益者は、受託会社に対し、自己に帰属する受益権を、信託財産をもって買取るべき旨を請求することができます。

#### 運用報告書

1. 委託会社は、運用経過のほか信託財産の内容、有価証券売買状況、費用明細などのうち重要な事項を記載した交付運用報告書を毎年4月および10月の計算期間の末日ならびに償還時に作成し、信託財産にかかる知られたる受益者に対して交付します。また、電子交付を選択された場合には、所定の方法により交付します。
2. 委託会社は、運用報告書(全体版)を作成し、委託会社のホームページに掲載します。
  - ・委託会社のホームページアドレス <https://www.daiwa-am.co.jp/>
3. 前2.の規定にかかわらず、受益者から運用報告書(全体版)の交付の請求があった場合には、これを交付します。

#### 公告

1. 委託会社が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行ない、次のアドレスに掲載します。  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>
2. 前1.の電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

#### 関係法人との契約の更改

委託会社と販売会社との間で締結される受益権の募集・販売の取扱い等に関する契約は、期間満了の1か月(または3か月)前までに、委託会社および販売会社いずれからも何ら意思の表示のないときは、自動的に1年間更新されるものとし、自動延長後の取扱いについてもこれと同様とします。

#### <ダイワ・グローバル債券ファンド(年2回決算型)>

##### 信託の終了

1. 委託会社は、受益権の口数が30億口を下ることとなった場合もしくは信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意

のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届出ます。

2. 委託会社は、前1.の事項について、書面による決議(以下「書面決議」といいます。)を行ないます。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに信託契約の解約の理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、信託契約にかかる知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を発送します。
3. 前2.の書面決議において、受益者(委託会社および当ファンドの信託財産に当ファンドの受益権が属するときの当該受益権にかかる受益者としての受託会社を除きます。以下本3.において同じ。)は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使することができます。なお、信託契約にかかる知れている受益者が議決権を行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
4. 前2.の書面決議は議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行ないます。
5. 前2.から前4.までの規定は、委託会社が信託契約の解約について提案をした場合において、当該提案につき、信託契約にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。また、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、前2.から前4.までの手続きを行なうことが困難な場合も同じとします。
6. 委託会社は、監督官庁より信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し、信託を終了させます。
7. 委託会社が監督官庁より登録の取消しを受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託会社は、信託契約を解約し、信託を終了させます。ただし、監督官庁が信託契約に関する委託会社の業務を他の投資信託委託会社に引継ぐことを命じたときは、の書面決議で否決された場合を除き、当該投資信託委託会社と受託会社との間において存続します。
8. 受託会社が辞任した場合または裁判所が受託会社を解任した場合において、委託会社が新受託会社を選任できないときは、委託会社は信託契約を解約し、信託を終了させます。

#### 信託約款の変更等

1. 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託約款を変更することまたは当ファンドと他のファンドとの併合(投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。以下同じ。)を行なうことができるものとし、あらかじめ、変更または併合しようとする旨およびその内容を監督官庁に届出ます。なお、信託約款は本の1.から7.までに定める以外の方法によって変更することができないものとします。
2. 委託会社は、前1.の事項(前1.の変更事項にあつては、その内容が重大なものに該当する場合に限り、前1.の併合事項にあつては、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものに該当する場合を除きます。以下「重大な信託約款の変更等」といいます。)について、書面決議を行ないます。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに重大な信託約款の変更等の内容およびその理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、信託約款にかかる知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を発送します。
3. 前2.の書面決議において、受益者(委託会社および当ファンドの信託財産に当ファンドの受益権が属するときの当該受益権にかかる受益者としての受託会社を除きます。以下本3.において同じ。)は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使することができます。なお、信託約款

にかかる知っている受益者が議決権を行使しないときは、当該知っている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。

4. 前2. の書面決議は議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行ないます。
5. 書面決議の効力は、当ファンドのすべての受益者に対してその効力を生じます。
6. 前2. から前5. までの規定は、委託会社が重大な信託約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、信託約款にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。
7. 前1. から前6. までの規定にかかわらず、当ファンドにおいて併合の書面決議が可決された場合にあっても、当該併合にかかる一または複数の他のファンドにおいて当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他のファンドとの併合を行なうことはできません。
8. 委託会社は、監督官庁の命令に基づいて信託約款を変更しようとするときは、前1. から前7. までの規定にしたがいます。

#### 反対受益者の受益権買取請求の不適用

当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第18条第1項に定める反対受益者による受益権買取請求の規定の適用を受けません。

#### 運用報告書

1. 委託会社は、運用経過のほか信託財産の内容、有価証券売買状況、費用明細などのうち重要な事項を記載した交付運用報告書を計算期間の末日および償還時に作成し、信託財産にかかる知っている受益者に対して交付します。また、電子交付を選択された場合には、所定の方法により交付します。
2. 委託会社は、運用報告書(全体版)を作成し、委託会社のホームページに掲載します。
  - ・委託会社のホームページ  
アドレス <https://www.daiwa-am.co.jp/>
3. 前2. の規定にかかわらず、受益者から運用報告書(全体版)の交付の請求があった場合には、これを交付します。

#### 公告

(ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)と同規定)

#### 関係法人との契約の更改

(ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)と同規定)

## 4【受益者の権利等】

信託契約締結当初および追加信託当初の受益者は、委託会社の指定する受益権取得申込者とし、分割された受益権は、その取得申込口数に応じて、取得申込者に帰属します。

受益者の有する主な権利の内容、その行使の方法等は、次のとおりです。

#### <収益分配金および償還金にかかる請求権>

受益者は、収益分配金(分配金額は、委託会社が決定します。)および償還金(信託終了時における信託財産の純資産総額を受益権口数で除した額をいいます。以下同じ。)を持分に応じて請求する権利を有します。

収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。)に、原則として決算日から起算して5営業日までに支払います。

上記にかかわらず、別に定める契約に基づいて収益分配金を再投資する受益者については、原則として毎計算期間終了日の翌営業日に収益分配金が再投資されます。再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

償還金は、信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(信託終了日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該信託終了日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。)に、原則として信託終了日から起算して5営業日までに支払います。

収益分配金および償還金の支払いは、販売会社の営業所等において行なうものとします。

受益者が、収益分配金については支払開始日から5年間その支払いを請求しないときならびに信託終了による償還金については支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託会社から交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。

#### < 換金請求権 >

受益者は、保有する受益権を換金する権利を有します。権利行使の方法等については、「2 換金(解約) 手続等」をご参照下さい。

### 第3 【ファンドの経理状況】

#### 【ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型）】

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドの計算期間は6か月未満であるため、財務諸表は6か月毎に作成しております。

(3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当特定期間(2025年10月7日から2026年4月6日まで)の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

## 1【財務諸表】

ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型）

## (1)【貸借対照表】

（単位：円）

	前期 2025年10月6日現在	当期 2026年4月6日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	570,050,061	570,384,404
親投資信託受益証券	78,620,304,052	78,561,201,540
未収入金	50,452,258	42,056,614
流動資産合計	79,240,806,371	79,173,642,558
<b>資産合計</b>		
79,240,806,371		
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払収益分配金	105,391,542	100,332,915
未払解約金	46,398,668	35,453,916
未払受託者報酬	3,668,047	3,856,735
未払委託者報酬	88,033,205	92,561,841
その他未払費用	1,112,622	1,077,018
流動負債合計	244,604,084	233,282,425
<b>負債合計</b>		
244,604,084		
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	1 105,391,542,840	1 100,332,915,292
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	2 26,395,340,553	2 21,392,555,159
（分配準備積立金）	2,776,292,951	3,014,553,900
元本等合計	78,996,202,287	78,940,360,133
<b>純資産合計</b>		
78,996,202,287		
<b>負債純資産合計</b>		
79,240,806,371		

## (2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	前期 自 2025年4月8日 至 2025年10月6日	当期 自 2025年10月7日 至 2026年4月6日
<b>営業収益</b>		
受取利息	1,025,960	1,378,671
有価証券売買等損益	7,607,252,744	5,043,948,778
営業収益合計	7,608,278,704	5,045,327,449
<b>営業費用</b>		
受託者報酬	21,289,697	21,984,566
委託者報酬	510,953,659	527,630,684
その他費用	1,112,622	1,077,018
営業費用合計	533,355,978	550,692,268
営業利益又は営業損失（ ）	7,074,922,726	4,494,635,181
経常利益又は経常損失（ ）	7,074,922,726	4,494,635,181
当期純利益又は当期純損失（ ）	7,074,922,726	4,494,635,181
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	34,502,876	35,487,543
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	33,966,878,983	26,395,340,553
剰余金増加額又は欠損金減少額	1,337,214,538	1,345,377,566
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	1,337,214,538	1,345,377,566
剰余金減少額又は欠損金増加額	163,881,792	188,725,970
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	163,881,792	188,725,970
分配金	1 642,214,166	1 613,013,840
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	26,395,340,553	21,392,555,159

## (3) 【注記表】

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	当期
	自2025年10月7日 至2026年4月6日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券  移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	特定期間末日  2025年10月5日が休日のため、前特定期間末日を2025年10月6日としており、2026年4月5日が休日のため、当特定期間末日を2026年4月6日としております。このため、当特定期間は182日となっております。

## (貸借対照表に関する注記)

区分	前期	当期
	2025年10月6日現在	2026年4月6日現在
1. 1 期首元本額	109,477,363,032円	105,391,542,840円
期中追加設定元本額	611,544,282円	842,060,365円
期中一部解約元本額	4,697,364,474円	5,900,687,913円
2. 特定期間末日における受益権の総数	105,391,542,840口	100,332,915,292口
3. 2 元本の欠損	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は26,395,340,553円であります。	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は21,392,555,159円であります。

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

区分	前期	当期
	自2025年4月8日 至2025年10月6日	自2025年10月7日 至2026年4月6日

<p>1 分配金の計算過程</p>	<p>(自2025年4月8日至2025年5月7日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(182,031,694円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(147,245,043円)及び分配準備積立金(2,443,813,573円)より分配対象額は2,773,090,310円(1万口当たり254.74円)であり、うち108,860,676円(1万口当たり10円)を分配金額としております。</p> <p>(自2025年5月8日至2025年6月5日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(149,763,349円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(146,960,974円)及び分配準備積立金(2,496,154,825円)より分配対象額は2,792,879,148円(1万口当たり258.61円)であり、うち107,996,616円(1万口当たり10円)を分配金額としております。</p>	<p>(自2025年10月7日至2025年11月5日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(178,680,571円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(155,248,116円)及び分配準備積立金(2,734,494,646円)より分配対象額は3,068,423,333円(1万口当たり295.50円)であり、うち103,839,034円(1万口当たり10円)を分配金額としております。</p> <p>(自2025年11月6日至2025年12月5日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(188,537,554円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(154,641,223円)及び分配準備積立金(2,781,262,644円)より分配対象額は3,124,441,421円(1万口当たり303.84円)であり、うち102,833,457円(1万口当たり10円)を分配金額としております。</p>
-------------------	---	---

<p>(自2025年6月6日至2025年7月7日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(198,987,513円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(146,694,020円)及び分配準備積立金(2,517,532,696円)より分配対象額は2,863,214,229円(1万口当たり267.18円)であり、うち107,164,265円(1万口当たり10円)を分配金額としております。</p> <p>(自2025年7月8日至2025年8月5日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(166,673,493円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(156,816,725円)及び分配準備積立金(2,588,963,010円)より分配対象額は2,912,453,228円(1万口当たり272.81円)であり、うち106,758,847円(1万口当たり10円)を分配金額としております。</p>	<p>(自2025年12月6日至2026年1月5日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(202,897,505円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(173,986,368円)及び分配準備積立金(2,844,964,937円)より分配対象額は3,221,848,810円(1万口当たり313.67円)であり、うち102,715,912円(1万口当たり10円)を分配金額としております。</p> <p>(自2026年1月6日至2026年2月5日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(206,333,906円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(173,806,321円)及び分配準備積立金(2,922,425,603円)より分配対象額は3,302,565,830円(1万口当たり323.91円)であり、うち101,960,421円(1万口当たり10円)を分配金額としております。</p>
---	--

<p>(自2025年8月6日至2025年9月5日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(186,522,554円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(156,660,936円)及び分配準備積立金(2,630,236,580円)より分配対象額は2,973,420,070円(1万口当たり280.40円)であり、うち106,042,220円(1万口当たり10円)を分配金額としております。</p>	<p>(自2026年2月6日至2026年3月5日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(110,616,434円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(173,682,945円)及び分配準備積立金(3,007,231,161円)より分配対象額は3,291,530,540円(1万口当たり324.83円)であり、うち101,332,101円(1万口当たり10円)を分配金額としております。</p>
<p>(自2025年9月6日至2025年10月6日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(188,479,657円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(156,617,265円)及び分配準備積立金(2,693,204,836円)より分配対象額は3,038,301,758円(1万口当たり288.29円)であり、うち105,391,542円(1万口当たり10円)を分配金額としております。</p>	<p>(自2026年3月6日至2026年4月6日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(129,030,221円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(172,922,443円)及び分配準備積立金(2,985,856,594円)より分配対象額は3,287,809,258円(1万口当たり327.69円)であり、うち100,332,915円(1万口当たり10円)を分配金額としております。</p>

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

区分	当期 自2025年10月7日 至2026年4月6日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細を附属明細表に記載しております。なお、当ファンドは、親投資信託受益証券を通じて有価証券、デリバティブ取引に投資しております。これらの金融商品は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

## 金融商品の時価等に関する事項

区分	当期 2026年4月6日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。  (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(有価証券に関する注記)

## 売買目的有価証券

種類	前期 2025年10月6日現在	当期 2026年4月6日現在
	最終の計算期間の損益に含まれた評価差額（円）	最終の計算期間の損益に含まれた評価差額（円）

親投資信託受益証券	1,410,356,826	932,846,126
合計	1,410,356,826	932,846,126

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

前期 2025年10月6日現在	当期 2026年4月6日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

当期 自2025年10月7日 至2026年4月6日
市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	前期 2025年10月6日現在	当期 2026年4月6日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.7495円 (7,495円)	0.7868円 (7,868円)

(4)【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

種類	銘柄	券面総額	評価額 (円)	備考
親投資信託受益証券	ダイワ高格付米ドル債マザーファンド	6,109,885,389	15,858,207,527	
	ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	2,023,239,254	8,666,140,696	
	ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド	3,755,453,638	10,473,209,105	
	ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド	11,582,037,523	26,259,953,675	

	ダイワ・オセアニア債券マザーファンド	4,554,921,303	17,303,690,537	
	ンド			
	親投資信託受益証券 合計		78,561,201,540	
	合計		78,561,201,540	

親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

### （参考）

当ファンドは、「ダイワ高格付米ドル債マザーファンド」受益証券、「ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド」受益証券、「ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド」受益証券、「ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド」受益証券、「ダイワ・オセアニア債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、当ファンドの特定期間末日（以下、「期末日」）における同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

### 「ダイワ高格付米ドル債マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

### 貸借対照表

	2025年10月6日現在 金額（円）	2026年4月6日現在 金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金	448,481,652	248,166,807
コール・ローン	447,145,423	110,591,915
国債証券	5,423,254,759	6,025,511,218
地方債証券	4,003,096,443	3,892,422,917
特殊債券	6,227,688,364	6,584,795,067
社債券	2,165,031,706	1,837,136,115
未収利息	155,063,373	162,442,088
前払費用	605,429	6,120,471
差入委託証拠金	77,835,063	84,367,291

流動資産合計		18,948,202,212	18,951,553,889
資産合計		18,948,202,212	18,951,553,889
負債の部			
流動負債			
未払解約金		28,526,696	43,164,214
流動負債合計		28,526,696	43,164,214
負債合計		28,526,696	43,164,214
純資産の部			
元本等			
元本	1	7,870,609,060	7,285,123,645
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		11,049,066,456	11,623,266,030
元本等合計		18,919,675,516	18,908,389,675
純資産合計		18,919,675,516	18,908,389,675
負債純資産合計		18,948,202,212	18,951,553,889

## 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	自2025年10月7日 至2026年4月6日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券、地方債証券、特殊債券及び社債券</p> <p>個別法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額又は日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）等で評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	為替予約取引

<p>3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項</p>	<p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p> <p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>
-----------------------------------	---

## (貸借対照表に関する注記)

区分	2025年10月6日現在	2026年4月6日現在
1. 1 期首	2025年4月8日	2025年10月7日
期首元本額	8,049,360,882円	7,870,609,060円
期中追加設定元本額	262,112,950円	94,933,736円
期中一部解約元本額	440,864,772円	680,419,151円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
ダイワ世界債券ファンドM	124,649,574円	111,760,338円
（F0Fs用）（適格機関投資家専用）		
ダイワ世界債券ファンドV A	6,009,869円	5,606,961円
（適格機関投資家専用）		
ダイワ世界債券ファンド（毎月分配型）	1,091,273,154円	1,018,729,223円
ダイワ・グローバル債券ファンド（年2回決算型）	97,184,994円	39,141,734円
ダイワ世界債券ファンド（年2回決算型）	3,278,412円	-円
ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型）	6,548,213,057円	6,109,885,389円
計	7,870,609,060円	7,285,123,645円

2. 期末日における受益権の総数	7,870,609,060口	7,285,123,645口
------------------	----------------	----------------

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の状況に関する事項

区分	自2025年10月7日 至2026年4月6日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。 これらの金融商品は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 信託財産の効率的な運用に資することを目的として、投資信託約款に従ってデリバティブ取引を利用しております。また、信託財産の効率的な運用に資すること、および外貨建資産の売買代金等の受取りまたは支払いを目的として、投資信託約款に従って為替予約取引を利用しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

## 金融商品の時価等に関する事項

区分	2026年4月6日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載してあります。  (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

## (有価証券に関する注記)

## 売買目的有価証券

種類	2025年10月6日現在	2026年4月6日現在
	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）
国債証券	6,755,003	82,507,505
地方債証券	9,372,334	75,246,308
特殊債券	34,500,237	87,048,310
社債券	4,119,699	3,330,406
合計	41,237,267	248,132,529

（注）「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間を指しております。

## (デリバティブ取引に関する注記)

## ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

2025年10月6日現在	2026年4月6日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

## (1口当たり情報)

	2025年10月6日現在	2026年4月6日現在
1口当たり純資産額	2.4038円	2.5955円
(1万口当たり純資産額)	(24,038円)	(25,955円)

## 附属明細表

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
国債証券	アメリカ・ドル	3.25% UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 20290630	100,000.000	98,054.000	
		4.125% UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 20271031	400,000.000	401,500.000	
		3.5% UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 20300131	3,000,000.000	2,953,800.000	

		3.5% UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 20300430	11,850,000.000	11,653,171.500	
		3.75% UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 20300630	9,100,000.000	9,027,473.000	
		4.125% UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 20291031	1,000,000.000	1,006,750.000	
		4.25% UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 20341115	12,600,000.000	12,572,910.000	
	アメリカ・ドル 小計			37,713,658.500 (6,025,511,218)	
国債証券 合計				6,025,511,218 [6,025,511,218]	
地方債証券	アメリカ・ドル	5.985% City of New York NY 20361201	4,023,332.140	4,154,975.560	
		5.968% City of New York NY 20360301	1,000,000.000	1,035,910.000	
		4.969% CITY OF NEW YORK NY 20371001	3,000,000.000	2,986,770.000	
		5.44% CITY OF NEW YORK NY 20350201	1,700,000.000	1,778,880.000	
		5.245% State of Mississippi 20341101	1,000,000.000	1,019,360.000	
		5.15% STATE OF CALIFORNIA 20340901	2,500,000.000	2,563,675.000	
		4.875% STATE OF CALIFORNIA 20300901	3,000,000.000	3,084,030.000	
		4.25% PROVINCE OF QUEBEC CANADA 20340905	5,700,000.000	5,589,021.000	
		4.7% ONTARIO PROVINCE 20300115	2,100,000.000	2,150,043.000	
		アメリカ・ドル 小計			24,362,664.560 (3,892,422,917)
地方債証券 合計				3,892,422,917 [3,892,422,917]	
特殊債券	アメリカ・ドル	4.75% KOREA NATIONAL OIL CORP 20300331	500,000.000	504,875.000	
		4.75% OPEC FUND FOR INTERNATIONAL DEVELO 20280203	3,000,000.000	3,034,530.000	
		2% ONTARIO TEACHERS FINANCE TRUST 20310416	2,300,000.000	2,076,532.000	

		2.5% GINNIE MAE II POOL MA8720 20530320	1,310,398.200	1,124,989.950	
		5.5% GINNIE MAE II POOL 787028 20530920	1,542,758.540	1,565,282.810	
		5.5% GINNIE MAE II POOL 787374 20540420	2,215,635.400	2,257,533.060	
		4% FANNIE MAE 20520701	1,286,239.720	1,223,329.730	
		4% FANNIE MAE 20520701	1,413,935.460	1,339,406.920	
		2.5% FANNIE MAE 20330901	134,573.990	129,422.490	
		2.5% FANNIE MAE 20510101	480,715.600	404,286.620	
		4.5% FANNIE MAE 20530601	3,955,227.120	3,841,909.850	
		5% FANNIE MAE 20540501	863,771.600	857,586.990	
		2% FANNIE MAE 20510301	3,026,348.400	2,370,962.390	
		5.5% FANNIE MAE 20540601	1,340,918.940	1,360,657.260	
		5.5% FANNIE MAE 20540801	1,237,940.820	1,258,267.800	
		5% FANNIE MAE 20530401	1,188,036.400	1,184,864.340	
		3% FANNIE MAE 20510901	2,373,302.230	2,086,037.720	
		4% FANNIE MAE 20541201	3,346,233.800	3,161,253.990	
		3.5% FANNIE MAE 20520801	1,959,030.770	1,796,646.700	
		3% FREDDIE MAC 20520301	3,142,701.480	2,766,142.980	
		2.25% CORP ANDINA DE FOMENTO 20270208	2,800,000.000	2,760,576.000	
		5% CORP ANDINA DE FOMENTO 20300122	4,000,000.000	4,109,120.000	
		アメリカ・ドル 小計		41,214,214.600 (6,584,795,067)	
		特殊債券 合計		6,584,795,067 [6,584,795,067]	
社債券	アメリカ・ドル	5.125% SVENSKA HANDELSBANKEN AB 20270528	2,500,000.000	2,526,950.000	
		5.087% NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD/NEW YORK 20270611	3,000,000.000	3,032,400.000	
		2.285% BANK OF NEW ZEALAND 20270127	3,000,000.000	2,957,520.000	
		1.25% ANZ NEW ZEALAND INT'L LTD/LONDON 20260622	3,000,000.000	2,981,760.000	
		アメリカ・ドル 小計		11,498,630.000 (1,837,136,115)	
		社債券 合計		1,837,136,115 [1,837,136,115]	

合計		18,339,865,317	
		[18,339,865,317]	

(注) 1. 各種通貨毎の小計の欄における ( ) 内の金額は、邦貨換算額であります。

2. 合計欄における [ ] 内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。

3. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入債券 時価比率	合計金額に 対する比率
アメリカ・ドル	国債証券	7銘柄	100%
	地方債証券	9銘柄	
	特殊債券	22銘柄	
	社債券	4銘柄	
			100%

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

「ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

### 貸借対照表

	2025年10月6日現在 金額 (円)	2026年4月6日現在 金額 (円)
資産の部		
流動資産		
預金	31,826,725	68,088,626
コール・ローン	10,224,407	39,556,365
国債証券	408,786,852	2,025,004,831
地方債証券	748,801,088	805,906,449
特殊債券	2,546,834,342	9,531,650,059
社債券	1,721,039,627	1,686,389,794
未収利息	48,323,555	118,710,909
前払費用	312,240	2,241,061

差入委託証拠金		18,182,647	20,556,619
流動資産合計		5,534,331,483	14,298,104,713
資産合計		5,534,331,483	14,298,104,713
負債の部			
流動負債			
未払解約金		3,815,987	16,128,214
流動負債合計		3,815,987	16,128,214
負債合計		3,815,987	16,128,214
純資産の部			
元本等			
元本	1	1,415,369,588	3,334,349,948
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		4,115,145,908	10,947,626,551
元本等合計		5,530,515,496	14,281,976,499
純資産合計		5,530,515,496	14,281,976,499
負債純資産合計		5,534,331,483	14,298,104,713

## 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	自2025年10月7日 至2026年4月6日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券、地方債証券、特殊債券及び社債券</p> <p>個別法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額又は日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）等で評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	為替予約取引

3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p> <p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>
----------------------------	---

## (貸借対照表に関する注記)

区分	2025年10月6日現在	2026年4月6日現在
1. 1 期首	2025年4月8日	2025年10月7日
期首元本額	3,952,064,220円	1,415,369,588円
期中追加設定元本額	1,604,434円	2,212,528,291円
期中一部解約元本額	2,538,299,066円	293,547,931円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
ダイワ世界債券ファンドM （F0Fs用）（適格機関投資家専用）	76,186,709円	66,303,349円
ダイワ世界債券ファンドV A （適格機関投資家専用）	3,764,823円	3,376,290円
ダイワ世界債券ファンド（毎月分配型）	669,855,415円	609,268,692円
ダイワ・グローバル債券ファンド（年2回決算型）	-円	13,121,959円
ダイワ世界債券ファンド（年2回決算型）	2,015,692円	-円
ダイワ高格付豪ドル債オープン（毎月分配型）	663,546,949円	619,040,404円

ダイワ・グローバル債券ファン ド（毎月分配型）	-円	2,023,239,254円
計	1,415,369,588円	3,334,349,948円
2. 期末日における受益権の総数	1,415,369,588口	3,334,349,948口

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の状況に関する事項

区分	自2025年10月7日 至2026年4月6日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。 これらの金融商品は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 信託財産の効率的な運用に資すること、および外貨建資産の売買代金等の受取りまたは支払いを目的として、投資信託約款に従って為替予約取引を利用しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

## 金融商品の時価等に関する事項

区分	2026年4月6日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。  (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

## (有価証券に関する注記)

## 売買目的有価証券

種類	2025年10月6日現在	2026年4月6日現在
	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）
国債証券	2,850,174	65,001,793
地方債証券	4,364,754	32,598,833
特殊債券	36,118,284	317,183,998
社債券	8,740,367	63,160,090
合計	52,073,579	477,944,714

(注)「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間を指しております。

## (デリバティブ取引に関する注記)

## ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

2025年10月6日現在	2026年4月6日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

## (1口当たり情報)

	2025年10月6日現在	2026年4月6日現在
1口当たり純資産額	3.9075円	4.2833円
(1万口当たり純資産額)	(39,075円)	(42,833円)

## 附属明細表

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
国債証券	オーストラリア・ドル	1.5% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20310621	8,000,000.000	6,806,480.000	
		1% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20301221	5,000,000.000	4,218,400.000	
		1% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20311121	7,000,000.000	5,703,600.000	

		1.75% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20321121	2,000,000.000	1,650,580.000	
	オーストラリア・ドル 小計			18,379,060.000 (2,025,004,831)	
国債証券 合計				2,025,004,831 [2,025,004,831]	
地方債証券	オーストラリア・ドル	4.7% NZ LOCAL GOVT FUND AGENC 20280801	500,000.000	495,695.000	
		5% NZ LOCAL GOVT FUND AGENC 20340308	4,616,000.000	4,463,718.160	
		2.4% Province of Alberta Canada 20301002	500,000.000	431,320.000	
		3% AUSTRALIAN CAPITAL TERRITORY 20280418	2,000,000.000	1,923,720.000	
	オーストラリア・ドル 小計				7,314,453.160 (805,906,449)
地方債証券 合計				805,906,449 [805,906,449]	
特殊債券	オーストラリア・ドル	4.6% CPPIB CAPITAL INC 20300116	10,000,000.000	9,827,500.000	
		4.75% CPPIB CAPITAL INC 20310115	1,000,000.000	980,810.000	
		4.3% LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK 20290214	5,000,000.000	4,902,600.000	
		4.45% KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU 20300116	6,000,000.000	5,886,720.000	
		1.55% BNG BANK NV 20320219	2,000,000.000	1,616,200.000	
		4.3% SWEDISH EXPORT CREDIT 20280530	1,064,000.000	1,042,847.680	
		5.4% SWEDISH EXPORT CREDIT 20301101	1,000,000.000	1,003,990.000	
		4.2% SWEDISH EXPORT CREDIT 20310401	2,000,000.000	1,902,400.000	
		5.4% AIRSERVICES AUSTRALIA 20281115	2,000,000.000	2,009,340.000	
		3% NEW SOUTH WALES TREASURY CORP. 20290420	1,000,000.000	945,980.000	
		3% NEW SOUTH WALES TREASURY CORP. 20300220	3,000,000.000	2,791,830.000	

		6% NEW SOUTH WALES TREASURY CORP. 20300501	5,000,000.000	5,189,700.000	
		1.5% TREASURY CORP VICTORIA 20301120	8,000,000.000	6,823,760.000	
		1.5% TREASURY CORP VICTORIA 20310910	8,500,000.000	7,023,890.000	
		2.5% TREASURY CORP VICTORIA 20291022	5,000,000.000	4,596,100.000	
		3.5% QUEENSLAND TREASURY CORP. 20300821	6,000,000.000	5,641,200.000	
		3.25% QUEENSLAND TREASURY CORP. 20290821	5,000,000.000	4,737,900.000	
		1.25% QUEENSLAND TREASURY CORP. 20310310	3,000,000.000	2,502,000.000	
		2% QUEENSLAND TREASURY CORP. 20330822	4,000,000.000	3,177,000.000	
		3.75% TASMANIAN PUBLIC FINANCE 20290122	1,000,000.000	968,570.000	
		4.3% INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT 20290110	1,000,000.000	981,320.000	
		3.15% INTL. FIN. CORP. 20290626	500,000.000	472,345.000	
		4.5% INTL. FIN. CORP. 20300520	3,000,000.000	2,935,380.000	
		2.35% ASIAN DEVELOPMENT BANK 20320113	2,000,000.000	1,706,100.000	
		4.45% INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK 20300121	5,000,000.000	4,893,800.000	
		4.6% INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK 20310721	2,000,000.000	1,950,520.000	
		オーストラリア・ドル 小計		86,509,802.680 (9,531,650,059)	
		特殊債券 合計		9,531,650,059 [9,531,650,059]	
社債券	オーストラリア・ドル	5.4% NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD 20281116	1,600,000.000	1,601,952.000	
		5% NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD 20291114	2,400,000.000	2,366,928.000	
		5.708% COOPERATIEVE RABOBANK UA 20281121	2,000,000.000	2,015,000.000	

	4.95% TORONTO-DOMINION BANK/THE 20280915	2,000,000.000	1,982,660.000	
	5.288% BNP PARIBAS SA 20290215	1,860,000.000	1,840,656.000	
	5.411% CREDIT AGRICOLE SA 20290118	2,190,000.000	2,175,305.100	
	3.97% UNIVERSITY OF TASMANIA 20320324	630,000.000	573,640.200	
	4.05% MONASH UNIVERSITY 20290406	840,000.000	807,139.200	
	5.338% BANK OF MONTREAL 20290627	1,000,000.000	988,990.000	
	3.5% Macquarie University 20280907	1,000,000.000	953,500.000	
	オーストラリア・ドル 小計		15,305,770.500 (1,686,389,794)	
社債券 合計			1,686,389,794 [1,686,389,794]	
合計			14,048,951,133 [14,048,951,133]	

(注) 1. 各種通貨毎の小計の欄における ( ) 内の金額は、邦貨換算額であります。

2. 合計欄における [ ] 内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。

3. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入債券 時価比率	合計金額に 対する比率
オーストラリア・ドル	国債証券	4銘柄	100%
	地方債証券	4銘柄	
	特殊債証券	26銘柄	
	社債券	10銘柄	
			100%

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

「ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

#### 貸借対照表

	2025年10月6日現在 金額（円）	2026年4月6日現在 金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金	489,045,837	427,070,277
コール・ローン	180,946,269	59,540,232
国債証券	15,321,090,322	15,022,283,765
地方債証券	23,496,595,832	24,741,007,726
特殊債券	1,834,562,439	1,938,553,407
社債券	20,259,196,258	18,208,173,385
未収入金	-	559,462,757
未収利息	531,840,923	513,550,467
前払費用	3,209,882	7,531,545
差入委託証拠金	122,972,087	132,281,213
流動資産合計	62,239,459,849	61,609,454,774
資産合計	62,239,459,849	61,609,454,774
負債の部		
流動負債		
未払金	-	566,349,616
未払解約金	94,233,676	40,448,456
流動負債合計	94,233,676	606,798,072
負債合計	94,233,676	606,798,072
純資産の部		
元本等		
元本	1 23,855,855,873	21,874,300,900
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	38,289,370,300	39,128,355,802
元本等合計	62,145,226,173	61,002,656,702
純資産合計	62,145,226,173	61,002,656,702
負債純資産合計	62,239,459,849	61,609,454,774

#### 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	自2025年10月7日 至2026年4月6日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券、地方債証券、特殊債券及び社債券</p> <p>個別法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額又は日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）等で評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>

## (貸借対照表に関する注記)

区分	2025年10月6日現在	2026年4月6日現在
1. 1 期首	2025年4月8日	2025年10月7日
期首元本額	25,565,091,705円	23,855,855,873円
期中追加設定元本額	61,262,304円	39,718,325円
期中一部解約元本額	1,770,498,136円	2,021,273,298円

期末元本額の内訳 ファンド名		
ダイワ世界債券ファンドM （F0Fs用）（適格機関投資家専用）	114,318,820円	102,676,527円
ダイワ高格付カナダドル債オープン（年1回決算型）	384,531,763円	356,184,172円
ダイワ世界債券ファンドV A （適格機関投資家専用）	5,527,244円	5,179,751円
ダイワ世界債券ファンド（毎月分配型）	1,003,203,473円	942,248,429円
ダイワ・グローバル債券ファンド（年2回決算型）	59,317,387円	23,828,814円
ダイワ世界債券ファンド（年2回決算型）	2,987,431円	-円
ダイワ高格付カナダドル債オープン（毎月分配型）	18,276,044,497円	16,688,729,569円
ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型）	4,009,925,258円	3,755,453,638円
計	23,855,855,873円	21,874,300,900円
2. 期末日における受益権の総数	23,855,855,873口	21,874,300,900口

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の状況に関する事項

区分	自2025年10月7日 至2026年4月6日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	<p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。</p> <p>これらの金融商品は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。</p> <p>信託財産の効率的な運用に資すること、および外貨建資産の売買代金等の受取りまたは支払いを目的として、投資信託約款に従って為替予約取引を利用しております。</p>

3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

## 金融商品の時価等に関する事項

区分	2026年4月6日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませぬ。
2. 金融商品の時価の算定方法	<p>(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>(2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>

## (有価証券に関する注記)

## 売買目的有価証券

種類	2025年10月6日現在	2026年4月6日現在
	当期間の損益に含まれた評価差額（円）	当期間の損益に含まれた評価差額（円）
国債証券	97,862,428	228,888,941
地方債証券	224,125,591	293,091,427
特殊債証券	21,301,357	19,120,487
社債証券	58,823,888	159,767,108
合計	402,113,264	700,867,963

(注)「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間を指しております。

## (デリバティブ取引に関する注記)

## ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

2025年10月6日現在	2026年4月6日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

## (1口当たり情報)

	2025年10月6日現在	2026年4月6日現在
1口当たり純資産額	2.6050円	2.7888円
(1万口当たり純資産額)	(26,050円)	(27,888円)

## 附属明細表

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
国債証券	カナダ・ドル	2% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20280601	8,000,000.000	7,860,800.000	
		2.25% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20290601	10,000,000.000	9,788,800.000	
		1.5% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20311201	5,000,000.000	4,569,800.000	
		2% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20320601	41,000,000.000	38,224,710.000	
		3.5% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20280301	10,000,000.000	10,123,600.000	
		2.75% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20330601	20,000,000.000	19,298,400.000	
		3.25% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20331201	15,000,000.000	14,904,900.000	
		3% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20340601	20,000,000.000	19,463,600.000	
		3.25% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20351201	7,000,000.000	6,861,330.000	
			カナダ・ドル 小計		131,095,940.000 (15,022,283,765)
国債証券 合計				15,022,283,765 [15,022,283,765]	
地方債証券	カナダ・ドル	1.9% Province of Quebec Canada 20300901	35,000,000.000	33,090,050.000	
		3.6% PROVINCE OF QUEBEC CANADA 20330901	16,000,000.000	15,899,200.000	
		4% PROVINCE OF QUEBEC CANADA 20350901	10,000,000.000	10,018,200.000	
		2.9% ONTARIO PROVINCE 20280602	37,000,000.000	36,974,470.000	

		2.25% ONTARIO PROVINCE 20311202	10,000,000.000	9,404,600.000	
		3.75% ONTARIO PROVINCE 20320602	45,000,000.000	45,682,650.000	
		3.65% ONTARIO PROVINCE 20330602	20,000,000.000	20,039,200.000	
		5.4% BRITISH COLUMBIA 20350618	4,000,000.000	4,444,720.000	
		2.05% Province of Alberta Canada 20300601	10,000,000.000	9,551,500.000	
		1.65% PROVINCE OF ALBERTA CANADA 20310601	28,000,000.000	25,784,920.000	
		3.95% PROVINCE OF ALBERTA CANADA 20350601	5,000,000.000	5,019,450.000	
	カナダ・ドル 小計			215,908,960.000 (24,741,007,726)	
地方債証券 合計				24,741,007,726 [24,741,007,726]	
特殊債券	カナダ・ドル	1.9% CANADA HOUSING TRUST 20310315	18,000,000.000	16,917,300.000	
	カナダ・ドル 小計			16,917,300.000 (1,938,553,407)	
特殊債券 合計				1,938,553,407 [1,938,553,407]	
社債券	カナダ・ドル	4.516% TORONTO-DOMINION BANK/THE 20270129	40,000,000.000	40,589,600.000	
		5.18% METROPOLITAN LIFE GLOBAL FUNDING I 20260615	10,000,000.000	10,047,600.000	
		3.394% METROPOLITAN LIFE GLOBAL FUNDING I 20300409	30,000,000.000	29,623,200.000	
		2% NEW YORK LIFE GLOBAL FUNDING 20280417	50,000,000.000	48,647,500.000	
		3.19% BANK OF MONTREAL 20280301	15,000,000.000	14,988,000.000	
		2.7% BANK OF MONTREAL 20261209	15,000,000.000	15,002,550.000	
	カナダ・ドル 小計				158,898,450.000 (18,208,173,385)
社債券 合計				18,208,173,385 [18,208,173,385]	

合計		59,910,018,283	
		[59,910,018,283]	

(注) 1. 各種通貨毎の小計の欄における ( ) 内の金額は、邦貨換算額であります。

2. 合計欄における [ ] 内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。

3. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入債券 時価比率	合計金額に 対する比率
カナダ・ドル	国債証券	9銘柄	100%
	地方債証券	11銘柄	
	特殊債券	1銘柄	
	社債券	6銘柄	
			100%

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

「ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

## 貸借対照表

	2025年10月6日現在 金額 (円)	2026年4月6日現在 金額 (円)
資産の部		
流動資産		
預金	148,272,099	149,932,998
コール・ローン	48,626,228	360,729,797
国債証券	23,517,270,142	21,382,671,542
特殊債券	5,473,837,961	5,770,160,112
社債券	1,790,120,636	3,156,341,021
派生商品評価勘定	88,267	-
未収入金	888,480,184	599,398,378
未収利息	353,475,248	314,285,783

前払費用		63,015,746	68,640,701
差入委託証拠金		41,411,133	27,924,918
流動資産合計		32,324,597,644	31,830,085,250
資産合計		32,324,597,644	31,830,085,250
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		631,584	-
未払金		799,733,000	518,701,684
未払解約金		32,670,745	8,377,764
流動負債合計		833,035,329	527,079,448
負債合計		833,035,329	527,079,448
純資産の部			
元本等			
元本	1	14,608,218,803	13,806,310,639
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		16,883,343,512	17,496,695,163
元本等合計		31,491,562,315	31,303,005,802
純資産合計		31,491,562,315	31,303,005,802
負債純資産合計		32,324,597,644	31,830,085,250

## 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	自2025年10月7日 至2026年4月6日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券、特殊債券及び社債券</p> <p>個別法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額又は日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）等で評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	(1)先物取引

<p>3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項</p>	<p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。</p> <p>(2)為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p> <p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>
-----------------------------------	---

## (貸借対照表に関する注記)

区分	2025年10月6日現在	2026年4月6日現在
1. 1 期首	2025年4月8日	2025年10月7日
期首元本額	15,905,852,474円	14,608,218,803円
期中追加設定元本額	290,636,727円	82,978,272円
期中一部解約元本額	1,588,270,398円	884,886,436円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
ダイワ世界債券ファンドM	230,108,498円	211,431,268円
（F0Fs用）（適格機関投資家専用）		
ダイワ世界債券ファンドV A	11,333,864円	10,657,303円
（適格機関投資家専用）		
ダイワ世界債券ファンド（毎月分配型）	2,026,621,797円	1,930,131,097円
ダイワ・グローバル債券ファンド（年2回決算型）	180,448,157円	72,053,448円

ダイワ世界債券ファンド（年2回決算型）	6,066,435円	-円
ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型）	12,153,640,052円	11,582,037,523円
計	14,608,218,803円	13,806,310,639円
2. 期末日における受益権の総数	14,608,218,803口	13,806,310,639口

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の状況に関する事項

区分	自2025年10月7日 至2026年4月6日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	<p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。</p> <p>これらの金融商品は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。</p> <p>信託財産の効率的な運用に資することを目的として、投資信託約款に従ってわが国の金融商品取引所（外国の取引所）における債券先物取引を利用しております。また、信託財産の効率的な運用に資すること、および外貨建資産の売買代金等の受取りまたは支払いを目的として、投資信託約款に従って為替予約取引を利用しております。</p>
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

## 金融商品の時価等に関する事項

区分	2026年4月6日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませぬ。

2. 金融商品の時価の算定方法	<p>(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>(2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>
-----------------	--

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	2025年10月6日現在	2026年4月6日現在
	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）
国債証券	68,625,665	190,595,572
特殊債券	39,044,813	62,260,009
社債券	7,515,499	36,373,303
合計	115,185,977	289,228,884

(注) 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間を指しております。

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

1. 債券関連

種類	2025年10月6日現在				2026年4月6日現在			
	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)
	(円)	うち 1年超			(円)	うち 1年超		
市場取引								
債券先物取引								
買建	620,847,072	-	620,215,488	631,584	-	-	-	-
合計	620,847,072	-	620,215,488	631,584	-	-	-	-

(注) 1. 時価の算定方法

債券先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として期末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、期末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 債券先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。

3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。また契約額等及び時価の邦貨換算は期末日の対顧客電信売買相場の仲値で行っております。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

## 2. 通貨関連

種類	2025年10月6日現在				2026年4月6日現在			
	契約額等	うち 1年超	時価	評価損益	契約額等	うち 1年超	時価	評価損益
	(円)		(円)	(円)	(円)		(円)	(円)
市場取引以外の取引								
為替予約取引								
売建	78,065,770	-	78,061,773	3,997	-	-	-	-
ユーロ	78,065,770	-	78,061,773	3,997	-	-	-	-
買建	42,979,110	-	43,063,380	84,270	-	-	-	-
スウェーデン・クローナ	42,979,110	-	43,063,380	84,270	-	-	-	-
合計	121,044,880	-	121,125,153	88,267	-	-	-	-

### (注) 1. 時価の算定方法

- (1) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のよう  
に評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

- (2) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、期末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。

## 3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	2025年10月6日現在	2026年4月6日現在
1口当たり純資産額	2.1557円	2.2673円
(1万口当たり純資産額)	(21,557円)	(22,673円)

## 附属明細表

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
国債証券	スウェーデン・クローナ	0.75% SWEDISH GOVERNMENT BOND 20291112	100,000,000.000	94,019,000.000	
		スウェーデン・クローナ 小計		94,019,000.000 (1,583,279,960)	
	チェコ・コルナ	1.5% CZECH REPUBLIC GOVERNMENT BOND 20400424	110,000,000.000	71,352,600.000	
		4.9% CZECH REPUBLIC GOVERNMENT BOND 20340414	105,000,000.000	106,190,700.000	
	チェコ・コルナ 小計			177,543,300.000 (1,331,397,206)	
	デンマーク・クローネ	0.5% DANISH GOVERNMENT BOND 20291115	95,000,000.000	88,788,900.000	
		DANISH GOVERNMENT BOND 20311115	50,000,000.000	43,464,500.000	
		2.25% DANISH GOVERNMENT BOND 20331115	50,000,000.000	48,452,000.000	
	デンマーク・クローネ 小計			180,705,400.000 (4,447,159,894)	
	ノルウェー・クローネ	3.625% NORWEGIAN GOVERNMENT BOND 20340413	80,000,000.000	76,440,800.000	
		3.75% NORWEGIAN GOVERNMENT BOND 20350612	20,000,000.000	19,189,000.000	
	ノルウェー・クローネ 小計			95,629,800.000 (1,562,590,932)	

ポーランド・ズロチ	6% POLAND GOVERNMENT BOND 20331025	15,000,000.000	15,480,600.000		
	5% POLAND GOVERNMENT BOND 20300125	52,000,000.000	52,241,280.000		
	5% POLAND GOVERNMENT BOND 20351025	2,000,000.000	1,894,740.000		
ポーランド・ズロチ 小計			69,616,620.000 (2,993,918,436)		
ユーロ	0.1% Belgium Government Bond 20300622	9,500,000.000	8,459,560.000		
	3.4% BELGIUM GOVERNMENT BOND 20360622	100,000.000	98,665.000		
	FRENCH GOVERNMENT BOND 20301125	16,000,000.000	13,914,880.000		
	1.25% SPANISH GOVERNMENT BOND 20301031	17,000,000.000	15,823,260.000		
	3.15% SPANISH GOVERNMENT BOND 20330430	7,000,000.000	6,993,980.000		
	4% SPANISH GOVERNMENT BOND 20541031	100,000.000	98,332.000		
	3.2% SPANISH GOVERNMENT BOND 20351031	800,000.000	785,840.000		
	5.15% SPANISH GOVERNMENT BOND 20281031	5,000,000.000	5,295,600.000		
ユーロ 小計			51,470,117.000 (9,464,325,114)		
国債証券 合計			21,382,671,542 [21,382,671,542]		
特殊債券	スウェーデン・ クローナ	1.5% EUROPEAN INVESTMENT BANK 20270302	10,000,000.000	9,906,900.000	
		3.75% EUROPEAN INVESTMENT BANK 20320601	20,000,000.000	20,602,000.000	
		2.125% EUROPEAN INVESTMENT BANK 20400321	72,000,000.000	58,208,400.000	
		2.59% EUROPEAN INVESTMENT BANK 20300603	50,000,000.000	49,107,000.000	
		2.933% EUROPEAN INVESTMENT BANK 20300404	45,000,000.000	44,829,900.000	
スウェーデン・クローナ 小計			182,654,200.000 (3,075,896,728)		

ノルウェー・クローネ	4.25% KFW-KREDIT	WIEDERAUFBAU 20280929	30,000,000.000	29,761,800.000	
	4.25% KFW-KREDIT	WIEDERAUFBAU 20290130	40,000,000.000	39,614,800.000	
	2% KOMMUNALBANKEN	20271129	100,000,000.000	95,511,000.000	
ノルウェー・クローネ 小計				164,887,600.000 (2,694,263,384)	
特殊債券 合計				5,770,160,112 [5,770,160,112]	
社債券	ユーロ	FR3% DNB BANK ASA	20310115	4,600,000.000	4,541,626.000
		3% ALPHABET INC	20330506	9,000,000.000	8,748,090.000
		3.799% WESTPAC BANKING CORP	20300117	3,800,000.000	3,875,506.000
	ユーロ 小計				17,165,222.000 (3,156,341,021)
社債券 合計				3,156,341,021 [3,156,341,021]	
合計				30,309,172,675 [30,309,172,675]	

- (注) 1. 各種通貨毎の小計の欄における( )内の金額は、邦貨換算額であります。
2. 合計欄における[ ]内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。
3. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入債券 時価比率	合計金額に 対する比率	
スウェーデン・クローナ	国債証券	1銘柄	100%	15.4%
	特殊債券	5銘柄		
チェコ・コルナ	国債証券	2銘柄	100%	4.4%
デンマーク・クローネ	国債証券	3銘柄	100%	14.7%
ノルウェー・クローネ	国債証券	2銘柄	100%	14.0%
	特殊債券	3銘柄		
ポーランド・ズロチ	国債証券	3銘柄	100%	9.9%
ユーロ	国債証券	8銘柄	100%	41.6%
	社債券	3銘柄		

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 「ダイワ・オセアニア債券マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

## 貸借対照表

	2025年10月6日現在 金額(円)	2026年4月6日現在 金額(円)
資産の部		
流動資産		
預金	142,322,964	168,223,806
コール・ローン	55,742,410	56,220,199
国債証券	5,309,286,870	2,866,843,450
地方債証券	10,499,308,499	7,209,589,110
特殊債券	6,220,701,142	3,825,753,543
社債券	4,057,430,751	3,029,341,715
未収利息	259,733,794	184,620,585
前払費用	15,976,832	-
差入委託証拠金	64,666,751	73,109,803
流動資産合計	26,625,170,013	17,413,702,211
資産合計	26,625,170,013	17,413,702,211
負債の部		
流動負債		
未払解約金	111,957	-
流動負債合計	111,957	-
負債合計	111,957	-
純資産の部		
元本等		
元本	1 7,407,875,865	4,583,879,506
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金( )	19,217,182,191	12,829,822,705
元本等合計	26,625,058,056	17,413,702,211
純資産合計	26,625,058,056	17,413,702,211
負債純資産合計	26,625,170,013	17,413,702,211

## 注記表

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	自2025年10月7日 至2026年4月6日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券、地方債証券、特殊債券及び社債券</p> <p>個別法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額又は日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）等で評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>

## (貸借対照表に関する注記)

区分	2025年10月6日現在	2026年4月6日現在
----	--------------	-------------

1.	1 期首	2025年4月8日	2025年10月7日
	期首元本額	5,185,142,985円	7,407,875,865円
	期中追加設定元本額	2,595,894,769円	21,934,204円
	期中一部解約元本額	373,161,889円	2,845,930,563円
	期末元本額の内訳		
	ファンド名		
	ダイワ・グローバル債券ファン ド（年2回決算型）	108,823,962円	28,958,203円
	ダイワ・グローバル債券ファン ド（毎月分配型）	7,299,051,903円	4,554,921,303円
	計	7,407,875,865円	4,583,879,506円
2.	期末日における受益権の総数	7,407,875,865口	4,583,879,506口

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の状況に関する事項

区分	自2025年10月7日 至2026年4月6日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。 これらの金融商品は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 信託財産の効率的な運用に資すること、および外貨建資産の売買代金等の受取りまたは支払いを目的として、投資信託約款に従って為替予約取引を利用しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

## 金融商品の時価等に関する事項

区分	2026年4月6日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。  (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	2025年10月6日現在	2026年4月6日現在
	当期間の損益に含まれた評価差額（円）	当期間の損益に含まれた評価差額（円）
国債証券	117,081,571	50,842,713
地方債証券	254,626,061	119,972,132
特殊債券	34,098,463	79,727,952
社債券	4,153,910	48,214,940
合計	409,960,005	298,757,737

(注)「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間を指しております。

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

2025年10月6日現在	2026年4月6日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	2025年10月6日現在	2026年4月6日現在
1口当たり純資産額	3.5942円	3.7989円
(1万口当たり純資産額)	(35,942円)	(37,989円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
国債証券	ニュージーランド・ドル	3.5% NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND 20330414	17,000,000.000	16,022,500.000	
		2.75% NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND 20370415	8,001,000.000	6,588,503.460	
		4.5% NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND 20350515	9,000,000.000	8,903,160.000	
	ニュージーランド・ドル 小計			31,514,163.460 (2,866,843,450)	
国債証券 合計				2,866,843,450 [2,866,843,450]	
地方債証券	オーストラリア・ドル	5% NZ LOCAL GOVT FUND AGENC 20340308	1,231,000.000	1,190,389.310	
		2.5% AUSTRALIAN CAPITAL TERRITORY 20321022	5,000,000.000	4,212,650.000	
	オーストラリア・ドル 小計			5,403,039.310 (595,306,872)	
	ニュージーランド・ドル	4.5% NZ LOCAL GOVT FUND AGENC 20270415	4,000,000.000	4,056,160.000	
		1.5% NZ LOCAL GOVT FUND AGENC 20290420	25,000,000.000	23,195,000.000	
		3.5% NZ LOCAL GOVT FUND AGENC 20330414	7,000,000.000	6,444,060.000	
		2.25% NZ LOCAL GOVT FUND AGENC 20310515	14,500,000.000	13,026,510.000	
		4.5% NZ LOCAL GOVT FUND AGENC 20300515	14,000,000.000	14,100,660.000	
	3% NZ LOCAL GOVT FUND AGENC 20350515	14,000,000.000	11,886,000.000		
	ニュージーランド・ドル 小計			72,708,390.000 (6,614,282,238)	
地方債証券 合計				7,209,589,110 [7,209,589,110]	
特殊債券	オーストラリア・ドル	5.4% SWEDISH EXPORT CREDIT 20301101	2,000,000.000	2,007,980.000	
		5.4% AIRSERVICES AUSTRALIA 20281115	3,000,000.000	3,014,010.000	
		2% NEW SOUTH WALES TREASURY CORP. 20330308	6,000,000.000	4,857,720.000	

		1.5% TREASURY CORP VICTORIA 20310910	9,000,000.000	7,437,060.000	
		2.25% TREASURY CORP VICTORIA 20330915	6,667,000.000	5,372,268.600	
		2% TREASURY CORP VICTORIA 20350917	10,000,000.000	7,315,400.000	
		4.2% QUEENSLAND TREASURY CORP. 20470220	3,000,000.000	2,309,940.000	
		1.5% QUEENSLAND TREASURY CORP. 20320820	2,000,000.000	1,594,320.000	
		1.5% QUEENSLAND TREASURY CORP. 20320302	1,000,000.000	814,060.000	
		オーストラリア・ドル 小計		34,722,758.600 (3,825,753,543)	
特殊債券 合計				3,825,753,543 [3,825,753,543]	
社債券	オーストラリア・ドル	5.708% COOPERATIEVE RABOBANK UA 20281121	2,000,000.000	2,015,000.000	
		4.95% TORONTO-DOMINION BANK/THE 20280915	4,000,000.000	3,965,320.000	
		5% SVENSKA HANDELSBANKEN AB 20280302	2,100,000.000	2,086,077.000	
		5.288% BNP PARIBAS SA 20290215	3,640,000.000	3,602,144.000	
		5.411% CREDIT AGRICOLE SA 20290118	4,310,000.000	4,281,079.900	
		3.97% UNIVERSITY OF TASMANIA 20320324	1,870,000.000	1,702,709.800	
		4.05% MONASH UNIVERSITY 20290406	1,660,000.000	1,595,060.800	
		3.5% Macquarie University 20280907	2,500,000.000	2,383,750.000	
		オーストラリア・ドル 小計		21,631,141.500 (2,383,319,170)	
	ニュージーランド・ドル	4.63% ANZ BANK NEW ZEALAND LTD 20300220	4,000,000.000	4,027,600.000	
5.524% ASB BANK LTD 20270621		3,000,000.000	3,073,890.000		
	ニュージーランド・ドル 小計		7,101,490.000 (646,022,545)		

社債券 合計		3,029,341,715	
		[3,029,341,715]	
合計		16,931,527,818	
		[16,931,527,818]	

- (注) 1. 各種通貨毎の小計の欄における( )内の金額は、邦貨換算額であります。
2. 合計欄における[ ]内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。
3. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入債券 時価比率	合計金額に 対する比率
オーストラリア・ドル	地方債証券	2銘柄	40.2%
	特殊債証券	9銘柄	
	社債証券	8銘柄	
ニュージーランド・ドル	国債証券	3銘柄	59.8%
	地方債証券	6銘柄	
	社債証券	2銘柄	

第2 信用取引契約残高明細表  
該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表  
該当事項はありません。

【ダイワ・グローバル債券ファンド（年2回決算型）】

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドの計算期間は6か月であるため、財務諸表は6か月毎に作成しております。

(3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第35期計算期間(2025年10月7日から2026年4月6日まで)の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

## 1【財務諸表】

ダイワ・グローバル債券ファンド（年2回決算型）

## (1)【貸借対照表】

（単位：円）

	第34期 2025年10月6日現在	第35期 2026年4月6日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	14,790,788	7,139,551
親投資信託受益証券	1,168,262,257	497,627,551
未収入金	252,760	-
流動資産合計	1,183,305,805	504,767,102
資産合計	1,183,305,805	504,767,102
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払収益分配金	613,304	247,085
未払解約金	262,786	49,467
未払受託者報酬	249,253	138,194
未払委託者報酬	5,983,052	3,317,463
その他未払費用	37,296	20,643
流動負債合計	7,145,691	3,772,852
負債合計	7,145,691	3,772,852
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	1,613,304,617	1,247,085,243
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	562,855,497	253,909,007
（分配準備積立金）	64,393,870	51,801,408
元本等合計	1,176,160,114	500,994,250
純資産合計	1,176,160,114	500,994,250
負債純資産合計	1,183,305,805	504,767,102

## (2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第34期 自 2025年4月8日 至 2025年10月6日	第35期 自 2025年10月7日 至 2026年4月6日
<b>営業収益</b>		
受取利息	20,934	16,755
有価証券売買等損益	84,826,489	33,779,187
営業収益合計	84,847,423	33,795,942
<b>営業費用</b>		
受託者報酬	249,253	138,194
委託者報酬	5,983,052	3,317,463
その他費用	37,296	20,643
営業費用合計	6,269,601	3,476,300
営業利益又は営業損失（ ）	78,577,822	30,319,642
経常利益又は経常損失（ ）	78,577,822	30,319,642
当期純利益又は当期純損失（ ）	78,577,822	30,319,642
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	2,161,863	3,388,184
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	184,707,744	562,855,497
剰余金増加額又は欠損金減少額	336,160,395	7,999,058
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	336,160,395	7,999,058
剰余金減少額又は欠損金増加額	33,815,297	343,629,921
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	33,815,297	343,629,921
分配金	1 613,304	1 247,085
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	562,855,497	253,909,007

## (3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	第35期 自2025年10月7日 至2026年4月6日	
	1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券  移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	計算期間末日  2025年10月5日が休日のため、前計算期間末日を2025年10月6日としており、2026年4月5日が休日のため、当計算期間末日を2026年4月6日としております。このため、当計算期間は182日となっております。	

(貸借対照表に関する注記)

区分	第34期 2025年10月6日現在	第35期 2026年4月6日現在
	1. 1 期首元本額	243,121,983円
期中追加設定元本額	412,942,076円	8,198,647円
期中一部解約元本額	42,759,442円	374,418,021円
2. 計算期間末日における受益権の総数	613,304,617口	247,085,243口

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

区分	第34期 自2025年4月8日 至2025年10月6日	第35期 自2025年10月7日 至2026年4月6日

1 分配金の計算過程	<p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（12,900,115円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（46,148,182円）、投資信託約款に規定される収益調整金（579,716,046円）及び分配準備積立金（5,958,877円）より分配対象額は644,723,220円（1万口当たり10,512.28円）であり、うち613,304円（1万口当たり10円）を分配金額としております。</p>	<p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（6,909,795円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（20,021,663円）、投資信託約款に規定される収益調整金（234,392,753円）及び分配準備積立金（25,117,035円）より分配対象額は286,441,246円（1万口当たり11,592.81円）であり、うち247,085円（1万口当たり10円）を分配金額としております。</p>
------------	--	--

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の状況に関する事項

区分	第35期 自2025年10月7日 至2026年4月6日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細を附属明細表に記載しております。なお、当ファンドは、親投資信託受益証券を通じて有価証券、デリバティブ取引に投資しております。これらの金融商品は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

## 金融商品の時価等に関する事項

区分	第35期
	2026年4月6日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。  (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

## (有価証券に関する注記)

## 売買目的有価証券

種類	第34期	第35期
	2025年10月6日現在	2026年4月6日現在
	当計算期間の損益に含まれた評価差額（円）	当計算期間の損益に含まれた評価差額（円）
親投資信託受益証券	79,208,926	29,288,202
合計	79,208,926	29,288,202

## (デリバティブ取引に関する注記)

## ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

第34期	第35期
2025年10月6日現在	2026年4月6日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

## (関連当事者との取引に関する注記)

第35期
自2025年10月7日
至2026年4月6日
市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。

## (1口当たり情報)

	第34期	第35期
	2025年10月6日現在	2026年4月6日現在
1口当たり純資産額	1.9177円	2.0276円
(1万口当たり純資産額)	(19,177円)	(20,276円)

## (4) 【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

種類	銘柄	券面総額	評価額 (円)	備考
親投資信託受益証券	ダイワ高格付米ドル債マザーファンド	39,141,734	101,592,370	
	ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	13,121,959	56,205,286	
	ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド	23,828,814	66,453,796	
	ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド	72,053,448	163,366,782	
	ダイワ・オセアニア債券マザーファンド	28,958,203	110,009,317	
親投資信託受益証券 合計			497,627,551	
合計			497,627,551	

親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

(参考)

当ファンドは、「ダイワ高格付米ドル債マザーファンド」受益証券、「ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド」受益証券、「ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド」受益証券、「ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド」受益証券、「ダイワ・オセアニア債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、当ファンドの計算期間末日(以下、「期末日」)における同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

#### 「ダイワ高格付米ドル債マザーファンド」の状況

前記「ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)」に記載のとおりであります。

#### 「ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド」の状況

前記「ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)」に記載のとおりであります。

#### 「ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド」の状況

前記「ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)」に記載のとおりであります。

#### 「ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド」の状況

前記「ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)」に記載のとおりであります。

#### 「ダイワ・オセアニア債券マザーファンド」の状況

前記「ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)」に記載のとおりであります。

## 2【ファンドの現況】

ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型）

## 【純資産額計算書】

2026年3月31日

資産総額	78,977,988,181円
負債総額	102,927,900円
純資産総額（ - ）	78,875,060,281円
発行済数量	100,441,755,302口
1単位当たり純資産額（ / ）	0.7853円

## (参考) ダイワ高格付米ドル債マザーファンド

## 純資産額計算書

2026年3月31日

資産総額	19,084,696,990円
負債総額	31,519,466円
純資産総額（ - ）	19,053,177,524円
発行済数量	7,343,999,616口
1単位当たり純資産額（ / ）	2.5944円

## (参考) ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

## 純資産額計算書

2026年3月31日

資産総額	14,218,493,304円
負債総額	1,067,938円
純資産総額（ - ）	14,217,425,366円
発行済数量	3,338,146,183口
1単位当たり純資産額（ / ）	4.2591円

## (参考) ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

## 純資産額計算書

2026年3月31日

資産総額	61,143,989,325円
負債総額	28,932,217円
純資産総額( - )	61,115,057,108円
発行済数量	21,913,552,053口
1単位当たり純資産額( / )	2.7889円

## (参考) ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド

## 純資産額計算書

2026年3月31日

資産総額	31,155,574,611円
負債総額	18,396,862円
純資産総額( - )	31,137,177,749円
発行済数量	13,823,315,744口
1単位当たり純資産額( / )	2.2525円

## (参考) ダイワ・オセアニア債券マザーファンド

## 純資産額計算書

2026年3月31日

資産総額	17,370,836,588円
負債総額	0円
純資産総額( - )	17,370,836,588円
発行済数量	4,583,879,506口
1単位当たり純資産額( / )	3.7895円

ダイワ・グローバル債券ファンド(年2回決算型)

## 純資産額計算書

2026年3月31日

資産総額	503,693,846円
負債総額	3,362,229円
純資産総額( - )	500,331,617円
発行済数量	247,416,780口
1単位当たり純資産額( / )	2.0222円

(参考) ダイワ高格付米ドル債マザーファンド

前記「ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型）」の記載と同じ。

(参考) ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

前記「ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型）」の記載と同じ。

(参考) ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

前記「ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型）」の記載と同じ。

(参考) ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド

前記「ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型）」の記載と同じ。

(参考) ダイワ・オセアニア債券マザーファンド

前記「ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型）」の記載と同じ。

#### 第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

(1) 名義書換えの手続き等  
該当事項はありません。

(2) 受益者に対する特典  
ありません。

(3) 譲渡制限の内容  
譲渡制限はありません。

(4) 受益証券の再発行

受益者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行なわないものとします。

(5) 受益権の譲渡

受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等に振替の申請をするものとします。

上記の申請のある場合には、上記の振替機関等は、当該譲渡にかかる譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行なわれるよう通知するものとします。

上記の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

(6) 受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

(7) 受益権の再分割

委託会社は、受託会社と協議のうえ、社振法に定めるところにしたがい、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

(8) 償還金

償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として）に支払います。

(9) 質権口記載または記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付け、一部解約金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取扱われます。

## 第三部【委託会社等の情報】

### 第1【委託会社等の概況】

#### 1【委託会社等の概況】

##### a. 資本金の額

2026年3月末日現在

資本金の額 414億2,454万1,896円

発行可能株式総数 799万9,980株

発行済株式総数 326万657株

過去5年間ににおける資本金の額の増減：2024年10月1日262億5,026万9,396円増加しました。

##### b. 委託会社の機構

###### 会社の意思決定機構

業務執行上重要な事項は、取締役会の決議をもって決定します。取締役は、株主総会において選任され、その任期は選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結のときまでです。

取締役会は、4名以内の代表取締役を選定し、代表取締役は、会社を代表し、取締役会の決議にしたがい業務を執行します。

また、取締役、執行役員等から構成される経営会議は、経営全般にかかる基本的事項を審議し、決定します。経営会議は、分科会を設置し、専門的な事項についてはその権限を委ねることができます。

###### 投資運用の意思決定機構

投資運用の意思決定機構の概要は、以下のとおりとなっています。

##### イ. 商品会議

ファンド設立時に経営会議の分科会である商品会議を開催し、ファンドの新規設定を審議・決定します。

##### ロ. 商品本部長

商品本部長は、ファンド設立の趣旨に沿って、各ファンド運営上の諸方針を記載した基本計画書を決定します。

##### ハ. 運用会議

運用チームまたは運用チームの戦略における基本的な運用方針を審議・決定します。

##### ニ. 運用部長・ファンドマネージャー

ファンドマネージャーは、基本計画書に定められた各ファンドの諸方針と運用会議で決定された基本的な運用方針にしたがって運用計画書を作成します。運用部長は、ファンドマネージャーから提示を受けた運用計画書について、基本計画書および運用会議の決定事項との整合性等を確認します。

##### ホ. リスクマネジメント会議

経営会議の分科会として、ファンドの運用リスクの状況・運用リスク管理等の状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

## 2【事業の内容及び営業の概況】

委託会社は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社として、証券投資信託の設定を行なうとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行なっています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務等の関連する業務を行なっています。

2026年3月末日現在、委託会社が運用を行なっている投資信託（親投資信託を除きます。）は次のとおりです。

基本的性格	本数（本）	純資産額の合計額（百万円）
単位型株式投資信託	76	365,710
追加型株式投資信託	761	38,466,315
株式投資信託 合計	837	38,832,025
単位型公社債投資信託	68	128,055
追加型公社債投資信託	14	1,466,420
公社債投資信託 合計	82	1,594,475
総合計	919	40,426,500

## 3【委託会社等の経理状況】

1．当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

また、当社の中間財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第282条及び第306条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

2．当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第66期事業年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の財務諸表についての監査を、有限責任 あずさ監査法人により受けております。

また、第67期事業年度に係る中間会計期間（2025年4月1日から2025年9月30日まで）の中間財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による中間監査を受けております。

3．財務諸表及び中間財務諸表の記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## (1)【貸借対照表】

(単位:百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	4,813	13,153
有価証券	503	1,194
前払費用	481	513
未収委託者報酬	16,513	19,097
未収収益	78	110
関係会社短期貸付金	23,400	70,000
その他	88	94
流動資産計	45,878	104,164
固定資産		
有形固定資産	1	61
建物	2	0
器具備品	174	59
建設仮勘定	0	0
無形固定資産	1,342	1,160
ソフトウェア	1,063	1,062

ソフトウェア仮勘定	279	97
その他	-	0
投資その他の資産	13,660	14,856
投資有価証券	8,448	9,348
関係会社株式	3,475	3,414
出資金	177	34
長期差入保証金	1,021	1,049
繰延税金資産	524	995
その他	12	13
固定資産計	15,180	16,077
資産合計	61,058	120,241

(単位:百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
預り金	158	134
未払金	6,187	6,757
未払収益分配金	39	62
未払償還金	12	12
未払手数料	5,849	6,660
その他未払金	2	285
未払費用	5,035	5,997
未払法人税等	3,842	4,121
未払消費税等	872	763
賞与引当金	1,048	1,456
その他	1	0
流動負債計	17,146	19,233
<b>固定負債</b>		
退職給付引当金	2,227	2,300
役員退職慰労引当金	62	58
固定負債計	2,289	2,358
負債合計	19,435	21,592
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	15,174	41,424
資本剰余金		

資本準備金	11,495	37,745
資本剰余金合計	11,495	37,745
利益剰余金		
利益準備金	374	374
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	13,048	17,743
利益剰余金合計	13,422	18,117
株主資本合計	40,092	97,287
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,530	1,361
評価・換算差額等合計	1,530	1,361
純資産合計	41,623	98,649
負債・純資産合計	61,058	120,241

## (2) 【損益計算書】

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	76,221	91,634
その他営業収益	717	1,233
営業収益計	76,939	92,868
営業費用		
支払手数料	31,497	37,180
広告宣伝費	947	1,124
調査費	10,709	13,135
調査費	1,700	1,954
委託調査費	9,009	11,180
委託計算費	1,783	1,957
営業雑経費	2,285	3,114
通信費	163	167
印刷費	514	483
協会費	51	57
諸会費	18	18
その他営業雑経費	1,538	2,388
営業費用計	47,224	56,512
一般管理費		
給料	6,601	7,599
役員報酬	483	453
給料・手当	4,543	5,116

賞与	527	572
賞与引当金繰入額	1,048	1,456
福利厚生費	969	1,070
交際費	96	108
旅費交通費	192	247
租税公課	508	1,004
不動産賃借料	1,269	1,298
退職給付費用	334	349
役員退職慰労引当金繰入額	6	6
固定資産減価償却費	478	444
諸経費	1,888	2,164
一般管理費計	12,346	14,293
営業利益	17,368	22,061

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業外収益		
受取配当金	32	959
投資有価証券売却益	220	387
有価証券償還益	40	183
受取利息	4	95
その他	89	76
営業外収益計	388	1,703
営業外費用		
投資有価証券売却損	1	176
有価証券償還損	196	4
その他	18	54
営業外費用計	215	235
経常利益	17,540	23,528
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1 380
固定資産売却益	-	2 110
特別利益計	-	491
特別損失		
固定資産売却損	-	3 101
システム刷新関連費用	153	-
投資有価証券評価損	132	-
特別損失計	286	101
税引前当期純利益	17,253	23,918
法人税、住民税及び事業税	5,533	7,763

法人税等調整額	139	397
法人税等合計	5,394	7,366
当期純利益	11,859	16,552

## (3) 【株主資本等変動計算書】

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					株主資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		利益剰余金 合計	
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金		
当期首残高	15,174	11,495	374	11,505	11,879	38,549
当期変動額						
剰余金の配当	-	-	-	△ 10,316	△ 10,316	△ 10,316
当期純利益	-	-	-	11,859	11,859	11,859
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	1,543	1,543	1,543
当期末残高	15,174	11,495	374	13,048	13,422	40,092

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	534	534	39,084
当期変動額			
剰余金の配当	-	-	△ 10,316
当期純利益	-	-	11,859
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	995	995	995
当期変動額合計	995	995	2,538
当期末残高	1,530	1,530	41,623

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					株主資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		利益剰余金 合計	
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金		
当期首残高	15,174	11,495	374	13,048	13,422	40,092
当期変動額						
新株の発行	26,250	26,250	-	-	-	52,500
剰余金の配当	-	-	-	△ 11,858	△ 11,858	△ 11,858
当期純利益	-	-	-	16,552	16,552	16,552
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	26,250	26,250	-	4,694	4,694	57,195
当期末残高	41,424	37,745	374	17,743	18,117	97,287

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	1,530	1,530	41,623
当期変動額			
新株の発行	-	-	52,500
剰余金の配当	-	-	△ 11,858
当期純利益	-	-	16,552
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△ 168	△ 168	△ 168
当期変動額合計	△ 168	△ 168	57,026
当期末残高	1,361	1,361	98,649

## 注記事項

(重要な会計方針)

## 1. 有価証券の評価基準及び評価方法

## (1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法により計上しております。

## (2) その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法を採用しております。

## 2. 固定資産の減価償却の方法

## (1) 有形固定資産

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	10～18年
器具備品	4～20年

## (2) 無形固定資産

定額法によっております。なお、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間(5年間)に基づく定額法によっております。

## 3. 引当金の計上基準

### (1) 賞与引当金

役員及び従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

### (2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当社の退職金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。これは、当社の退職金は、将来の昇給等による給付額の変動がなく、貢献度、能力及び実績等に応じて事業年度ごとに各人の勤務費用が確定するためであります。また、執行役員及び参与についても当事業年度末要支給額を計上しております。

### (3) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社の役員退職慰労金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

## 4. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点(収益を認識する通常の時点)は以下のとおりであります。

当社は証券投資信託の信託約款に基づき、証券投資信託の運用について履行義務を負っております。委託者報酬は、日々の純資産総額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を受け取ります。当社が日々サービスを提供する時に当該履行義務が充足されるため、証券投資信託の運用期間にわたり収益を認識しております。

## 5. その他財務諸表の作成のための基本となる重要な事項

当社は株式会社大和証券グループ本社を通算親法人とするグループ通算制度を適用しておりましたが、2024年10月1日の第三者割当増資により、株式会社大和証券グループ本社の100%子会社ではなくなったため、株式会社大和証券グループ本社を通算親法人とするグループ通算制度から離脱していません。

### (重要な会計上の見積り)

該当事項はありません。

### (未適用の会計基準等)

リースに関する会計基準等

- ・「リースに関する会計基準」(企業会計基準第34号 2024年9月13日 企業会計基準委員会)等

- ・「リースに関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第33号 2024年9月13日 企業会計基準委員会)等

### (1)概要

IFRS第16号の主要な定めを採り入れた新リース会計基準であります。借手の会計処理として、全てのリースについて使用権資産に係る減価償却費及びリース負債に係る利息相当額を計上する単一の会計処理モデルが適用されます。

### (2)適用予定日

2028年3月期の期首から適用予定であります。

### (3)当該会計基準等の適用による影響

影響額は、当財務諸表の作成時において評価中であります。

### (表示方法の変更)

#### (損益計算書関係)

前事業年度において、「営業外収益」の「その他」に含めておりました「受取利息」は、金額的重要性が増したため、当事業年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の財務諸表において、「営業外収益」の「その他」に表示していた93百万円は、「受取利息」4百万円、「その他」89百万円として組替えております。

### (貸借対照表関係)

#### 1 有形固定資産の減価償却累計額

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
建物	39百万円	40百万円
器具備品	308百万円	269百万円

#### 2 関係会社項目

関係会社に対する資産及び負債には区分掲記されたもののほか次のものがあります。

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
未払金	236百万円	- 百万円

#### 3 保証債務

前事業年度(2024年3月31日)

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務2,354百万円に対して保証を行っております。

当事業年度(2025年3月31日)

子会社であるDaiwa Asset Management (Singapore) Ltd.の債務2,341百万円に対して保証を行っております。

## (損益計算書関係)

## 1 投資有価証券売却益の項目

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
投資有価証券売却益		
非上場株式	- 百万円	380百万円

## 2 固定資産売却益の項目

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
固定資産売却益		
美術品	- 百万円	83百万円
ゴルフ会員権	- 百万円	26百万円

## 3 固定資産売却損の項目

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
固定資産売却損		
美術品	- 百万円	85百万円
ゴルフ会員権	- 百万円	15百万円

## (株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

## 1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位：千株)

	当事業年度期首 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				
普通株式	2,608	-	-	2,608
合計	2,608	-	-	2,608

## 2. 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	剰余金の配当の 総額(百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日

2023年6月26日 定時株主総会	普通株式	10,316	3,955	2023年 3月31日	2023年 6月27日
----------------------	------	--------	-------	----------------	----------------

## (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2024年6月19日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

剰余金の配当の総額	11,858百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	4,546円
基準日	2024年3月31日
効力発生日	2024年6月20日

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

## 1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位：千株)

	当事業年度期首 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				
普通株式	2,608	652	-	3,260
合計	2,608	652	-	3,260

2024年10月1日付で株式会社かんぼ生命保険より第三者割当増資に係る払込を受け、株式を発行しております。

## 2. 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	剰余金の配当の 総額(百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2024年6月19日 定時株主総会	普通株式	11,858	4,546	2024年 3月31日	2024年 6月20日

## (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2025年6月19日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

剰余金の配当の総額	16,551百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	5,076円
基準日	2025年3月31日
効力発生日	2025年6月20日

## (金融商品関係)

## 1. 金融商品の状況に関する事項

## (1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業及び投資助言・代理業などの資産運用に関する事業を行っております。資金運用については安全性の高い金融商品に限定しております。

## (2) 金融商品の内容及びそのリスク

証券投資信託に係る運用報酬の未決済額である未収委託者報酬は、運用するファンドの財産が信託されており、「投資信託及び投資法人に関する法律」、その他関係法令等により一定の制限が設けられているためリスクは極めて軽微であります。有価証券及び投資有価証券は、証券投資信託、株式であります。証券投資信託は事業推進目的で保有しており、価格変動リスク及び為替変動リスクに晒されており、株式は上場株式、非上場株式、子会社株式並びに関連会社株式を保有しており、上場株式は価格変動リスク及び発行体の信用リスクに、非上場株式、子会社株式及び関連会社株式は発行体の信用リスクに晒されており、関係会社短期貸付金は、親会社に対して貸付を行っているものであります。

未払手数料は証券投資信託の販売に係る代行手数料の未払額であります。未払費用は主にファンド運用に係る業務を委託したことにより発生する費用の未払額であります。これらは、そのほとんどが1年以内の支払期日であります。

### (3) 金融商品に係るリスク管理体制

#### 市場リスクの管理

##### ( ) 為替変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、個別の案件ごとに為替変動リスク管理の検討を行っております。

##### ( ) 価格変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、個別の案件ごとに価格変動リスク管理の検討を行っており、定期的に時価や発行体の財務状況等を把握しリスクマネジメント会議において報告を行っております。

#### 信用リスクの管理

発行体の信用リスクは財務リスク管理規程に従い、定期的に財務状況等を把握しリスクマネジメント会議において報告を行っております。

## 2. 金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項

貸借対照表計上額、時価並びにレベルごとの内訳等については、次のとおりであります。また、金融商品の時価は、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

前事業年度(2024年3月31日)

### (1) 時価をもって貸借対照表価額とする金融資産及び金融負債

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
有価証券及び投資有価証券	144	8,141	-	8,285
資産合計	144	8,141	-	8,285

当事業年度(2025年3月31日)

(1)時価をもって貸借対照表価額とする金融資産及び金融負債

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
有価証券及び投資有価証券	2,230	7,968	-	10,199
資産合計	2,230	7,968	-	10,199

(2)時価をもって貸借対照表価額としない金融資産及び金融負債

現金・預金、未収委託者報酬、関係会社短期貸付金、未払金及び未払費用は、短期間(1年以内)で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(注1)時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

#### 有価証券及び投資有価証券

市場で取得した株式及び上場投資信託は活発な市場における無調整の相場価格を利用できることから、その時価をレベル1に分類しております。当社が保有している証券投資信託のうちレベル1の時価を採用しているもの以外は基準価額を用いて評価しており、当該基準価額は活発な市場における相場価格とは認められないため、その時価をレベル2に分類しております。

(注2)市場価格のない株式等の貸借対照表計上額は次のとおりであり、金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項で開示している表中の投資有価証券には含めておりません。

(単位：百万円)

区分	前事業年度	当事業年度
非上場株式	666	342
子会社株式	1,448	1,386
関連会社株式	2,027	2,027

(有価証券関係)

#### 1. 子会社株式及び関連会社株式

前事業年度(2024年3月31日)

子会社株式(貸借対照表計上額 1,448百万円)及び関連会社株式(貸借対照表計上額 2,027百万円)は、市場価格がないことから、記載しておりません。

当事業年度(2025年3月31日)

子会社株式(貸借対照表計上額 1,386百万円)及び関連会社株式(貸借対照表計上額 2,027百万円)は、市場価格がないことから、記載しておりません。

#### 2. その他有価証券

前事業年度(2024年3月31日)

	貸借対照表計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)

貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
(1)株式	144	55	89
(2)その他	6,597	4,268	2,329
小計	6,742	4,323	2,419
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
その他	1,543	1,756	213
小計	1,543	1,756	213
合計	8,285	6,079	2,205

(注)非上場株式(貸借対照表計上額 666百万円)については、市場価格がないことから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

当事業年度(2025年3月31日)

	貸借対照表計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
(1)株式	120	55	65
(2)その他	7,230	5,161	2,068
小計	7,350	5,216	2,134
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
その他	2,848	3,020	172
小計	2,848	3,020	172
合計	10,199	8,236	1,962

(注)非上場株式(貸借対照表計上額 342百万円)については、市場価格がないことから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

### 3. 売却したその他有価証券

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

種類	売却額 (百万円)	売却益の合計額 (百万円)	売却損の合計額 (百万円)
(1)株式	-	-	-
(2)その他			
証券投資信託	1,455	220	1
合計	1,455	220	1

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

種類	売却額 (百万円)	売却益の合計額 (百万円)	売却損の合計額 (百万円)
(1)株式	704	380	-
(2)その他			
証券投資信託	3,039	387	176
合計	3,744	767	176

### 4. 減損処理を行った有価証券

前事業年度において、証券投資信託について132百万円の減損処理を行っております。

## (退職給付関係)

## 1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、非積立型の確定給付制度(退職一時金制度であります)及び確定拠出制度を採用しております。

## 2. 確定給付制度

## (1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	前事業年度	当事業年度
	(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
退職給付債務の期首残高	2,276百万円	2,227百万円
勤務費用	138	149
退職給付の支払額	266	166
その他	78	89
退職給付債務の期末残高	2,227	2,300

## (2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

	前事業年度	当事業年度
	(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
非積立型制度の退職給付債務	2,227百万円	2,300百万円
貸借対照表に計上された負債と 資産の純額	2,227	2,300
退職給付引当金	2,227	2,300
貸借対照表に計上された負債と 資産の純額	2,227	2,300

## (3) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

	前事業年度	当事業年度
	(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
勤務費用	138百万円	149百万円
その他	9	8
確定給付制度に係る退職給付費用	147	158

(注)その他には、臨時に支払った割増退職金等を含んでおります。

## 3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度187百万円、当事業年度191百万円であります。

## (税効果会計関係)

## 1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
繰延税金資産		
退職給付引当金	681	724
賞与引当金	262	340
未払事業税	197	260
投資有価証券評価損	204	171
株式報酬費用	115	150
関係会社株式評価損	155	87
出資金評価損	94	14
システム関連費用	25	-
その他	173	157
繰延税金資産小計	1,910	1,907
評価性引当額	486	277
繰延税金資産合計	1,424	1,629
繰延税金負債		
その他有価証券評価差額金	740	633
連結法人間取引(譲渡益)	159	-
繰延税金負債合計	899	633
繰延税金資産の純額	524	995

## 2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

前事業年度(2024年3月31日)

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

当事業年度(2025年3月31日)

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

## 3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」(令和7年法律第13号)が2025年3月31日に国会で成立し、2026年4月1日以後に開始する事業年度から防衛特別法人税の創設に伴う法人税率等の引上げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の30.62%から2026年4月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については31.52%となります。

この税率変更により、繰延税金資産が22百万円増加、法人税等調整額が22百万円減少しております。

## (収益認識関係)

### (1) 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、証券投資信託に関する運用その他の業務を行っております。営業収益の内訳は、証券投資信託に関する運用に係る業務が91,634百万円、その他1,233百万円であります。

## (2) 収益を理解するための基礎となる情報

(重要な会計方針)の4. 収益及び費用の計上基準に記載のとおりであります。

## (3) 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度末において存在する顧客との契約から当事業年度の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

## (セグメント情報等)

## [セグメント情報]

当社は、資産運用に関する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

## [関連情報]

## 1. サービスごとの情報

単一のサービス区分の営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 営業収益

内国籍証券投資信託又は本邦顧客からの営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

## [報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

## [報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

該当事項はありません。

## [報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

該当事項はありません。

## (関連当事者情報)

## 1. 関連当事者との取引

(ア)財務諸表提出会社の親会社及び主要株主(会社等の場合に限る。)等

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

属性	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合 (%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
						役員 の 兼任等	事業上 の関係				
親会社	㈱大和証券グループ本社	東京都千代田区	247,397	証券持株会社業	被所有 100.0	あり	経営管理	資金の貸付  利息の受取 (注)	11,100  0	関係会社 短期貸付金	23,400  -

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 貸付利息については市場金利を勘案して合理的に決定し、返済期間は1年以内としております。なお、担保は受け入れておりません。

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

属性	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合 (%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
						役員 の 兼任等	事業上 の関係				
親会社	㈱大和証券グループ本社	東京都千代田区	247,397	証券持株会社業	被所有 80.0	あり	経営管理	資金の貸付  利息の受取 (注1)	63,600  89	関係会社 短期貸付金	70,000  -
その他の関係会社	㈱かんぼ生命保険	東京都千代田区	500,000	生命保険業	被所有 20.0	あり	投資顧問契約の締結	投資顧問報酬 (注2)	215	-	-

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 貸付利息については市場金利を勘案して合理的に決定し、返済期間は1年以内としております。なお、担保は受け入れておりません。

(注2) 投資顧問報酬については市場実勢を勘案して合理的に決定しております。

(イ)財務諸表提出会社の子会社

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

属性	会社等の 名称	所在地	資本金又 は出資金 (百万円)	事業の 内容	議決権等 の所有(被 所有)割合 (%)	関係内容		取引の内 容	取引金額 (百万円)	科目	期末残 高 (百万 円)
						役員 の 兼任等	事業上 の関係				
子会社	Daiwa Asset Management (Singapore) Ltd.	Singapore	133	金融商 品取引 業	所有 直接100.0	なし	経営管 理	債務保証 (注)	2,354	-	-

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) シンガポール通貨庁(MAS)に対する当社からの保証状により、当該関連当事者の債務不履行、及びMASへの全ての損害等に対して保証しております。なお、債務総額は当該関連当事者の総運用資産額に応じて保証状にて定めるとおりに決定しております。

## 当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

属性	会社等の 名称	所在地	資本金又 は出資金 (百万円)	事業の 内容	議決権等 の所有(被 所有)割合 (%)	関係内容		取引の内 容	取引金額 (百万円)	科目	期末残 高 (百万 円)
						役員 の 兼任等	事業上 の関係				
子会社	Daiwa Asset Management (Singapore) Ltd.	Singapore	133	金融商 品取引 業	所有 直接100.0	なし	経営管 理	債務保証 (注)	2,341	-	-

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) シンガポール通貨庁(MAS)に対する当社からの保証状により、当該関連当事者の債務不履行、及びMASへの全ての損害等に対して保証しております。なお、債務総額は当該関連当事者の総運用資産額に応じて保証状にて定めるとおりに決定しております。

## (ウ)財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社

## 前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

属性	会社等 の 名称	所在地	資本金又 は出資金 (百万円)	事業の 内容	議決権等 の所有(被 所有)割合 (%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (百万円) (注1)	科目	期末残高 (百万円)
						役員 の 兼任等	事業上 の関係				
同一の 親会社 をもつ 会社	大和証 券(株)	東京都 千代田 区	100,000	金融商品 取引業	-	なし	証券投資 信託受益 証券の募 集販売	証券投資信 託の代行手 数料 (注2)	13,749	未払手 数料	3,491
							本社ビル の管理	不動産の賃 借料(注3)	1,030	長期差 入保証 金	1,010

同一の親会社をもつ会社	(株)大和総研	東京都江東区	3,898	情報サービス業	-	なし	ソフトウェアの開発・保守	ソフトウェアの購入・保守 (注4)	902	未払費用	87
-------------	---------	--------	-------	---------	---	----	--------------	----------------------	-----	------	----

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

(注2) 証券投資信託の代行手数料については、証券投資信託の信託約款に定める受益者が負担する信託報酬のうち、当社が受け取る委託者報酬から代理事務に係る手数料として代行手数料を支払います。委託者報酬の配分は、両者協議のうえ合理的に決定しております。

(注3) 差入保証金および賃借料については、近隣相場等を勘案し交渉の上、決定しております。

(注4) ソフトウェアの購入・保守については、市場の実勢価格を勘案して、その都度交渉の上、購入価格を決定しております。

## 当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

属性	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合 (%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (百万円) (注1)	科目	期末残高 (百万円)
						役員 の 兼任等	事業上の関係				
同一の親会社をもつ会社	大和証券(株)	東京都千代田区	100,000	金融商品取引業	-	なし	証券投資信託受益証券の募集販売	証券投資信託の代行手数料 (注2)	15,779	未払手数料	3,657
							本社ビルの管理	不動産の賃借料(注3)	1,038	長期差入保証金	1,037
同一の親会社をもつ会社	(株)大和総研	東京都江東区	3,898	情報サービス業	-	なし	ソフトウェアの開発・保守	ソフトウェアの購入・保守 (注4)	857	未払費用	77

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

(注2) 証券投資信託の代行手数料については、証券投資信託の信託約款に定める受益者が負担する信託報酬のうち、当社が受け取る委託者報酬から代理事務に係る手数料として代行手数料を支払います。委託者報酬の配分は、両者協議のうえ合理的に決定しております。

(注3) 差入保証金および賃借料については、近隣相場等を勘案し交渉の上、決定しております。

(注4) ソフトウェアの購入・保守については、市場の実勢価格を勘案して、その都度交渉の上、購入価格を決定しております。

## 2. 親会社に関する注記

株式会社大和証券グループ本社(東京証券取引所、名古屋証券取引所に上場)

### (1 株当たり情報)

前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)		当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	
1株当たり純資産額	15,956.63円	1株当たり純資産額	30,254.44円
1株当たり当期純利益	4,546.57円	1株当たり当期純利益	5,642.31円

(注1) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注2) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益(百万円)	11,859	16,552
普通株式の期中平均株式数(株)	2,608,525	2,933,697

### (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 中間財務諸表

### (1) 中間貸借対照表

(単位:百万円)

		当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金		4,296
有価証券		551
未収委託者報酬		20,930
関係会社短期貸付金		44,100
金銭の信託		19,355
その他		2,027
流動資産計		91,260

固定資産		
有形固定資産	1	54
無形固定資産		
ソフトウェア		955
その他		165
無形固定資産計		1,121
投資その他の資産		
投資有価証券		10,809
関係会社株式		5,556
繰延税金資産		765
その他		1,096
投資その他の資産合計		18,226
固定資産計		19,403
資産合計		110,663

(単位:百万円)

当中間会計期間  
(2025年9月30日)

負債の部		
流動負債		
未払金		7,198
未払費用		4,757
未払法人税等		3,921
賞与引当金		969
その他	2	1,065
流動負債計		17,912
固定負債		
退職給付引当金		2,338
役員退職慰労引当金		27
固定負債計		2,365
負債合計		20,278
純資産の部		
株主資本		
資本金		41,424
資本剰余金		
資本準備金		37,745
資本剰余金合計		37,745

利益剰余金	
利益準備金	374
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	9,323
利益剰余金合計	9,697
株主資本合計	88,868
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	1,517
評価・換算差額等合計	1,517
純資産合計	90,385
負債・純資産合計	110,663

## (2) 中間損益計算書

(単位:百万円)

	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
営業収益		
委託者報酬		48,780
その他営業収益		1,431
営業収益計		50,212
営業費用		
支払手数料		19,431
その他営業費用		11,139
営業費用計		30,571
一般管理費	1	7,725
営業利益		11,915
営業外収益	2	598
営業外費用	3	707
経常利益		11,806
特別利益		-
特別損失		-
税引前中間純利益		11,806
法人税、住民税及び事業税		3,540
法人税等調整額		134
中間純利益		8,131

## (3) 中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本					株主資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	41,424	37,745	374	17,743	18,117	97,287
当中間期変動額						
新株の発行	-	-	-	-	-	-
剰余金の配当	-	-	-	△16,551	△16,551	△16,551
中間純利益	-	-	-	8,131	8,131	8,131
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）	-	-	-	-	-	-
当中間期変動額合計	-	-	-	△8,419	△8,419	△8,419
当中間期末残高	41,424	37,745	374	9,323	9,697	88,868

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	1,361	1,361	98,649
当中間期変動額			
新株の発行	-	-	-
剰余金の配当	-	-	△ 16,551
中間純利益	-	-	8,131
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）	155	155	155
当中間期変動額合計	155	155	△ 8,263
当中間期末残高	1,517	1,517	90,385

## 注記事項

（重要な会計方針）

## 1．有価証券の評価基準及び評価方法

## （1）子会社及び関連会社株式

移動平均法による原価法により計上しております。

## （2）その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

中間決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法を採用しております。

## 2．金銭の信託

時価法を採用しております。

### 3. 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	10～18年
器具備品	4～20年

#### (2) 無形固定資産

定額法によっております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年間）に基づく定額法によっております。

### 4. 引当金の計上基準

#### (1) 賞与引当金

役員及び従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額の当中間会計期間負担額を計上しております。

#### (2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当社の退職金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。これは、当社の退職金は、将来の昇給等による給付額の変動がなく、貢献度、能力及び実績等に応じて事業年度ごとに各人別の勤務費用が確定するためであります。また、執行役員及び参与についても当中間会計期間末要支給額を計上しております。

#### (3) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社の役員退職慰労金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。

### 5. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

当社は証券投資信託の信託約款に基づき、証券投資信託の運用について履行義務を負っております。委託者報酬は、日々の純資産総額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を受け取ります。当社が日々サービスを提供する時に当該履行義務が充足されるため、証券投資信託の運用期間にわたり収益を認識しております。

#### (中間貸借対照表関係)

#### 1 減価償却累計額

	当中間会計期間 (2025年9月30日現在)
有形固定資産	317百万円

#### 2 消費税等の取扱い

仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、金額的重要性が乏しいため、流動負債の「その他」に含めて表示しております。

## 3 保証債務

当中間会計期間（2025年9月30日現在）

子会社であるDaiwa Asset Management (Singapore) Ltd. の債務2,421百万円に対して保証を行っております。

（中間損益計算書関係）

## 1 減価償却実施額

	当中間会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
有形固定資産	7百万円
無形固定資産	237百万円

## 2 営業外収益の主要項目

	当中間会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
投資有価証券売却益	255百万円
有価証券償還益	138百万円
受取利息	125百万円

## 3 営業外費用の主要項目

	当中間会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
金銭の信託運用損	644百万円

（中間株主資本等変動計算書関係）

当中間会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

## 1 発行済株式の種類及び総数に関する事項

（単位：千株）

	当事業年度期首 株式数	当中間会計期間 増加株式数	当中間会計期間 減少株式数	当中間会計期間末 株式数
発行済株式				
普通株式	3,260	-	-	3,260
合計	3,260	-	-	3,260

## 2 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2025年6月19日 定時株主総会	普通株式	16,551	5,076	2025年 3月31日	2025年 6月20日

（金融商品関係）

当中間会計期間（2025年9月30日）

#### 金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項

中間貸借対照表計上額、時価並びにレベルごとの内訳等については、次のとおりであります。また、金融商品の時価は、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

#### （1）時価をもって中間貸借対照表価額とする金融資産及び金融負債

（単位：百万円）

	中間貸借対照表計上額			合計
	レベル1	レベル2	レベル3	
有価証券及び投資有価証券	2,489	8,527	-	11,017
金銭の信託	-	19,355	-	19,355
資産合計	2,489	27,883	-	30,372

#### （2）時価をもって中間貸借対照表価額としない金融資産及び金融負債

現金・預金、未収委託者報酬、関係会社短期貸付金、未払金及び未払費用は、短期間（1年以内）で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

#### （注1）時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

##### 有価証券及び投資有価証券

市場で取得した株式及び上場投資信託は活発な市場における無調整の相場価格を利用できることから、その時価をレベル1に分類しております。当社が保有している証券投資信託のうちレベル1の時価を採用しているもの以外は基準価額を用いて評価しており、当該基準価額は活発な市場における相場価格とは認められないため、その時価をレベル2に分類しております。

## 金銭の信託

金銭の信託の信託財産のうち、市場における無調整の相場価格が存在しない投資信託については、解約又は買取請求に関して市場参加者からリスクの対価を求められるほどの重要な制限が無い場合には基準価額等を時価としていることから、その時価をレベル2に分類しております。金銭の信託の信託財産のうち、銀行勘定貸等の取引先金融機関が提供する価格に基づき算定する資産の価格は、活発な市場における相場価格とは認められないため、レベル2の時価に分類しております。

（注2）市場価格のない株式等の中間貸借対照表計上額は次のとおりであり、金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項で開示している表中の投資有価証券には含めておりません。

（単位：百万円）

区分	当中間会計期間
非上場株式	342
子会社株式	3,528
関連会社株式	2,027

（有価証券関係）

当中間会計期間（2025年9月30日）

### 1．子会社株式及び関連会社株式

子会社株式（中間貸借対照表計上額 3,528百万円）及び関連会社株式（中間貸借対照表計上額 2,027百万円）は、市場価格がないことから、記載しておりません。

### 2．その他有価証券

	中間貸借対照表 計上額(百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
中間貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの			
(1)株式	126	55	71
(2)その他	7,470	4,868	2,601
小計	7,596	4,923	2,673
中間貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの			
その他	3,420	3,879	458
小計	3,420	3,879	458
合計	11,017	8,802	2,214

（注）非上場株式（中間貸借対照表計上額 342百万円）については、市場価格がないことから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

（金銭の信託関係）

当中間会計期間（2025年9月30日）

運用目的の金銭の信託

（単位：百万円）

	貸借対照表 計上額	当中間会計期間の損益 に含まれた評価差額
運用目的の金銭の信託	19,355	644

（企業結合等関係）

（取得による企業結合）

当社は、2025年6月19日開催の当社取締役会において、投資商品の開発・運用・助言サービスを提供する三井物産オルタナティブインベストメンツ株式会社を子会社化するための資金拠出を行うことを決議し、2025年7月1日付で同社の株式を取得いたしました。

### 1. 企業結合の概要

#### （1）被取得企業の名称及び事業内容

名称：三井物産オルタナティブインベストメンツ株式会社

事業内容：投資商品開発・運用・助言事業

#### （2）企業結合を行った主な理由

オルタナティブ投資に関わる知見やゲートキーパー機能を獲得することで、同領域におけるビジネス展開の足掛かりとするとともに、本件を契機により付加価値の高い事業領域への本格参入に向けて探索を進めるためです。

#### （3）企業結合日

2025年7月1日（株式取得日）

2025年6月30日（みなし取得日）

#### （4）企業結合の法的形式

現金による株式の取得

#### （5）結合後企業の名称

大和かんぼオルタナティブインベストメンツ株式会社

#### （6）取得した議決権比率

51%

#### （7）取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したためです。

### 2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

現金 2,142百万円

### 3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 30百万円

（収益認識関係）

#### （1）顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、証券投資信託に関する運用その他の業務を行っております。営業収益の内訳は、証券投資信託に関する運用に係る業務が48,780百万円、その他1,431百万円であります。

#### （2）収益を理解するための基礎となる情報

（重要な会計方針）の4. 収益及び費用の計上基準に記載のとおりであります。

- (3) 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当中間会計期間末において存在する顧客との契約から当中間会計期間の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報  
重要性が乏しいため記載を省略しております。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

当中間会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

当社は、資産運用に関する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

[関連情報]

当中間会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. サービスごとの情報

単一のサービス区分の営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

内国籍証券投資信託又は本邦顧客からの営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

営業収益のうち、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

当中間会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

当中間会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

当中間会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

該当事項はありません。

## ( 1 株当たり情報 )

当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
1株当たり純資産額	27,720.07円
1株当たり中間純利益	2,493.87円

(注1) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注2) 1株当たり中間純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
中間純利益(百万円)	8,131
普通株式に係る中間純利益(百万円)	8,131
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-
普通株式の期中平均株式数(株)	3,260,657

## ( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

#### 4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。

運用財産相互間において取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。

通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下において同じ。）又は子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）と有価証券の売買その他の取引又は店頭デリバティブ取引を行なうこと。

委託会社の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行なう投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと。

上記に掲げるもののほか、委託会社の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

#### 5【その他】

##### a. 定款の変更、事業譲渡または事業譲受、出資の状況その他の重要事項

2025年3月31日、株式会社大和証券グループ本社、株式会社かんぼ生命保険、三井物産株式会社、三井物産かんぼアセットマネジメント株式会社及び三井物産オルタナティブインベストメンツ株式会社と、オルタナティブ資産運用分野における資本業務提携を締結いたしました。

2025年7月1日、株式譲渡取引により大和かんぼオルタナティブインベストメンツ株式会社（旧商号：三井物産オルタナティブインベストメンツ株式会社）を子会社化いたしました。

##### b. 訴訟事件その他委託会社に重要な影響を及ぼすことが予想される事実

訴訟事件その他委託会社に重要な影響を及ぼすことが予想される事実はありません。

## 第2【その他の関係法人の概況】

## 1【名称、資本金の額及び事業の内容】

	名 称	資本金の額 (2025年03月末日現在)	事業の内容	備考
受託会社	三井住友信託銀行株式会社	342,037百万円	(注6)	
再信託受託会社	株式会社日本カスト ディ銀行	51,000百万円	(注6)	
販売会社	大和証券株式会社	100,000百万円	(注1)	

(注1) 金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。

(注2) 主として中小企業向け融資業を営んでいます。

(注3) 銀行法に基づき銀行業を営んでいます。

(注4) 全国の信用金庫の中央金融機関として、信用金庫の余裕資金の効率運用と信用金庫間の資金の需給調整、信用金庫業界の信用力の維持向上および業務機能の補完を図っています。

(注5) 協同組合による金融事業に関する法律に基づき金融事業を営んでいます。

(注6) 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

(注7) 信用金庫法に基づく金融業を営んでいます。

(注8) 保険業法に基づき損害保険業を営んでいます。

(注9) 保険業法に基づき生命保険業を営んでいます。

(注10) 全国の農業協同組合、漁業協同組合、森林組合などの協同組織の全国金融機関として、余裕資金の効率運用と資金の需給調整、当該協同組織の信用力の維持向上及び業務機能の補完を図っています。

(注11) 労働金庫連合会は、労働金庫法に基づき設立された労働金庫の系統中央金融機関です。

(注12) 農業協同組合法に基づき信用事業等を営んでいます。

(注13) 資産運用業務を行なっています。

(注14) 資産運用業務、投資助言業務および情報提供業務を行なっています。

## 2【関係業務の概要】

受託会社は、信託契約の受託者であり、委託会社の指図に基づく信託財産の管理・処分、信託財産の計算等を行ないません。なお、外国における資産の保管は、その業務を行なうに十分な能力を有すると認められる外国の金融機関が行なう場合があります。

再信託受託会社は、受託会社と再信託契約を締結し、信託事務の一部（信託財産の管理等）を行ないません。

販売会社は、受益権の募集の取扱い、信託契約の一部解約に関する事務、収益分配金・償還金・一部解約金の支払いに関する事務等を行ないません。

## 3【資本関係】

該当事項はありません。

## 第3【その他】

## (1) 目論見書の表紙から本文の前までの記載等について

- ・ 金融商品取引法（昭和23年法律第25号）第13条の規定に基づく目論見書である旨を記載することがあります。
  - ・ 目論見書の別称として「投資信託説明書（交付目論見書）」または「投資信託説明書（請求目論見書）」という名称を用いることがあります。
  - ・ 委託会社等の情報、受託会社に関する情報を記載することがあります。
  - ・ 詳細な情報の入手方法として、以下の事項を記載することがあります。
    - 委託会社のホームページアドレス、電話番号及び受付時間等
    - 請求目論見書の入手方法及び投資信託約款が請求目論見書に掲載されている旨
  - ・ 使用開始日を記載することがあります。
  - ・ 届出の効力に関する事項について、次に掲げるいずれかの内容を記載することがあります。
    - 届出をした日及び当該届出の効力の発生の有無を確認する方法
    - 届出をした日、届出が効力を生じている旨及び効力発生日
  - ・ 次の事項を記載することがあります。
    - 投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されている旨
    - 請求目論見書は投資者の請求により販売会社から交付される旨及び当該請求を行った場合にはその旨の記録をしておくべきである旨
    - 「ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。」との趣旨を示す記載
  - ・ 委託会社、当ファンドのロゴ・マーク等を記載することがあります。
  - ・ ファンドの形態等を記載することがあります。
  - ・ 図案を採用することがあります。
  - ・ ファンドの管理番号等を記載することがあります。
  - ・ 委託会社のインターネットホームページのアドレスに加え、他のインターネットのアドレス（当該アドレスをコード化した図形等も含みます。）を掲載することがあります。
  - ・ UD FONT マークおよび説明文を記載することがあります。
- (2) 当ファンドは、評価機関等の評価を取得、使用する場合があります。
- (3) 交付目論見書に最新の運用実績を記載することがあります。
- (4) 請求目論見書に当ファンドの投資信託約款の全文を記載します。
- (5) 交付目論見書に、以下の内容を記載することがあります。

大和アセットマネジメントでは、毎月分配型のファンドを、次の方にふさわしい運用商品と考えています。

年金の補完などを目的として、定期的に資産を取り崩すニーズがある方。

以下の分配金の仕組みを理解し、投資信託の運用を続けながら分配金を毎月受け取りたい方。

- ・ ファンドの購入価額や運用状況によっては、分配金の一部または全部が実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。

（複利効果を重視して長期的な資産形成をお考えの方には、毎月分配型のファンドは適していません。）

- ・ 分配金は計算期間中の収益を超えて支払われることがあり、分配金の水準は必ずしもファンドの収益率を示すものではありません。

**独立監査人の監査報告書**

2025年5月26日

大和アセットマネジメント株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	渡部 啓太
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	松田 好弘

**監査意見**

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている大和アセットマネジメント株式会社の2024年4月1日から2025年3月31日までの第66期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、大和アセットマネジメント株式会社の2025年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

**監査意見の根拠**

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

**その他の記載内容**

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

**財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任**

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

(注) 2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

**独立監査人の監査報告書**

2026年6月5日

大和アセットマネジメント株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	秋山 範之
--------------------	-------	-------

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	松田 好弘
--------------------	-------	-------

**監査意見**

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているダイワ・グローバル債券ファンド（年2回決算型）の2025年10月7日から2026年4月6日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ダイワ・グローバル債券ファンド（年2回決算型）の2026年4月6日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

**監査意見の根拠**

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、大和アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

**その他の記載内容**

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか

か検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

#### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

大和アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

(注) 2 . XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

**独立監査人の監査報告書**

2026年6月5日

大和アセットマネジメント株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 秋山 範之指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 松田 好弘**監査意見**

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型）の2025年10月7日から2026年4月6日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型）の2026年4月6日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

**監査意見の根拠**

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、大和アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

**その他の記載内容**

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか

か検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

#### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

大和アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

(注) 2 . XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

**独立監査人の中間監査報告書**

2025年11月25日

大和アセットマネジメント株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	渡部 啓太
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	松田 好弘

**中間監査意見**

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている大和アセットマネジメント株式会社の2025年4月1日から2026年3月31日までの第67期事業年度の中間会計期間（2025年4月1日から2025年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、大和アセットマネジメント株式会社の2025年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2025年4月1日から2025年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

**中間監査意見の根拠**

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定（社会的影響度の高い事業体の財務諸表監査に適用される規定を含む。）に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

**中間財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任**

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

(注) 2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。